

令和3年度  
秋田県産業廃棄物実態調査  
フォローアップ等調査報告書  
(令和2年度実績)

令和4年2月

秋田県

# 目 次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の目的	1
第2節 調査に関する基本的事項	1
第3節 調査の方法	6
第4節 調査結果の利用上の留意事項	9
第5節 標本抽出・回収結果	11
第2章 調査結果	13
第1節 結果の概要	13
第2節 排出状況	14
第3節 処理状況	18
第3章 業種別の調査結果	26
第1節 建設業	26
第2節 製造業	29
第3節 電気・水道業	33
第4節 その他の業種	36
第4章 農業・鉱業を含めた産業廃棄物	40
第1節 農業からの産業廃棄物	40
第2節 鉱業からの産業廃棄物	41
第3節 農業・鉱業を含めた排出量	43
第5章 産業廃棄物の移動状況	44
第1節 産業廃棄物の移動状況の概要	44
第2節 県外への搬出状況	45
第3節 県内への搬入状況	46
第6章 産業廃棄物の推移	48
第1節 令和元年度との比較	48
第2節 目標の達成状況	51
第7章 産業廃棄物の将来の見込み	52
第1節 排出量の将来予測	52
第2節 処理量の将来予測	55

第8章 意識調査結果	56
第1節 将来の発生抑制、再生利用促進、最終処分削減の見込みについて	56
第2節 処理困難廃棄物について	58
第3節 廃プラスチックについて	59
第4節 不適正処理防止の取り組みについて	61
第5節 廃棄物処理業者の選定基準	62
第6節 電子マニフェストの利用状況について	64
第7節 環境認証について	66
第8節 県への要望について	67
参考資料<統計表>	70
参考資料<調査票等一式>	141

# 第 1 章 調査の概要

## 第 1 節 調査の目的

本調査は、秋田県内で排出される産業廃棄物の発生及び処理の状況を調査し、産業廃棄物の発生量、処理量及び処理方法等を把握することを目的に実施した。

## 第 2 節 調査に関する基本的事項

### 1 調査対象期間

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの 1 年間

### 2 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 2 条第 4 項及び第 2 条第 5 項、同法施行令第 2 条及び第 2 条の 4 に定める表 1-2-1 及び表 1-2-2 の産業廃棄物とした。

なお、これらの産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて種類をさらに区分した。

表 1-2-1 産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例等
1	燃え殻	
2	汚泥	有機性汚泥、無機性汚泥
3	廃油	一般廃油、廃溶剤、その他
4	廃酸	
5	廃アルカリ	
6	廃プラスチック類	廃プラスチック、廃タイヤ
7	紙くず	
8	木くず	
9	繊維くず	
10	動植物性残さ	
11	動物系固形不要物	
12	ゴムくず	
13	金属くず	
14	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	※本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した
15	鉱さい	
16	がれき類	コンクリート片、廃アスファルト、その他
17	動物のふん尿	
18	ばいじん	
19	上記の産業廃棄物を処分するために処理したもの	コンクリート固形化物等

表 1-2-2 特別管理産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例
1	廃油	揮発油類、灯油類、軽油類
2	廃酸	pH が 2.0 以下の廃酸
3	廃アルカリ	pH が 12.5 以上の廃アルカリ
4	感染性産業廃棄物	
5	特定有害産業廃棄物	

また、次の有償物、廃棄物等については、それぞれ記載のとおり取り扱うこととした。

- (1) 法令上廃棄物とならない有償物も今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、今回の調査対象に含めた。
- (2) 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 2 条で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。ただし、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、産業廃棄物として取り扱われるため、パレットに係る木くずはすべての業種で産業廃棄物として集計した。
- (3) 酸性又はアルカリ性の排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を調査対象廃棄物とし、脱水前の量を発生量とした。
- (4) 自社で廃棄物を焼却処理した場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とし、焼却処理後は自己中間処理後量として計上した。

### 3 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（[平成 25 年 10 月改訂]総務省）に記載された分類を基本に、産業廃棄物の排出量等を勘案し、表 1-2-3 の業種とした。

なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-2-3 調査対象業種

日本標準産業分類	略 称
建設業	建設業
製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他
電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 上水道業 下水道業	電気・水道業 電気業 ガス業 上水道業 下水道業

#### 4 調査対象地域

本調査では、秋田県内全域を調査対象とし、次の構成市町村により4地域とした。

表 1-2-4 地域区分

地 域 名	構 成 市 町 村
秋田市	秋田市
県北地域	能代市、大館市、鹿角市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村、藤里町、三種町、八峰町
県央地域	男鹿市、由利本荘市、潟上市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南地域	横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

## 5 排出量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 1-2-1 の排出量及び処理状況の流れ図に示した項目により、取りまとめた。

なお、図 1-2-1 における各項目の用語の定義は、表 1-2-5 のとおりである。

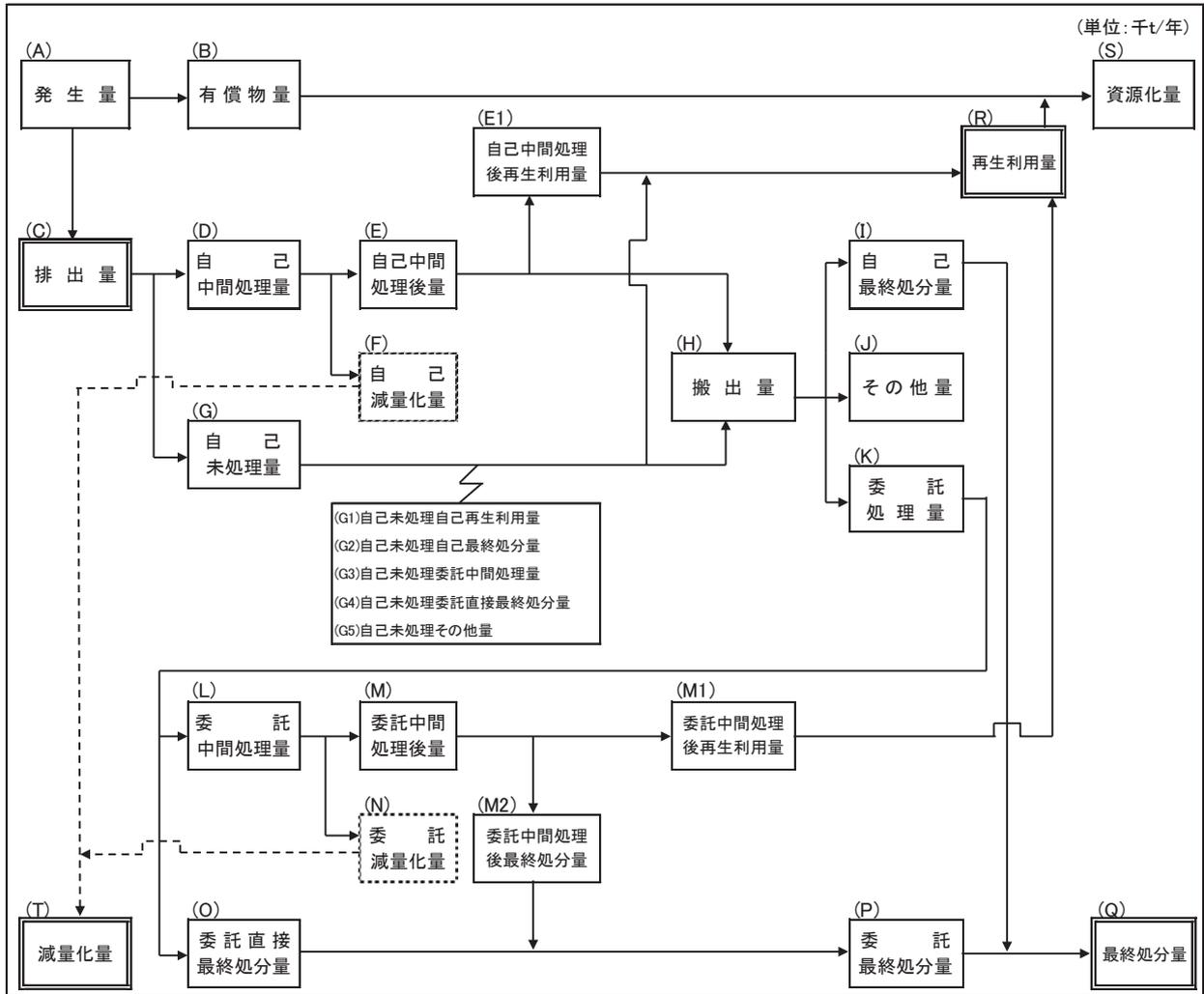


図 1-2-1 排出量及び処理状況の流れ図

表 1-2-5 排出量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量(他者に有償売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C) 排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G) 自己未処理量	(C)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	(I)の自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	(L)の委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理された量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	(O)の委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	(J)のその他量のうち、自己未処理でその他となった量
(E) 自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量
(H) 搬出量	(I)の自己最終処分量、(J)のその他、(K)の委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	保管されている量、又は、それ以外の量
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L) 委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O) 委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M) 委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者又は、処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量

### 第3節 調査の方法

#### 1 調査方法の概要

調査は、「産業廃棄物排出・処理実態調査指針 改訂版（平成22年4月 環境省）」に基づき、排出事業者へのアンケート調査（全数調査、標本調査）と既存資料（処分業者による処分実績報告等）を用いた調査を組み合わせ、産業廃棄物の排出量及び処理量を把握する方法で行った。

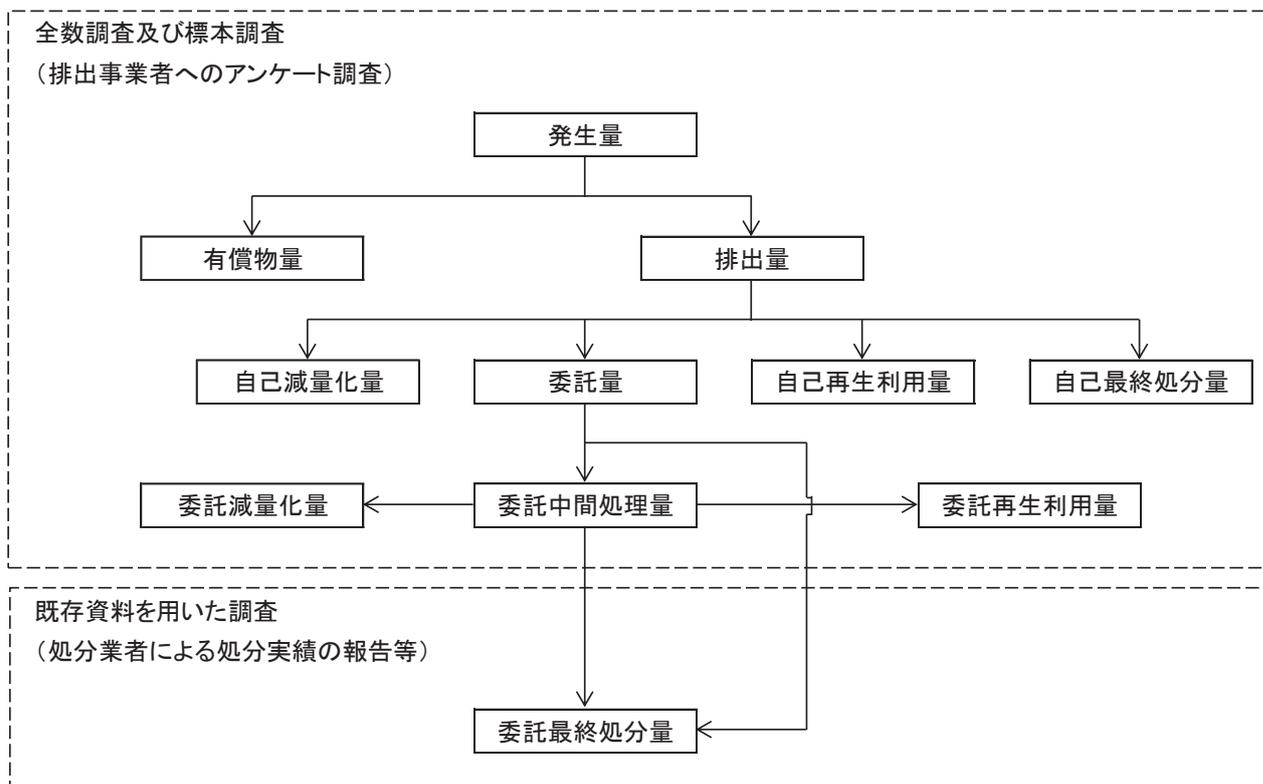


図 1-3-1 排出事業者へのアンケート調査等による方法

- 水道業は、浄水場及び下水処理場の全施設に対してアンケート調査を実施した。
- 水道業以外の業種は、抽出した事業者に対してアンケート調査を実施した。なお、建設業と製造業においては、業種毎の活動量指標を用いて調査対象全体の産業廃棄物の発生量を推計した。

## 2 標本調査について

標本調査は、郵便配布及び郵便回収によるアンケート調査により実施した。

回答を得た産業廃棄物の排出量及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の排出量を説明する活動量指標(製造品出荷額等)を基に、県内の産業廃棄物の排出量等を推定した。

### (1) 標本抽出方法

標本調査の抽出は、令和元年経済センサス基礎調査を基に、業種別、従業者規模別、地域別に事業所を層別し、これらの各層ごとに実施した。

表 1-3-1 標本抽出方法

業 種	抽出方法等
建設業	○資本金 1 億円以上：全数抽出 ○資本金 1 億円未満：令和 2 年度産業廃棄物排出量が 1,000 t 以上の事業所を全数抽出
製造業	○従業者 50 人以上：全数抽出 ○従業者 50 人未満：令和 2 年度産業廃棄物排出量が 1,000 t 以上の事業所を全数抽出 ※上記で抽出された事業所数が 10 件以下の業種については従業員数 30 人以上を全数抽出 また、これらに該当する事業所が無い業種については令和 2 年度産業廃棄物実態調査により発生量のあった事業所を抽出
電気・水道業	○電気業は令和 2 年度秋田県産業廃棄物実態調査の対象事業所（風力及び地熱の廃棄物が発生しない事業は除いた） ○ガス業は令和 2 年度秋田県産業廃棄物実態調査の対象事業所 ○水道業は施設名簿より全数抽出

### (2) アンケート調査項目

アンケート調査の項目は、活動量指標(製造品出荷額等)と廃棄物の排出量及び処理状況に関するものとし、調査票の形式は、各業種で排出される廃棄物や処理状況の特性を考慮して、次の 2 種類の調査票を作成した。

- 建設業
- 製造業及び電気・水道業

各調査票の調査項目の詳細は、本報告書の巻末の調査票のとおりである。

### (3) 排出原単位の算出と調査対象全体の排出量の推定方法

#### 1) 排出原単位の算出

排出原単位は、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、種類別に集計した産業廃棄物量と、業種別の集計活動量指標から、図 1-3-2 の A 式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物排出量（排出原単位）を算出した。

#### 2) 調査対象全体の排出量の推定方法

1) で算出された排出原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図 1-3-2 の B 式によって調査対象全体の産業廃棄物の排出量を推定した。

① 排出原単位の算出		
A 式	$\alpha = W / O$	$\alpha$ : 産業廃棄物の排出原単位 W : 標本に基づく集計産業廃棄物排出量 O : 標本に基づく集計活動量指標
② 調査対象全体の発生量の推定方法		
B 式	$W' = \alpha \times O'$	W' : 調査当該年度の推定産業廃棄物排出量 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図 1-3-2 排出原単位の算出と排出量の推定計算の概念図

#### 3) 活動量指標

本調査で推計に用いた活動量指標は、次のとおりである。

表 1-3-2 業種別の活動量指標

業 種	活動量指標	出 典
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告 令和元年度実績 (国土交通省総合政策局) 県内経済動向調査結果 令和 2 年度 (令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月) (秋田県産業労働部産業政策課)
製造業	製造品出荷額等	2020 年工業統計調査 (経済産業省)
電気・水道業	従業者数	平成 28 年経済センサス活動調査 (総務省統計局)

※水道業は全数調査のため推定していない。

## 第4節 調査結果の利用上の留意事項

### 1 産業廃棄物の種類の区分

本報告書では、産業廃棄物の種類を3段階で設定した。

1段階	発生時点の種類
2段階	排出事業者の中間処理により変化した処理後の種類 例；木くず→（焼却）→〔燃え殻〕 注）1段階時点の種類と排出事業者の中間処理方法を用いて推定した。
3段階	委託中間処理により変化した処理後の種類 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合がある。この場合において、中間処理後の変化した廃棄物の種類で記載した場合には「種類別：変換」と記載し、変化する前（発生時）の廃棄物の種類で記載した場合には「種類別：無変換」と表現した。

### 2 建設業の地域別排出量等の推計方法

建設業は他の業種と違い、事業所のある場所が廃棄物の排出場所ではなく、工事現場が廃棄物の排出場所となっている。本調査では、建設業の各地域別の量を算出するため、建設業における産業廃棄物の排出量全体を地域別の人口数の割合で按分して算出した。

### 3 単位と数値に関する処理

#### （1）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを示すため、図表の単位は「千t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述している。

#### （2）数値の処理

本報告書に記載されている千トン表示の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。なお、表中の空欄は、1トン/年以上の該当値がなかったもの、「0」表示は、500トン/年未満であることを示している。

また、構成比(%)はトン単位で算出しているため、四捨五入した千トン表示の数値で計算した場合と一致しないものがある。

### 4 特別管理産業廃棄物について

本報告書は、特別管理産業廃棄物を含めた結果を産業廃棄物として記載している(例：引火性廃油→廃油に含む、特定有害廃酸→廃酸に含む)。ただし、感染性産業廃棄物については、該当する産業廃棄物の種類がないため、「その他の産業廃棄物」に含めて集計した。

## 5 農業と鉱業から発生する産業廃棄物の取り扱い

農業と鉱業から発生する産業廃棄物は、前回調査との整合性や秋田県循環型社会形成推進基本計画の数値目標に含まれていないことなどから、第4章でのみ記載している。第4章以外の推計結果には、県内の農業と鉱業から発生する産業廃棄物は含まれていない。

## 第5節 標本抽出・回収結果

秋田県内に所在する総事業所数 51,473 件（令和元年経済センサス基礎調査）のうち、アンケート調査の対象となったのは 8,735 事業所である。

このうち、業種特性、規模別特性等を考慮し、設定された業種別、従業者規模別の抽出率を基に、518 事業所（抽出率 5.9%）を抽出し、アンケート調査を実施した。

回収された調査票は 429 件（回収率 82.8%）であり、このうち、廃業及び休業等の理由により無効となった調査票を除いた有効調査票は、416 事業所であった。

標本抽出・回収結果	
総事業所数	: 51,473 事業所
調査対象事業所数	: 8,735 事業所
アンケート送付事業所数	: 518 事業所
回答数	: 429 事業所
回収率	: 82.8 %
有効回答数	: 416 事業所

標本抽出及び回収結果は、表 1-5-1 のとおりであり、表中の項目の説明は次のとおりである。

- A 調査対象事業所数 : アンケート調査の対象とした業種の県内全体の事業所数
- B 抽出事業所数 : 調査対象事業所よりアンケート調査の対象として抽出した事業所数
- C 抽出率 :  $B \div A \times 100$
- D 回収事業所数 : アンケート調査票を送付し調査票が回収(返送)された事業所数
- E 回収率 :  $D \div B \times 100$
- F 有効調査票数 : 事業所の廃業及び休業等の理由により無効となった調査票を除いた数
- G 集計活動量指標値 : 有効調査票より入力した各業種の活動量指標値（従業者数、元請完成工事高、製造品出荷額等）の集計値
- H 母集団の活動量指標値 : 各業種の活動量指標値の県全体値（母集団値）
- I 指標カバー率 : 県全体（母集団）の活動量指標値に対する有効調査票による集計活動量指標値の割合  $G \div H \times 100$
- J 集計廃棄物発生量 : 有効調査票より入力した各業種の廃棄物の発生量の集計値
- K 推定廃棄物発生量 : 各業種の廃棄物の発生量の推定値
- L 捕捉率 : 推定した廃棄物量に対する集計廃棄物量の割合  $J \div K \times 100$   
 （捕捉率はト単位で算出しているため、表 1-5-1 の  $J \div K$  と一致しない場合がある。）

表 1-5-1 標本抽出・回収結果

	(A) 調査対象 事業所数	(B) 抽 出 事業所数	(C) 抽出率 (B)÷(A)	(D) 回 収 事業所数	(E) 回収率 (D)÷(B)	(F) 有 効 調査票数	(G) 集 計 活動量 指標値	(H) 母集団の 活動量 指標値	(I) 指 標 カバー率 (G)÷(H)	(J) 集計廃棄 物発生量 <千t>	(K) 推定廃棄 物発生量 <千t>	(L) 捕捉率 (J)÷(K)
合計	8,735	518	5.9%	429	82.8%	416	-	-	-	2,146.6	2,497.9	85.9%
建設業	5,358	136	2.5%	109	80.1%	108	180,497	399,182	45.2%	246.7	545.6	45.2%
製造業	3,320	325	9.8%	264	81.2%	252	642,183	1,286,173	49.9%	801.7	854.2	93.9%
食料品	606	28	4.6%	22	78.6%	20	48,409	111,846	43.3%	21.8	32.6	66.9%
飲料・飼料	83	8	9.6%	6	75.0%	6	8,812	21,703	40.6%	3.6	4.3	82.5%
繊維	405	26	6.4%	23	88.5%	22	17,096	35,941	47.6%	0.4	0.8	47.6%
木材	285	14	4.9%	9	64.3%	9	32,378	69,038	46.9%	81.8	82.9	98.7%
家具	239	8	3.3%	6	75.0%	6	3,269	10,101	32.4%	0.4	1.2	32.4%
パルプ・紙	24	5	20.8%	3	60.0%	3	3,728	38,748	9.6%	451.8	452.4	99.9%
印刷	158	10	6.3%	9	90.0%	8	3,582	11,487	31.2%	0.6	2.0	31.2%
化学	23	6	26.1%	6	100.0%	6	40,426	60,405	66.9%	10.1	11.1	90.9%
石油・石炭	27	6	22.2%	5	83.3%	5	2,167	4,948	43.8%	0.3	0.6	43.8%
プラスチック	68	15	22.1%	12	80.0%	11	13,516	25,962	52.1%	4.4	6.1	71.9%
ゴム	18	6	33.3%	5	83.3%	5	3,734	4,351	85.8%	0.2	0.2	85.8%
皮革	74	7	9.5%	4	57.1%	3	131	2,145	6.1%	0.0	0.0	6.1%
窯業・土石	135	22	16.3%	22	100.0%	21	18,988	34,421	55.2%	30.7	36.8	83.4%
鉄鋼	43	7	16.3%	6	85.7%	6	13,386	18,998	70.5%	9.7	10.0	97.1%
非鉄金属	21	12	57.1%	12	100.0%	12	53,742	66,794	80.5%	144.4	145.1	99.5%
金属	263	16	6.1%	13	81.3%	13	23,397	74,954	31.2%	3.7	9.8	37.7%
はん用機器	41	7	17.1%	5	71.4%	5	4,963	19,529	25.4%	0.3	1.4	25.4%
生産用機器	215	22	10.2%	19	86.4%	19	36,801	100,350	36.7%	3.0	6.7	44.8%
業務用機器	44	17	38.6%	14	82.4%	14	75,941	85,404	88.9%	9.2	10.1	90.5%
電子部品	134	44	32.8%	34	77.3%	29	169,481	373,368	45.4%	19.1	28.5	67.2%
電気機器	69	12	17.4%	9	75.0%	9	11,984	28,493	42.1%	0.7	1.6	42.1%
情報通信機器	20	9	45.0%	6	66.7%	6	10,120	8,901	113.7%	0.3	0.3	100.0%
輸送機器	51	11	21.6%	10	90.9%	10	43,700	67,079	65.1%	5.0	8.1	61.0%
その他	274	7	2.6%	4	57.1%	4	2,430	11,207	21.7%	0.3	1.4	21.7%
電気・水道業	57	57	100.0%	56	98.2%	56	-	-	-	1,098.1	1,098.1	100.0%
電気業	13	13	100.0%	13	100.0%	13	384	-	-	563.9	563.9	100.0%
ガス業	3	3	100.0%	3	100.0%	3	42	-	-	0.0	0.0	100.0%
上水道業	26	26	100.0%	26	100.0%	26	-	-	-	93.1	93.1	100.0%
下水道業	15	15	100.0%	14	93.3%	14	-	-	-	441.1	441.1	100.0%

(活動量指標の内容)建設業:元請完成工事高等(百万円) 製造業:製造品出荷額(百万円) その他の業種:従業者数(人)

## 第2章 調査結果

令和2年度に秋田県で発生した産業廃棄物の推計結果は以下のとおりである。

なお、情報通信業等のその他の業種については、今年度は標本調査の対象ではないため、令和2年度の秋田県産業廃棄物実態調査報告書をもとに整理した。

### 第1節 結果の概要

発生量は2,524千ト、有償物量は184千ト、有償物量を除いた排出量は2,340千ト、搬出量は1,361千トとなっている。

表 2-1-1 発生・排出、処理状況

(単位:千t/年)

発生量	有償物量	排出量	搬出量
2,524 (100%)	184 (7.3%)	2,340 (92.7%)	1,361 (53.9%)

※搬出量とは、排出事業所内で減量（再生利用又は中間処理による減量化量）  
された量を除いたもの。  
（ ）内のパーセントは発生量に対する割合である。

令和2年度の排出量に対する再生利用量の割合（以下、再生利用率という）は40.8%、減量化量の割合（以下、減量化率という）は44.0%、最終処分量の割合（以下、最終処分率という）は15.2%となっている。

表 2-1-2 処理・処分状況

(単位:千t/年)

排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量
2,340 (100%)	954 (40.8%)	1,029 (44.0%)	357 (15.2%)	0 (0.0%)

※（ ）内のパーセントは排出量に対する割合である。

## 第2節 排出状況

### 1 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥が1,050千トン(44.9%)で最も多く、次いで、がれき類が459千トン(19.6%)、以下、その他の産業廃棄物が303千トン(12.9%)、ばいじんが145千トン(6.2%)、鉱さいが144千トン(6.1%)等となっている。

その他の産業廃棄物の割合が高い要因として、令和2年3月から営業運転を開始した電気業の石炭火力発電所の新施設が、ばいじんと燃え殻を一緒に合わせた状態で排出する構造であるため、混合物(ばいじん、燃え殻)としての排出量が増加したことによるものである。

なお、汚泥は排出時においては多量であるが、排出事業者自らによる脱水、乾燥、焼却等の処理により大幅に減量されるため、搬出量ベースでみると116千トン(8.5%)となる。

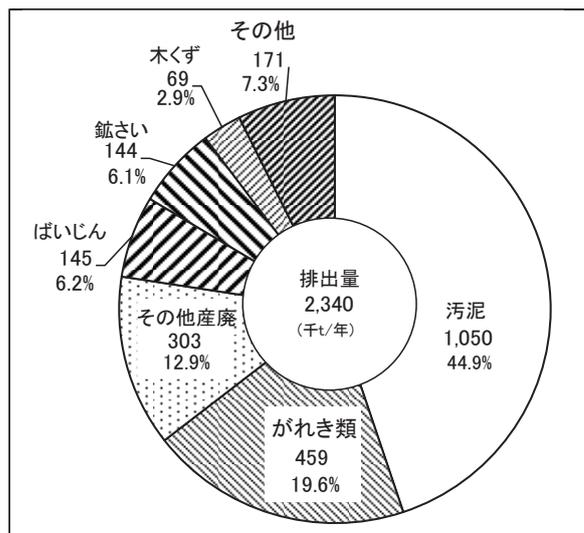


図 2-2-1 種類別排出量

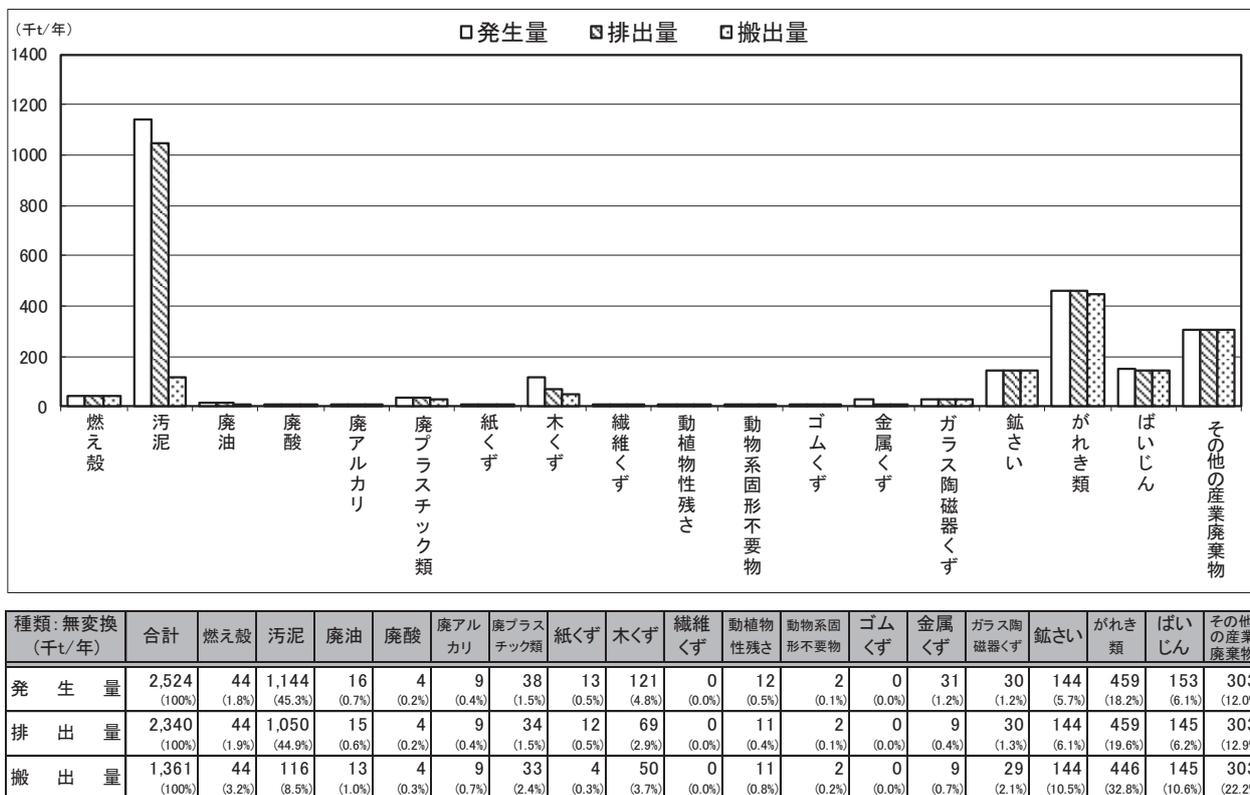


図 2-2-2 種類別の発生量、排出量、搬出量

## 2 業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、電気・水道業が995千ト（42.5%）で最も多く、以下、製造業が775千ト（33.1%）、建設業が545千ト（23.3%）となっており、この3業種で排出量全体の99.0%を占めている。

なお、製造業と電気・水道業から排出される汚泥は、脱水等の自己中間処理により大幅に減量されるため、搬出量でみると製造業が309千ト（22.7%）、電気・水道業が496（36.4%）となる。

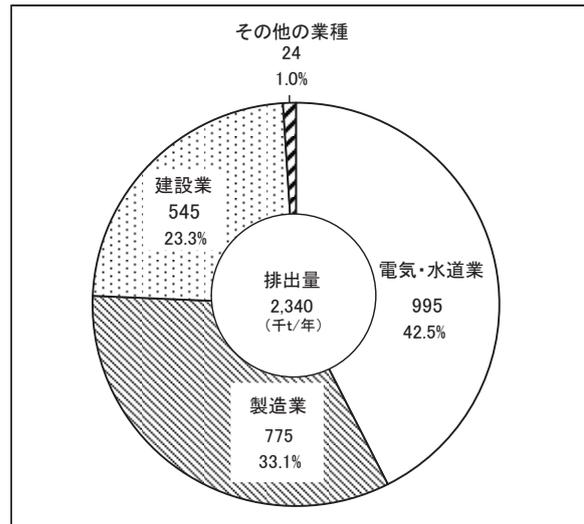
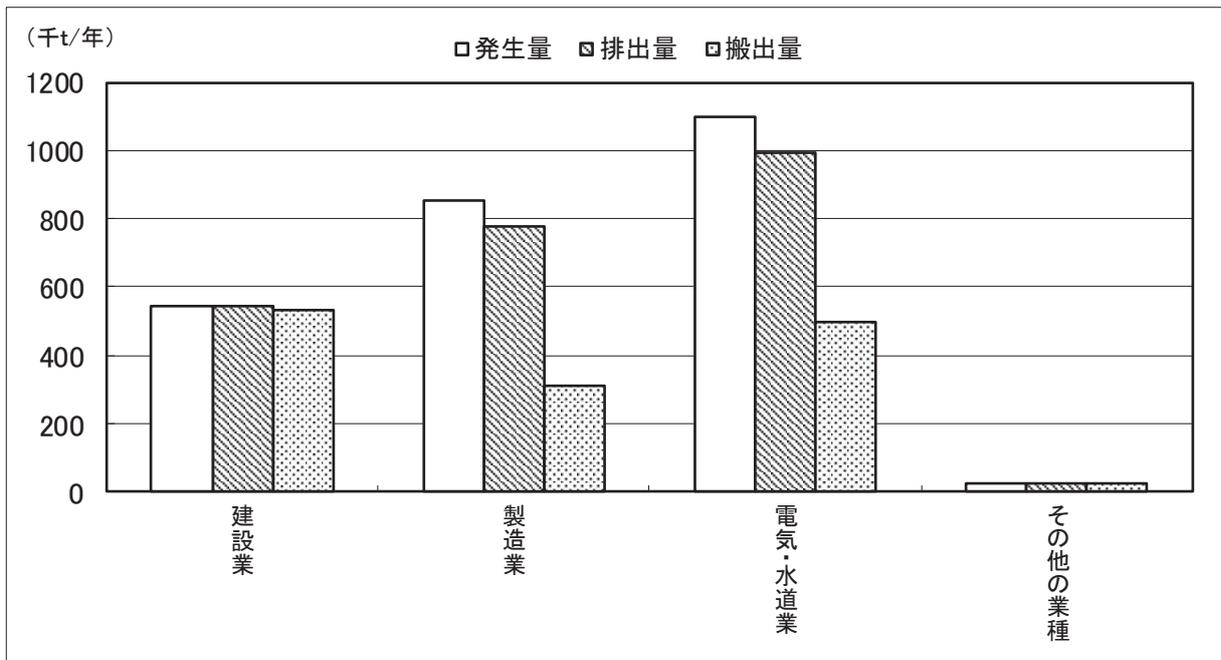


図 2-2-3 業種別排出量



業種 (千t/年)	合計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
発 生 量	2,524 (100%)	546 (21.6%)	854 (33.8%)	1,098 (43.5%)	26 (1.0%)
排 出 量	2,340 (100%)	545 (23.3%)	775 (33.1%)	995 (42.5%)	24 (1.0%)
搬 出 量	1,361 (100%)	532 (39.1%)	309 (22.7%)	496 (36.4%)	24 (1.7%)

図 2-2-4 業種別の発生量、排出量、搬出量

### 3 業種別・種類別の排出状況

業種別・種類別の排出量は、表 2-2-1 のとおりである。

表 2-2-1 業種別・種類別の排出量

(単位:千t/年)

業種 種類	合計	建設業	製造業	電気・ 水道業	その他の業種
合計	2,340 (100%)	545 (23.3%)	775 (33.1%)	995 (42.5%)	24 (1.0%)
燃え殻	44 (1.9%)	0	9	35	0
汚泥	1,050 (44.9%)	27	467	553	3
廃油	15 (0.6%)	0	12	0	3
廃酸	4 (0.2%)		3		0
廃アルカリ	9 (0.4%)	0	9		0
廃プラスチック類	34 (1.5%)	5	20	1	8
紙くず	12 (0.5%)	0	12		0
木くず	69 (2.9%)	44	24		0
繊維くず	0 (0.0%)	0	0		
動植物性残さ	11 (0.4%)		11		
動物系固形不要物	2 (0.1%)		2		
ゴムくず	0 (0.0%)	0	0		0
金属くず	9 (0.4%)	5	3	0	2
ガラス陶磁器くず	30 (1.3%)	7	22	0	0
鉱さい	144 (6.1%)		144	0	
がれき類	459 (19.6%)	453	3	2	1
ばいじん	145 (6.2%)		29	116	
その他(混合物等)	303 (12.9%)	4	5	289	6

(注1) 表中の「0」は1t以上500t未満で、空欄は1t未満。

(注2) 千t未満を四捨五入したため、内訳の計が合計に一致しないものがある。

#### 4 地域別の排出状況

排出量を地域別にみると、秋田市が 1,004 千トン（42.9%）で最も多く、以下、県北地域が 839 千トン（35.8%）、県南地域が 271 千トン（11.6%）、県央地域が 226 千トン（9.7%）となっている。

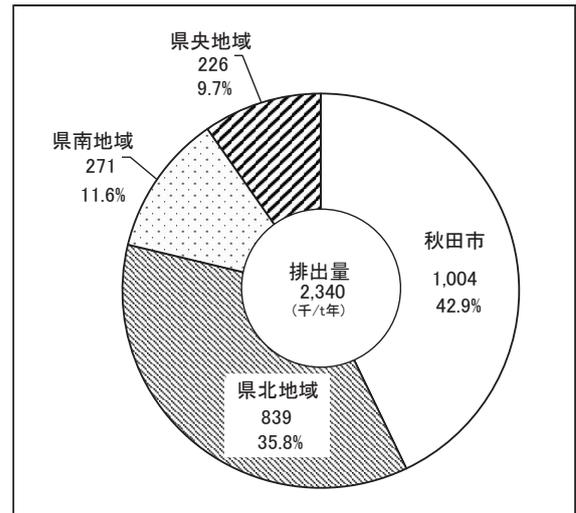
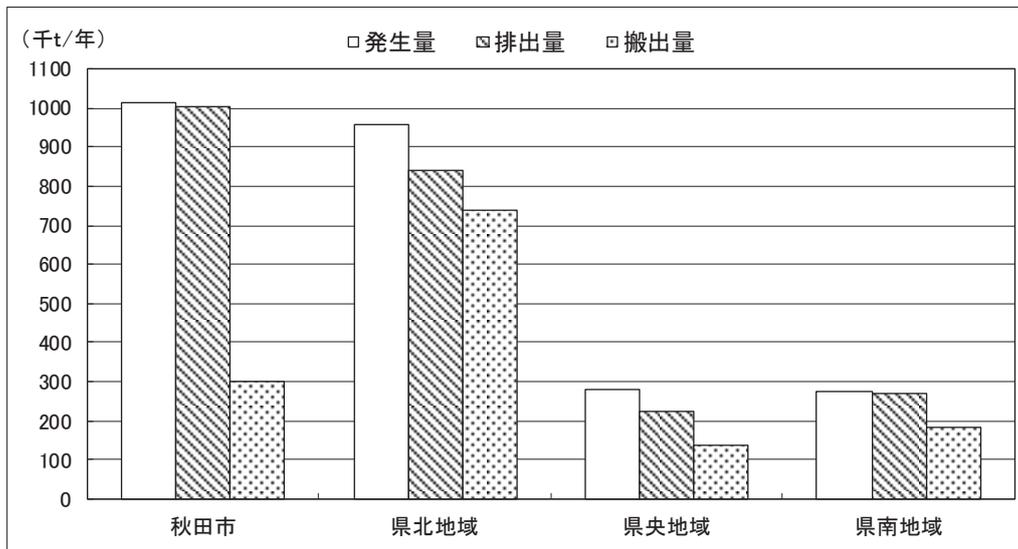


図 2-2-5 地域別排出量の内訳



(単位: 千t/年)

	合計	秋田市	県北地域	県央地域	県南地域
発生量	2,524 (100%)	1,011 (40.1%)	956 (37.9%)	280 (11.1%)	277 (11.0%)
排出量	2,340 (100%)	1,004 (42.9%)	839 (35.8%)	226 (9.7%)	271 (11.6%)
搬出量	1,361 (100%)	300 (22.0%)	741 (54.4%)	136 (10.0%)	185 (13.6%)

図 2-2-6 地域別の発生量、排出量、搬出量

### 第3節 処理状況

#### 1 処理・処分状況の概要

令和2年度の1年間に秋田県内で発生した産業廃棄物の発生量は2,524千トで、有償物量は184千ト、排出量は2,340千トとなっている。

排出量2,340千トのうち、排出事業者自らの中間処理による減量(965千ト)及び再生利用(14千ト)を除いた搬出量は1,361千ト(排出量の58.2%)となっている。

搬出量1,361千トは、自己最終処分量(120千ト)及び委託処理量(1,241千ト)、保管等のその他量(0千ト)に区分される。

委託処理量1,241千トのうち、業者中間処理による減量化量が65千ト、再生利用量が940千ト、最終処分量が236千トとなっている。

県内で排出した産業廃棄物は最終的に、減量化量が1,029千ト(排出量の44.0%)、再生利用量が954千ト(同40.8%)、最終処分量が357千ト(同15.2%)となっている。

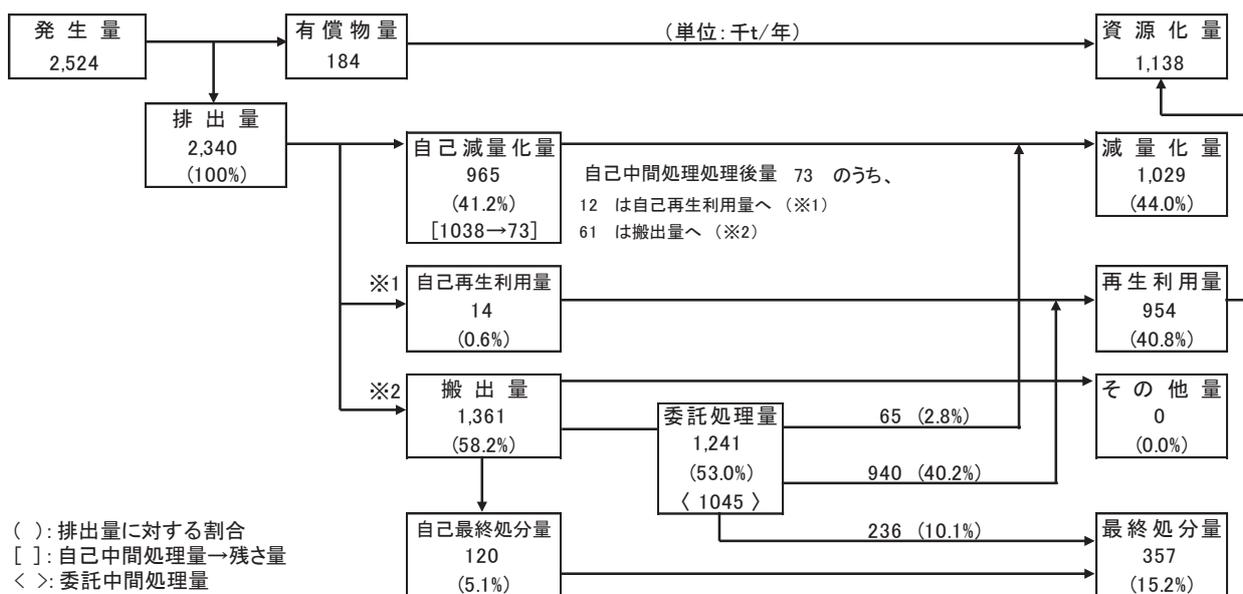
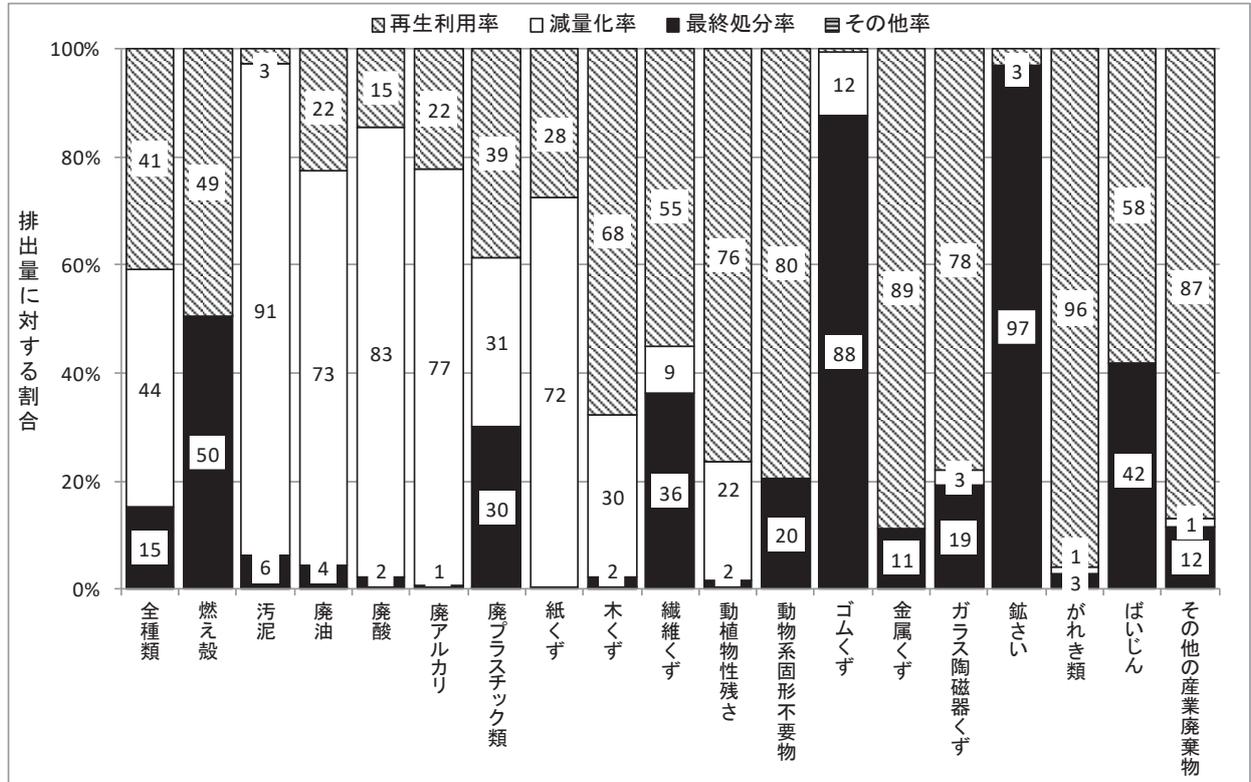


図 2-3-1 処理・処分状況

## 2 種類別及び業種別にみた再生利用率、減量化率、最終処分率

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、図 2-3-2、図 2-3-3 に示すとおりである。



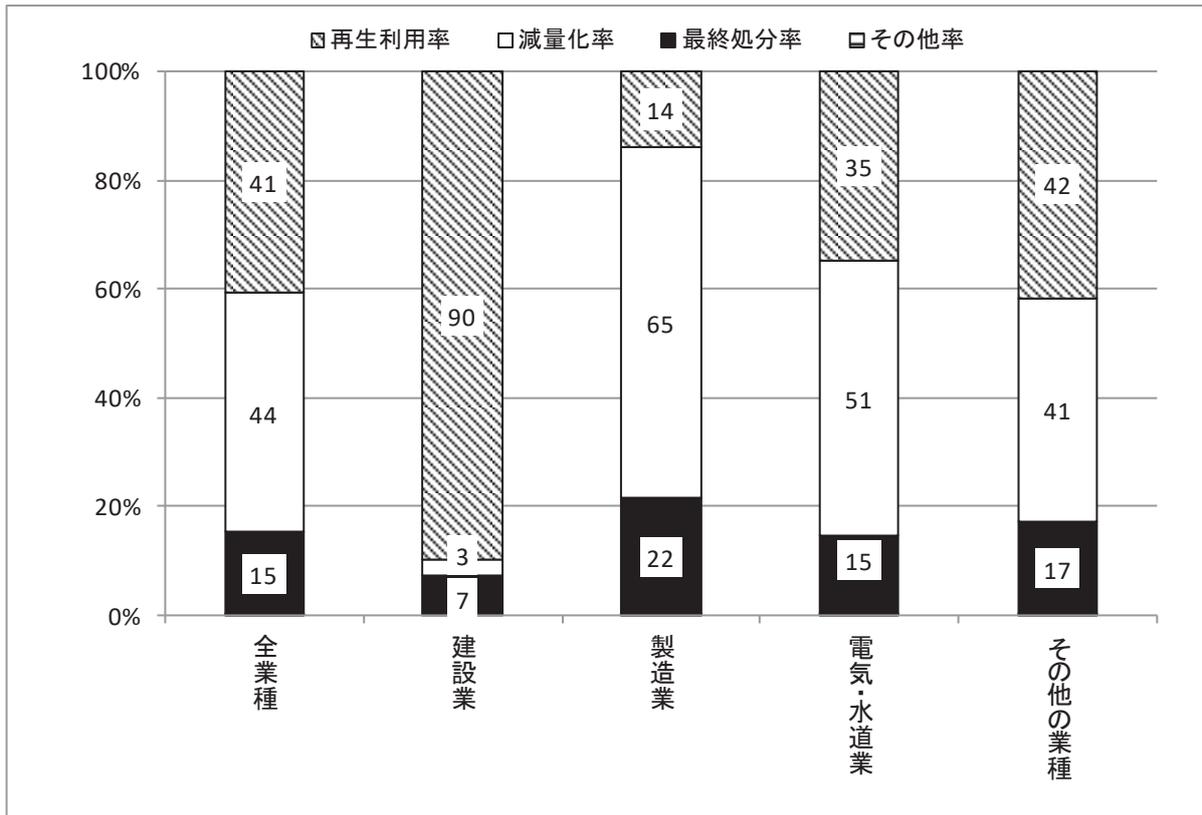
種類:無変換 (千t/年)	全種類	燃え殻	污泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	2,340 (100%)	44 (100%)	1,050 (100%)	15 (100%)	4 (100%)	9 (100%)	34 (100%)	12 (100%)	69 (100%)	0 (100%)	11 (100%)	2 (100%)	0 (100%)	9 (100%)	30 (100%)	144 (100%)	459 (100%)	145 (100%)	303 (100%)
再生利用量	954 (40.8%)	22 (49.4%)	29 (2.8%)	3 (22.4%)	1 (14.6%)	2 (22.2%)	13 (38.6%)	3 (27.6%)	47 (67.8%)	0 (55.2%)	8 (76.4%)	2 (79.7%)	0 (0.4%)	8 (88.7%)	23 (78.0%)	4 (2.9%)	440 (95.8%)	84 (58.1%)	264 (87.0%)
減量化量	1,029 (44.0%)	0 (0.2%)	955 (90.9%)	11 (73.2%)	3 (83.3%)	7 (77.2%)	11 (31.2%)	9 (72.1%)	21 (30.1%)	0 (8.7%)	2 (22.1%)	0 (0.0%)	0 (12.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	6 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.4%)
最終処分量	357 (15.2%)	22 (50.4%)	66 (6.3%)	1 (4.3%)	0 (2.2%)	0 (0.6%)	10 (30.1%)	0 (0.3%)	1 (2.1%)	0 (36.1%)	0 (1.6%)	1 (20.3%)	0 (87.6%)	1 (11.2%)	6 (19.1%)	139 (97.1%)	13 (2.9%)	61 (41.9%)	35 (11.6%)
その他量	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

注) 廃油、廃酸、廃アルカリ等に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻となったものが最終処分されている。しかし、この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

(参考)

発生量	2,524 (100%)	44 (100%)	1,144 (100%)	16 (100%)	4 (100%)	9 (100%)	38 (100%)	13 (100%)	121 (100%)	0 (100%)	12 (100%)	2 (100%)	0 (100%)	31 (100%)	30 (100%)	144 (100%)	459 (100%)	153 (100%)	303 (100%)
有償物量	184 (7.3%)	0 (0.8%)	94 (8.2%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (8.7%)	0 (3.2%)	52 (43.1%)	1 (11.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	22 (69.4%)	0 (0.3%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	8 (5.5%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)

図 2-3-2 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比



業種 (千t/年)	合計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
排出量	2,340 (100%)	545 (100%)	775 (100%)	995 (100%)	24 (100%)
再生利用量	954 (40.8%)	490 (89.8%)	108 (13.9%)	346 (34.8%)	10 (41.6%)
減量化量	1,029 (44.0%)	15 (2.8%)	500 (64.5%)	504 (50.6%)	10 (41.1%)
最終処分量	357 (15.2%)	40 (7.4%)	167 (21.5%)	145 (14.6%)	4 (17.2%)
その他量	0 (0.0%)		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)

(参考)

発生量	2,524 (100%)	546 (100%)	854 (100%)	1,098 (100%)	26 (100%)
有償物量	184 (7.3%)	0 (0.1%)	79 (9.3%)	103 (9.4%)	2 (7.2%)

図 2-3-3 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

### 3 自己中間処理状況

自己中間処理量は1,038千トンとなっており、排出量の44.4%を占めている。

種類別に排出量に対する自己中間処理量の割合で見ると、汚泥が94.0%で最も高く、次いで紙くずが83.3%、木くずが28.3%となっている。

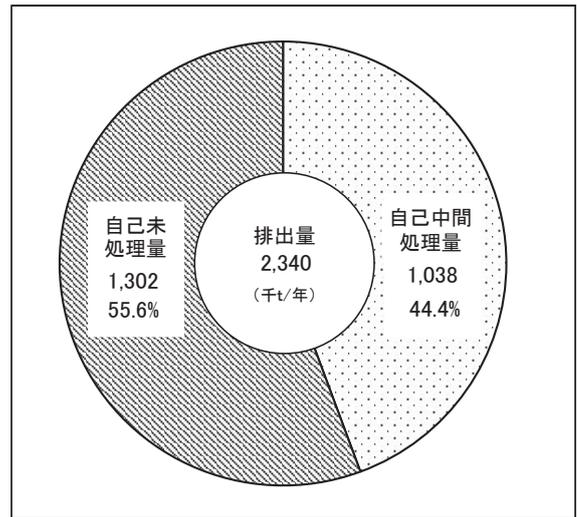
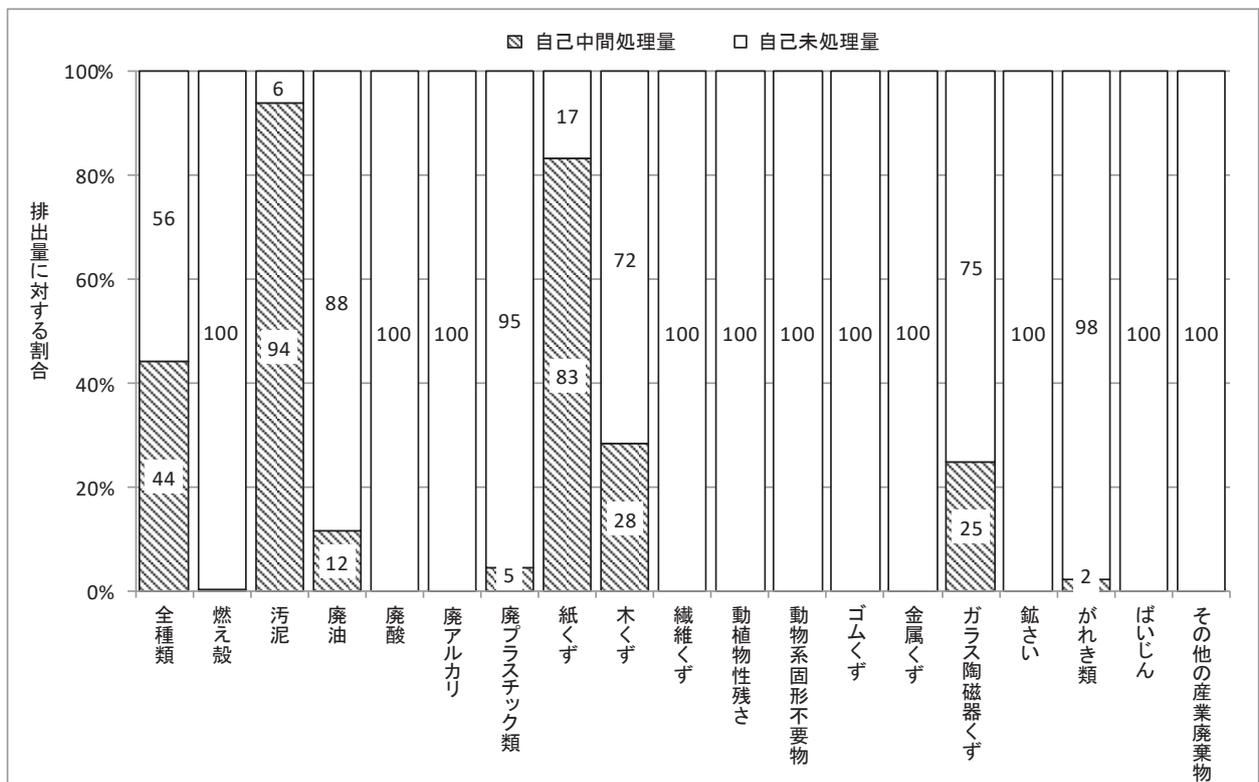


図 2-3-4 自己中間処理及び自己未処理量の構成



種類・無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	2,340 (100%)	44 (100%)	1,050 (100%)	15 (100%)	4 (100%)	9 (100%)	34 (100%)	12 (100%)	69 (100%)	0 (100%)	11 (100%)	2 (100%)	0 (100%)	9 (100%)	30 (100%)	144 (100%)	459 (100%)	145 (100%)	303 (100%)
自己中間処理量	1,038 (44.4%)	0 (0.4%)	986 (94.0%)	2 (11.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.7%)	10 (83.3%)	19 (28.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	7 (25.0%)	0 (0.0%)	11 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
(自己減量化量)	965 (41.2%)	0 (0.2%)	928 (88.4%)	2 (11.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	9 (71.4%)	19 (26.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	6 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
自己未処理量	1,302 (55.6%)	44 (99.6%)	63 (6.0%)	13 (88.3%)	4 (100.0%)	9 (100.0%)	33 (95.3%)	2 (16.7%)	49 (71.7%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (100.0%)	9 (99.9%)	22 (75.0%)	144 (100.0%)	448 (97.6%)	145 (100.0%)	303 (100.0%)

図 2-3-5 種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己未処理量の構成比

#### 4 委託処理状況

委託処理量は 1,241 千トであり、排出量の 53.0%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 446 千トン (36.0%) で最も多く、次いで、その他の産業廃棄物が 303 千トン (24.4%)、以下、ばいじんが 145 千トン (11.7%)、汚泥が 88 千トン (7.1%)、燃え殻が 71 千トン (5.7%) となっている。

委託処理量 1,241 千トのうち、委託直接最終処分量は 196 千ト (委託処理量の 15.8%)、委託中間処理量は 1045 千ト (同 84.2%) となっている。

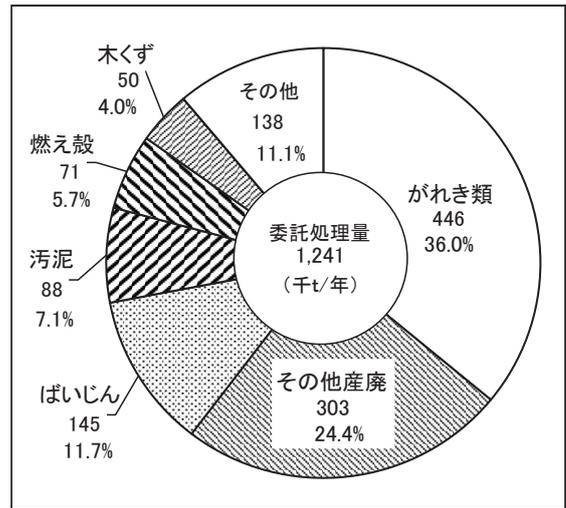
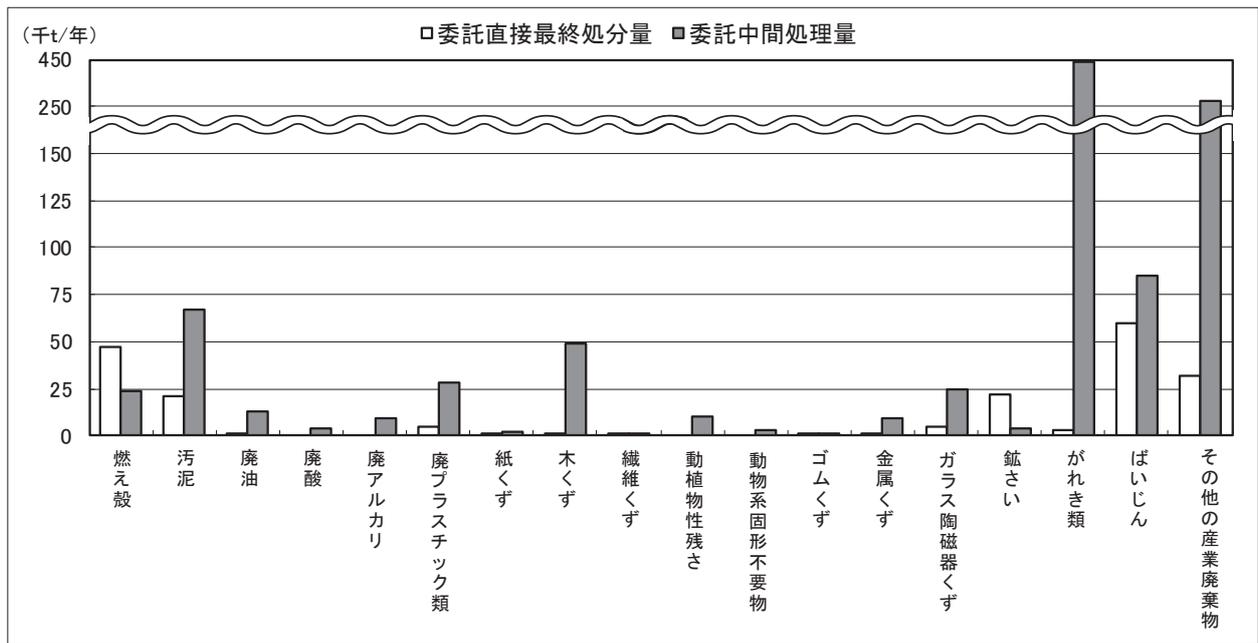


図 2-3-6 種類別委託処理量の構成比



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	其他の産業廃棄物
委託処理量	1,241 (100%)	71 (5.7%)	88 (7.1%)	13 (1.0%)	4 (0.3%)	9 (0.7%)	33 (2.6%)	2 (0.2%)	50 (4.0%)	0 (0.0%)	11 (0.8%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	9 (0.8%)	29 (2.3%)	26 (2.1%)	446 (36.0%)	145 (11.7%)	303 (24.4%)
委託直接最終処分量	196 (100%)	47 (24.3%)	21 (10.8%)	0 (0.0%)			5 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.1%)	0 (0.1%)			0 (0.0%)	0 (0.2%)	5 (2.5%)	22 (11.1%)	3 (1.4%)	60 (30.5%)	32 (16.5%)
委託中間処理量	1,045 (100%)	23 (2.2%)	67 (6.4%)	13 (1.2%)	4 (0.4%)	9 (0.9%)	28 (2.7%)	2 (0.2%)	49 (4.7%)	0 (0.0%)	11 (1.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	9 (0.9%)	24 (2.3%)	4 (0.4%)	444 (42.4%)	85 (8.1%)	271 (25.9%)

図 2-3-7 種類別の委託処理量

## 5 最終処分状況

最終処分量は 357 千トンとなっており、排出量の 15.2% を占めている。

種類別にみると、鉱さいが 139 千トン (39.1%) で最も多く、次いで、ばいじんが 61 千トン (17.0%)、以下、燃え殻が 53 千トン (14.8%)、汚泥が 38 千トン (10.6%) 等となっている。

最終処分量 357 千トンの処理を主体別にみると、排出事業者自らの自己最終処分量が 120 千トン (最終処分量の 33.7%)、処理業者及び県等の公共施設での最終処分量が 236 千トン (同 66.3%) となっている。

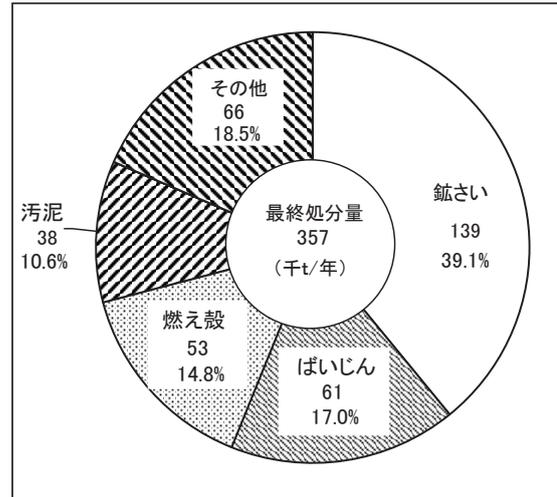
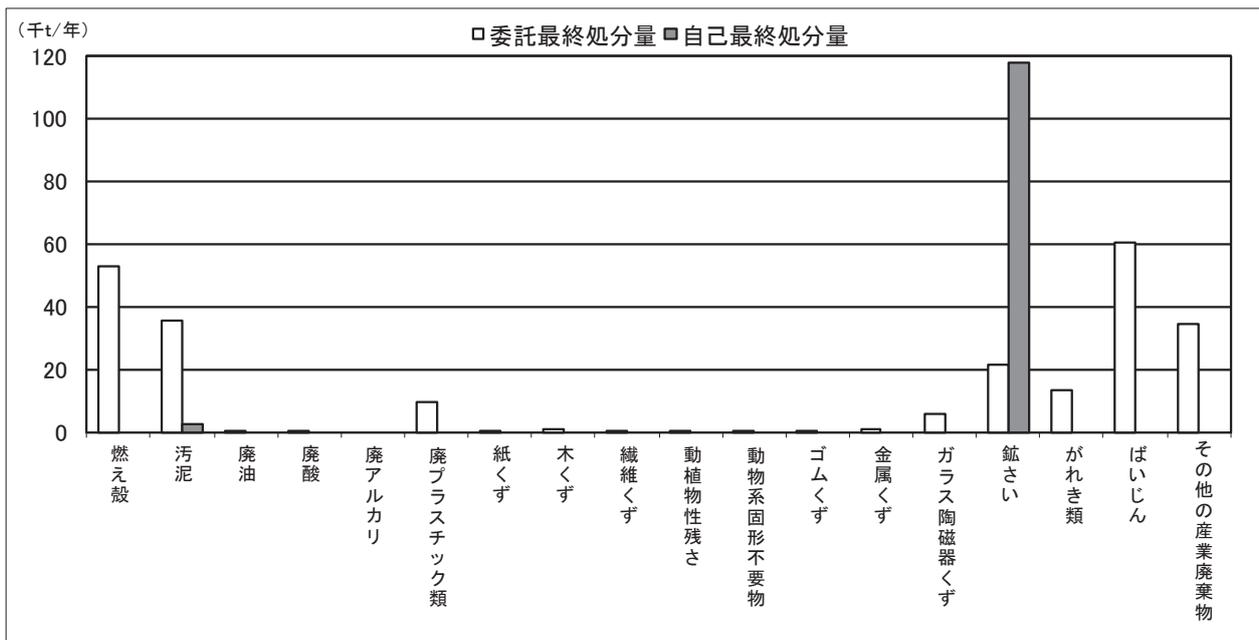


図 2-3-8 種類別最終処分量の構成比



種類: 変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
最終処分量	357 (100%)	53 (14.8%)	38 (10.6%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)		9 (2.6%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	6 (1.6%)	139 (39.1%)	13 (3.7%)	61 (17.0%)	35 (9.7%)
自己最終処分量	120 (100%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)													118 (97.9%)		0 (0.0%)	0 (0.0%)
委託最終処分量	236 (100%)	53 (22.3%)	35 (15.0%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)		9 (3.9%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	6 (2.4%)	22 (9.2%)	13 (5.6%)	61 (25.6%)	35 (14.6%)

図 2-3-9 種類別の最終処分量

## 6 再生利用状況

再生利用量は 954 千トンとなっており、排出量の 40.8%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 440 千トン (46.1%) で最も多く、以下、その他の産業廃棄物が 264 千トン (27.6%)、ばいじんが 84 千トン (8.8%)、木くずが 47 千トン (4.9%)、汚泥が 29 千トン (3.1%) 等となっている。

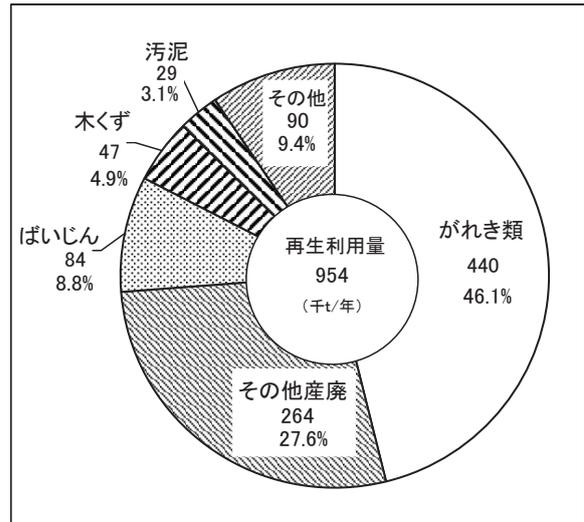


図 2-3-10 種類別の再生利用量の構成比

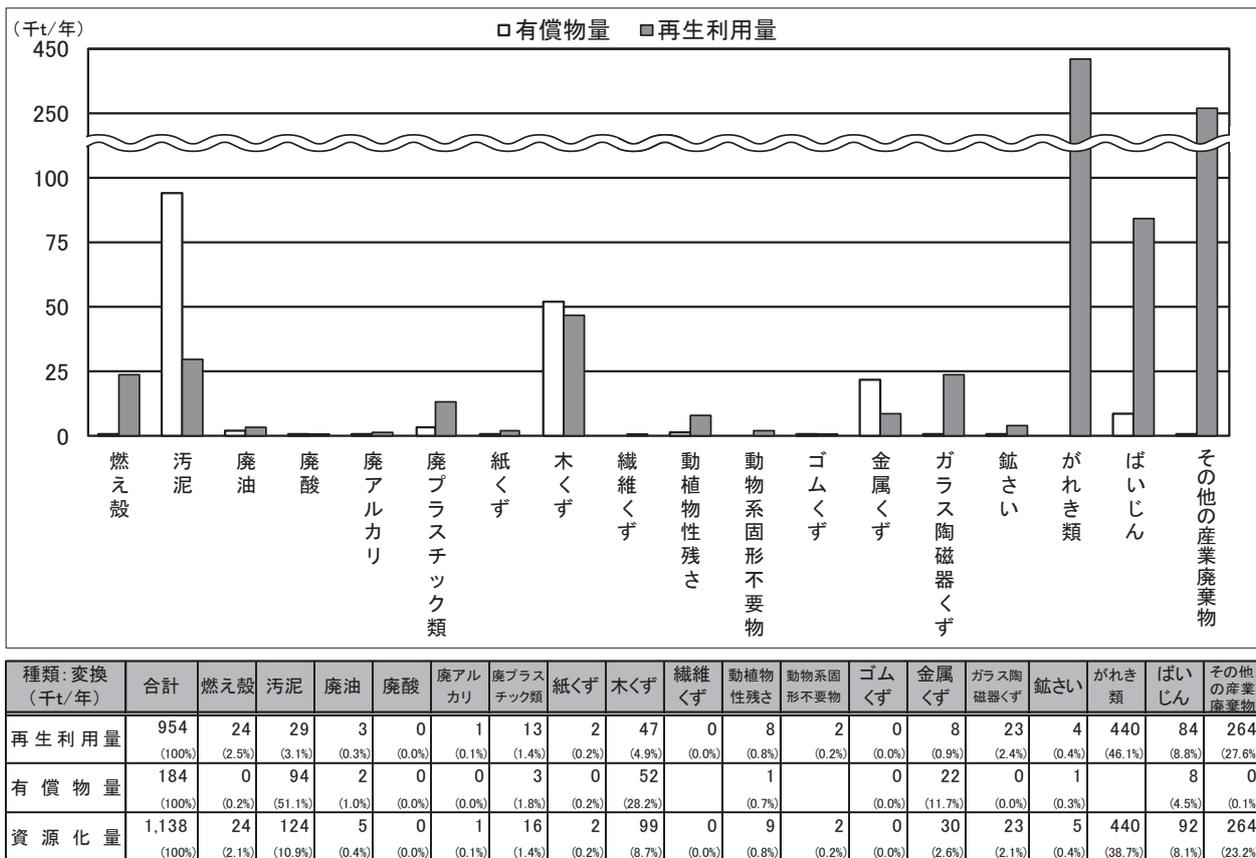


図 2-3-11 種類別の再生利用量

## 7 発生量及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-12 に示すとおりである。

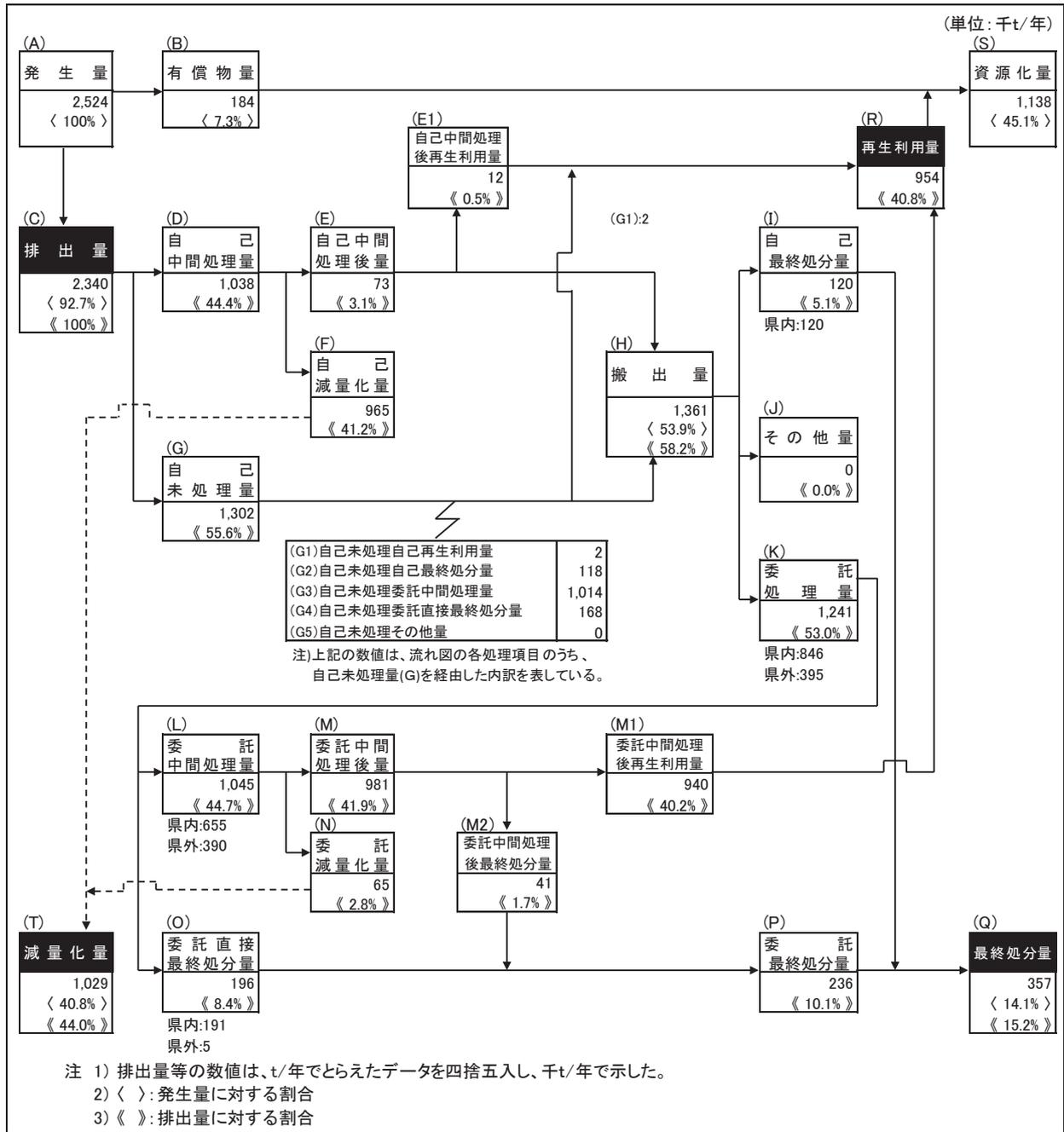


図 2-3-12 発生及び処理状況の流れ図

# 第3章 業種別の調査結果

## 第1節 建設業

### 1 概要

建設業からの排出量は 545 千トで、県全体の排出量の 23.3% を占めている。

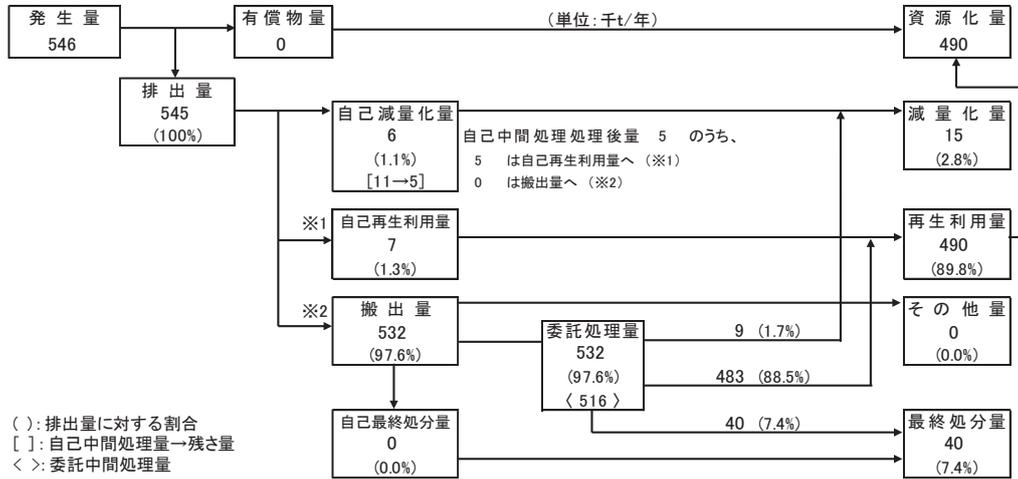


図 3-1-1 建設業の処理・処分状況

### 2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、がれき類の 453 千ト（建設業の排出量の 83.1%）と木くずの 44 千ト（同 8.1%）、汚泥の 27 千ト（同 4.9%）で建設業全体の 96.0% を占めている。

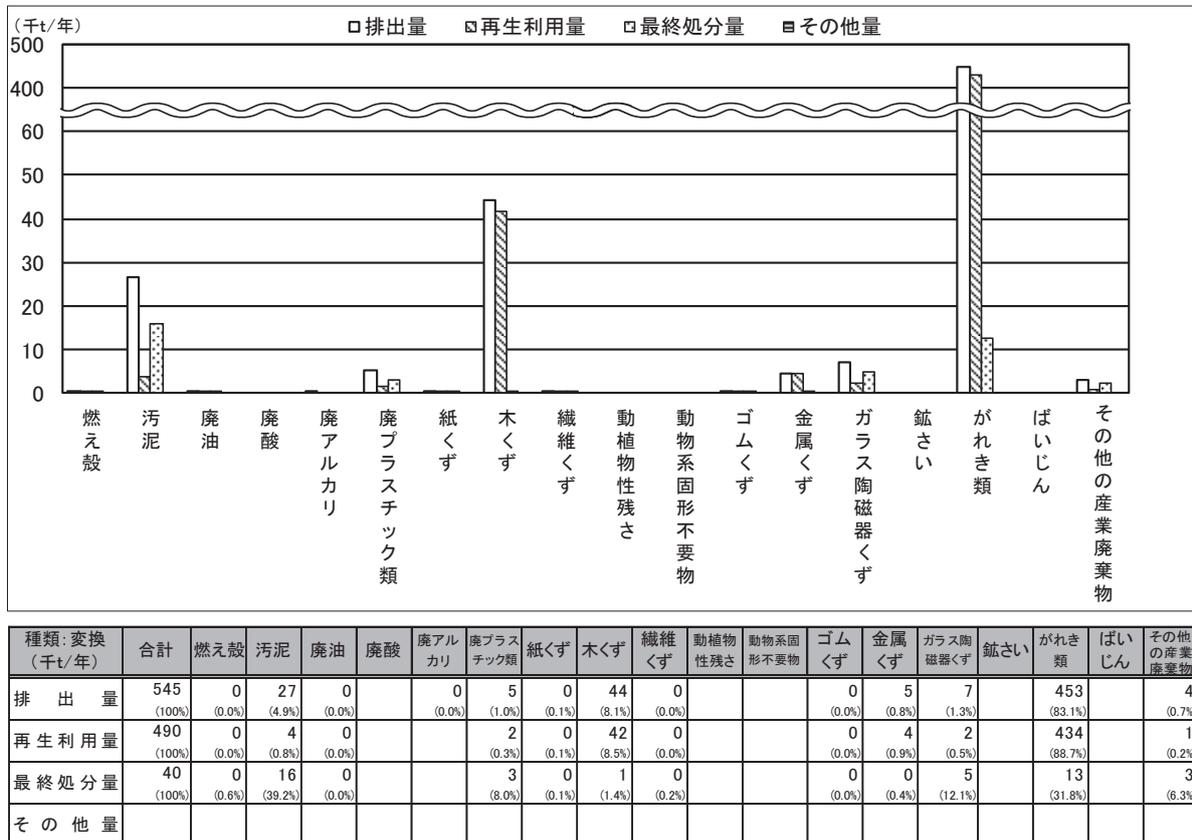


図 3-1-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 545 千トンの処理・処分状況を見ると、15 千トン (2.8%) が減量化され、再生利用量は 490 千トン (89.8%)、最終処分量は 40 千トン (7.4%) となっている。

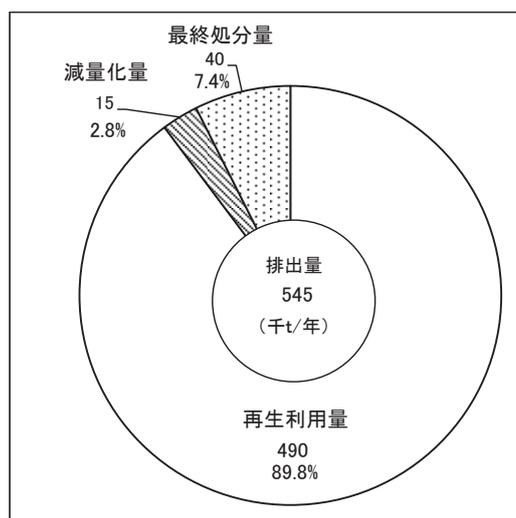
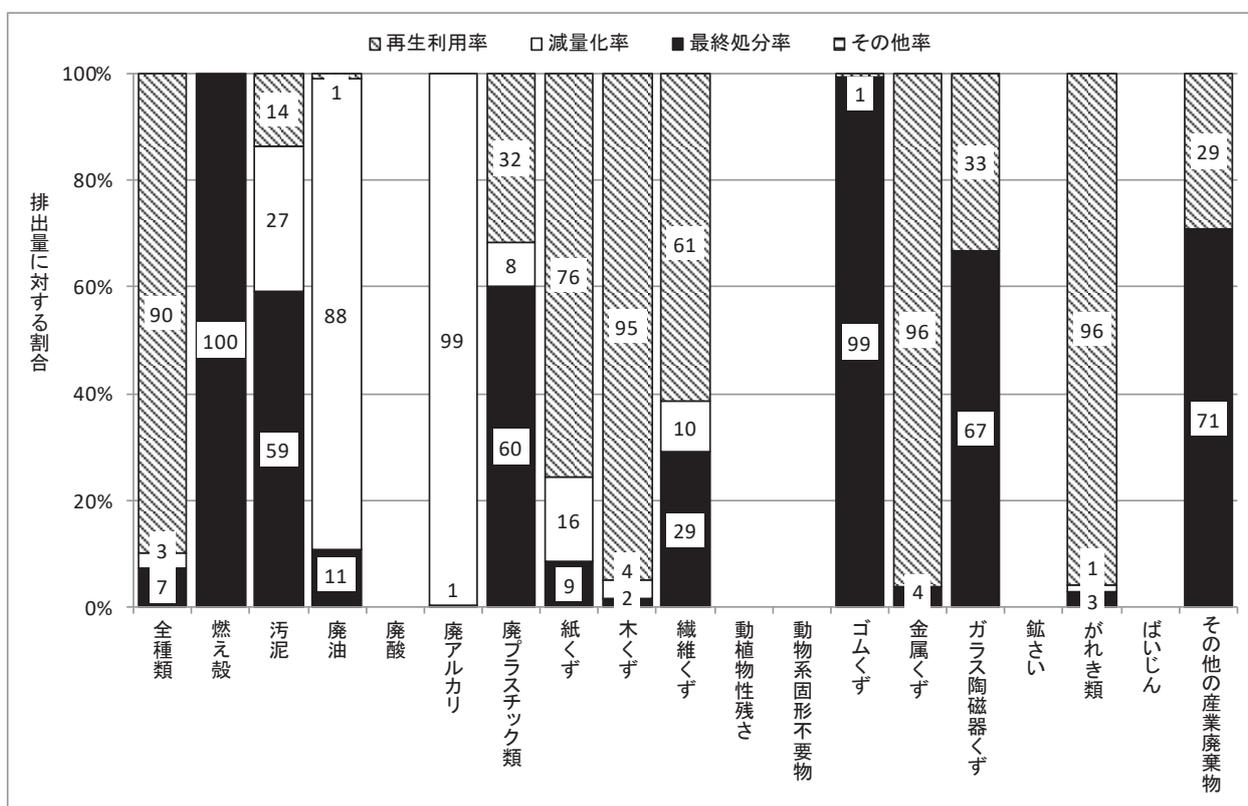


図 3-1-3 建設業の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類: 無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	545	0	27	0	0	0	5	0	44	0	0	0	0	5	7	0	453	0	4
再生利用量	490	0	4	0	0	0	2	0	42	0	0	0	0	4	2	0	434	0	1
減量化量	15	0	7	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
最終処分量	40	0	16	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	5	0	13	0	3
その他量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
しかし、この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-1-4 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-1-5 のとおりである。

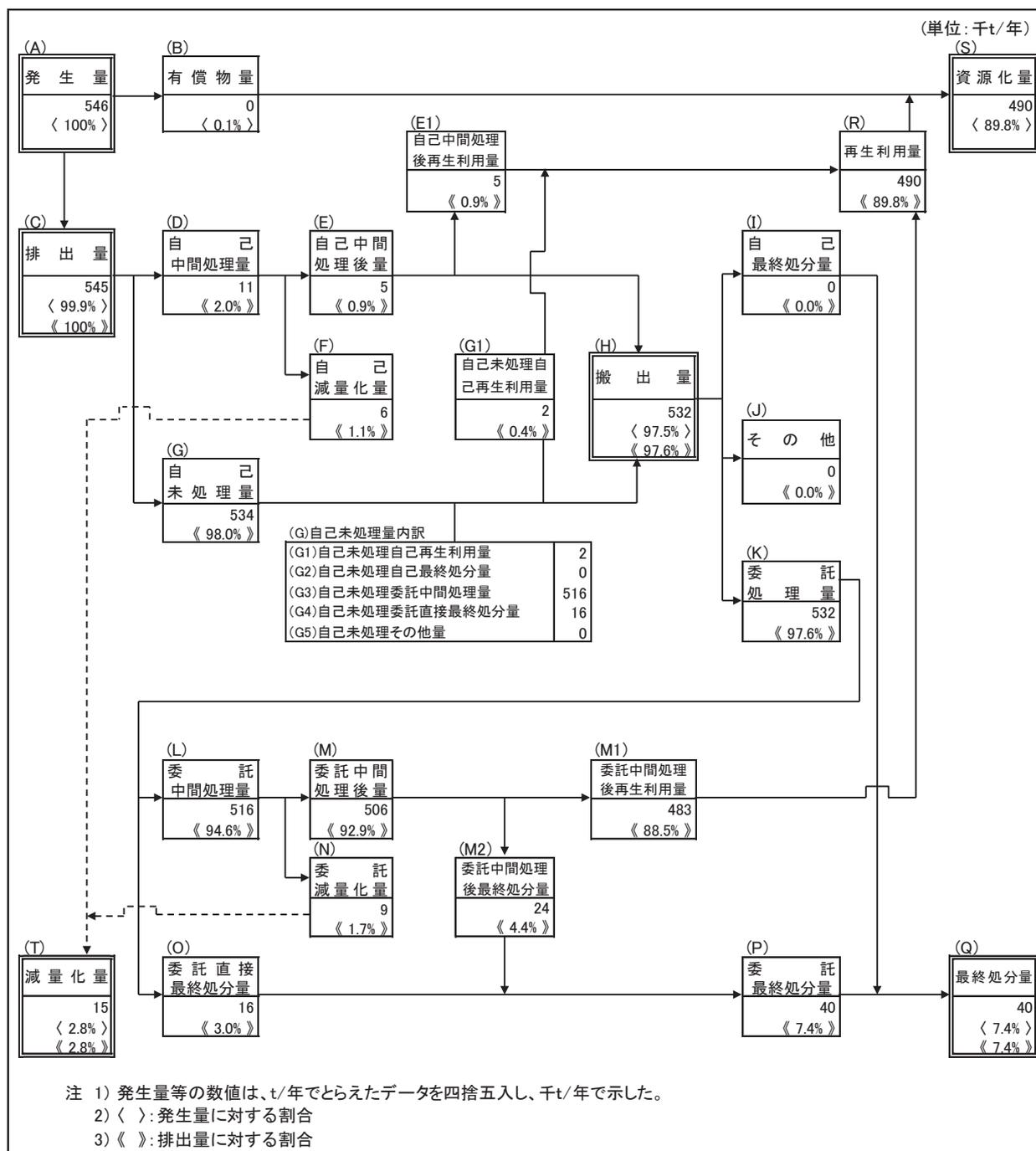


図 3-1-5 建設業の発生及び処理状況の流れ図

## 第2節 製造業

### 1 概要

製造業からの排出量は775千トで、県全体の排出量の33.1%を占めている。

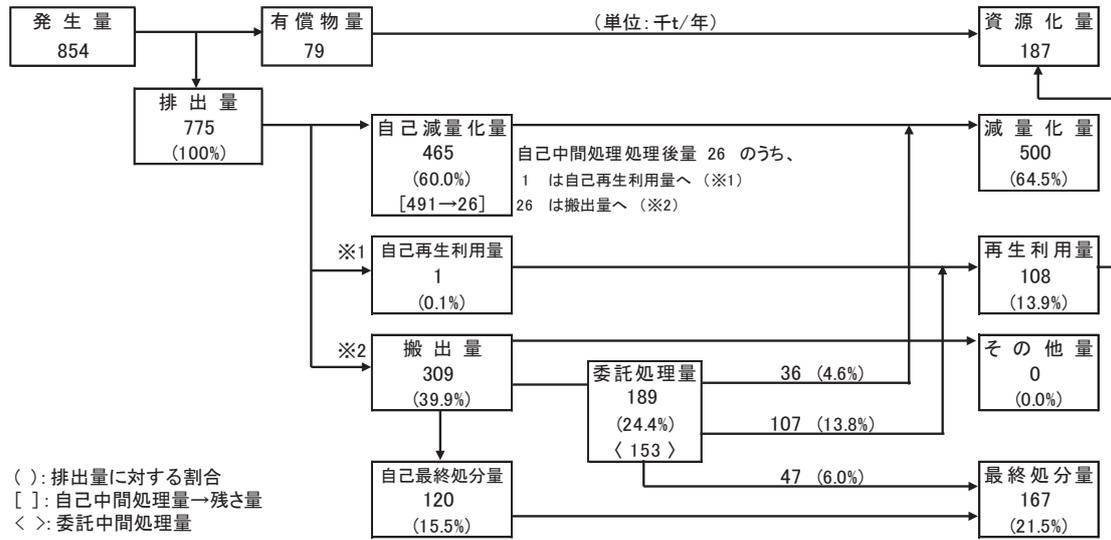


図 3-2-1 製造業の処理・処分状況

### 2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、汚泥の467千ト（製造業の排出量の60.2%）と鉱さいの144千ト（同18.5%）、ばいじんの29千ト（同3.7%）で製造業全体の82.6%を占めている。

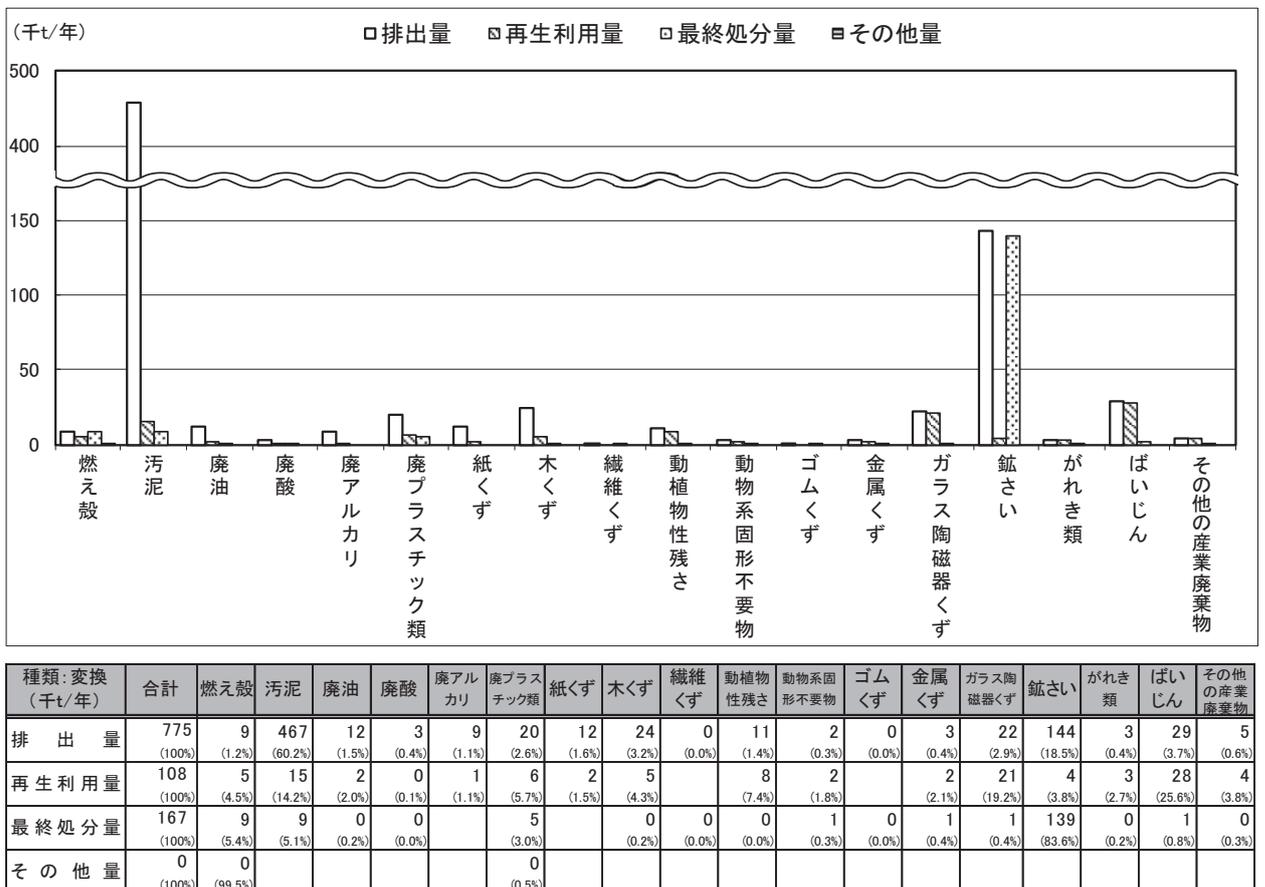


図 3-2-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量を業種中分類別にみると、パルプ・紙の 452 千トン（製造業の排出量の 58.4%）と非鉄金属の 143 千トン（同 18.5%）、窯業・土石業の 37 千トン（同 4.7%）で製造業全体の 81.7%を占めている。

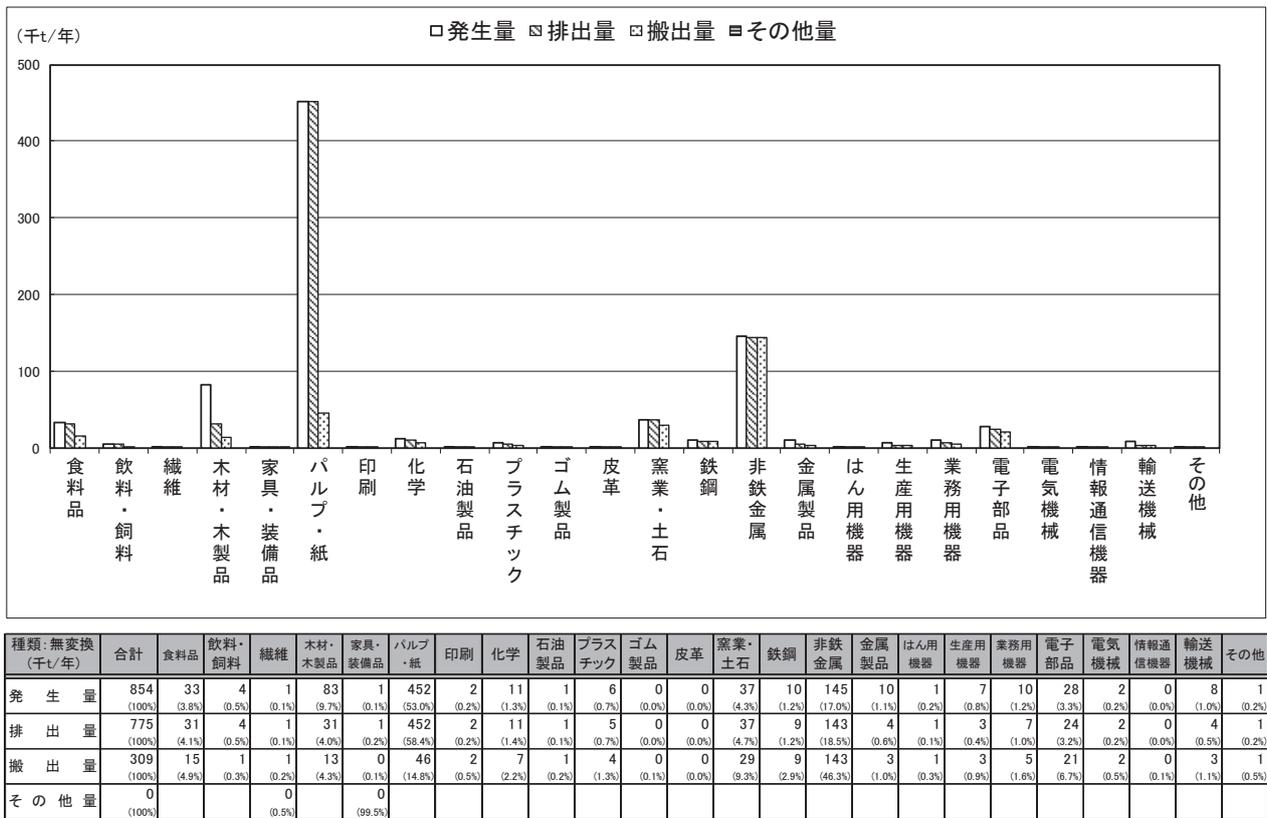


図 3-2-3 業種中分類別の発生量、排出量、搬出量

排出された 775 千トンの処理・処分状況を見ると、500 千トン（64.5%）が減量化され、再生利用量は 108 千トン（13.9%）、最終処分量は 167 千トン（21.5%）となっている。

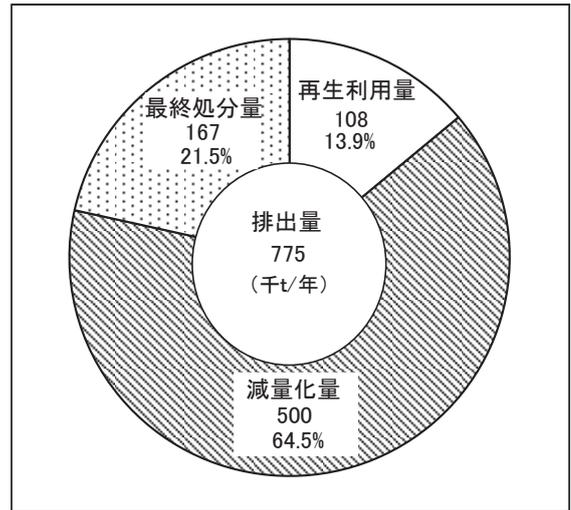
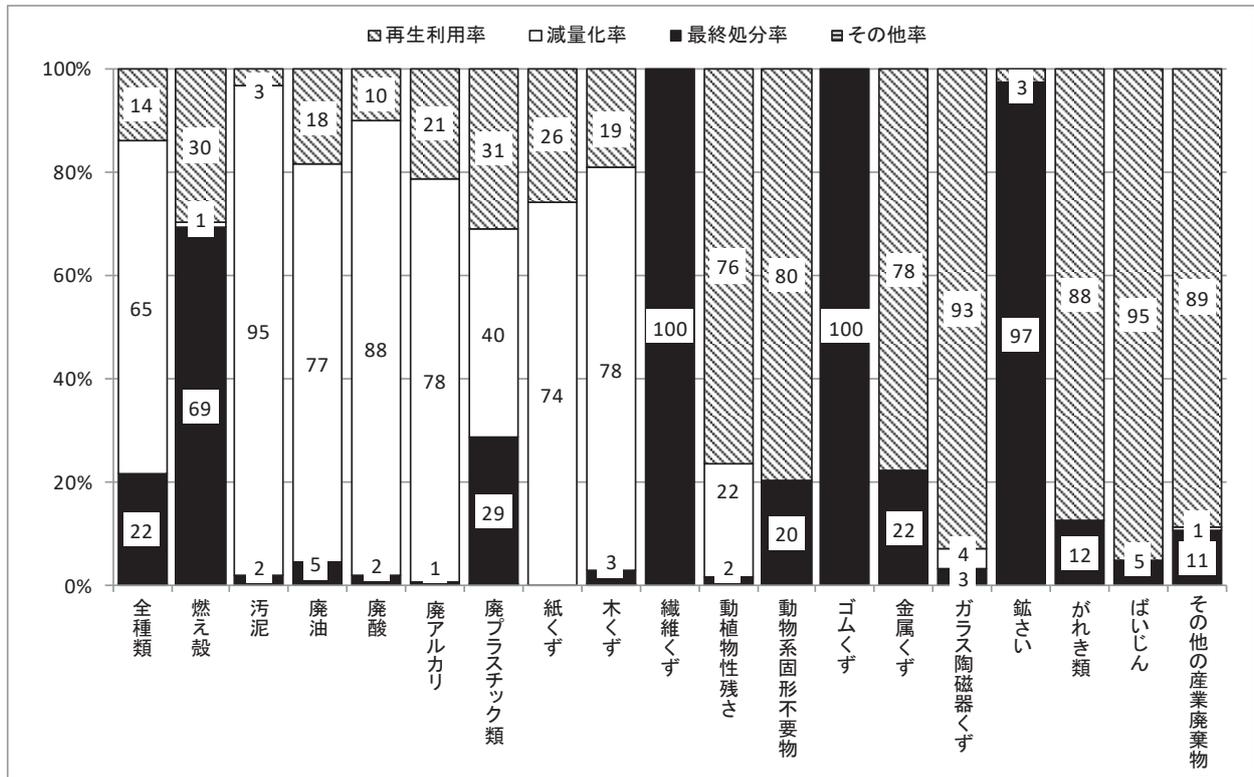


図 3-2-4 種類別の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類: 無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	污泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	775	9	467	12	3	9	20	12	24	0	11	2	0	3	22	144	3	29	5
再生利用量	108	3	15	2	0	2	6	3	5		8	2		2	21	4	3	28	4
減量化量	500	0	442	9	3	7	8	9	19		2				1				0
最終処分量	167	6	10	1	0	0	6	0	1	0	0	1	0	1	1	139	0	1	0
その他量	0						0	0	0										

注1) 廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や污泥となったものが最終処分されている。  
しかし、この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-2-5 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-2-6 に示すとおりである。

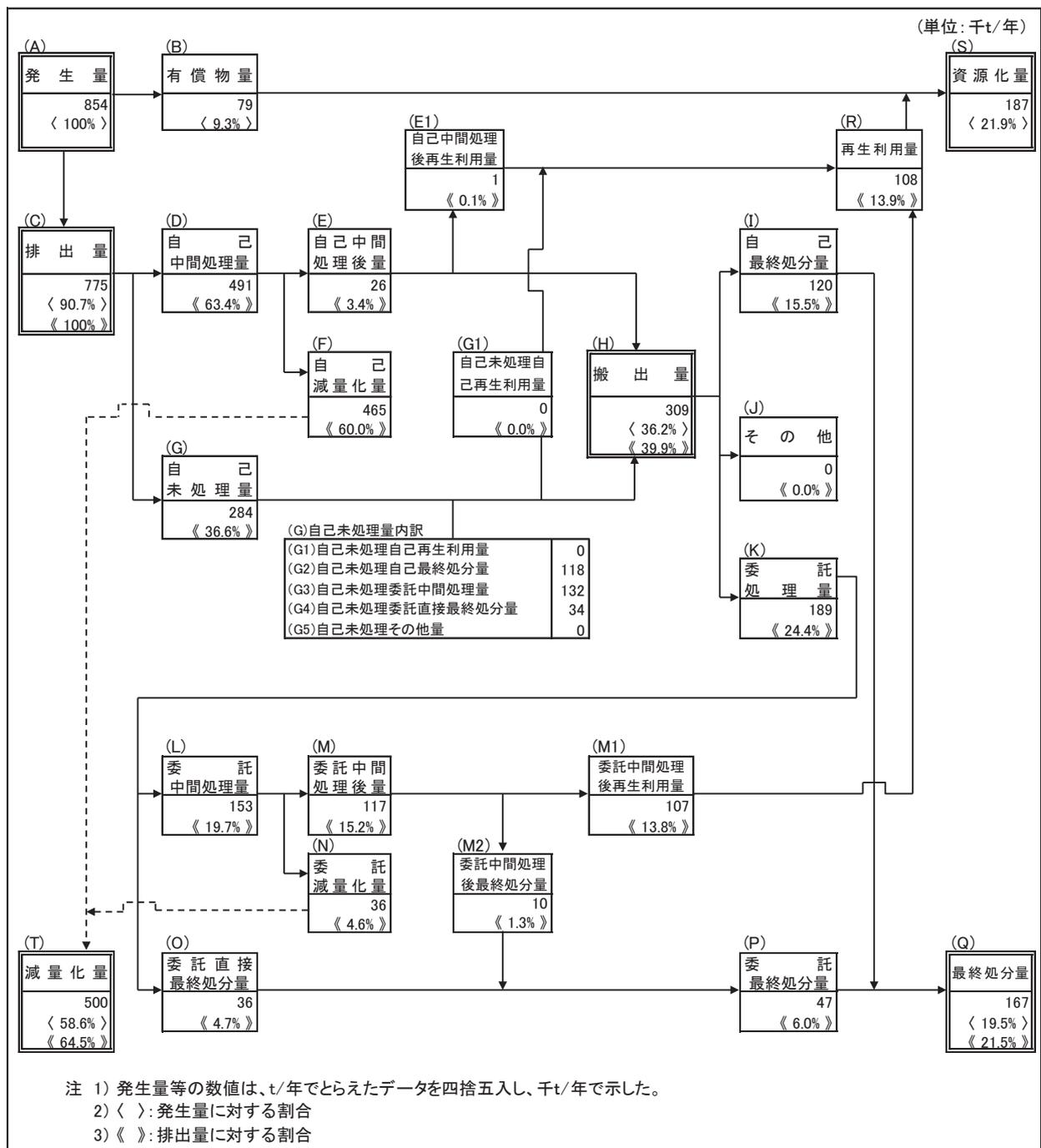


図 3-2-6 製造業の発生及び処理状況の流れ図

### 第3節 電気・水道業

#### 1 概要

電気・水道業からの排出量は 995 千トで、県全体の排出量の 42.5%を占めている。

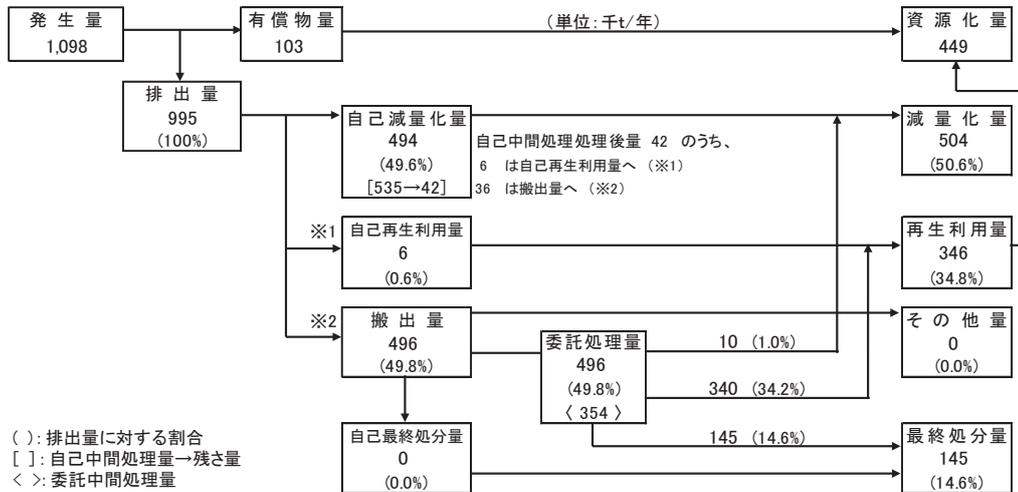
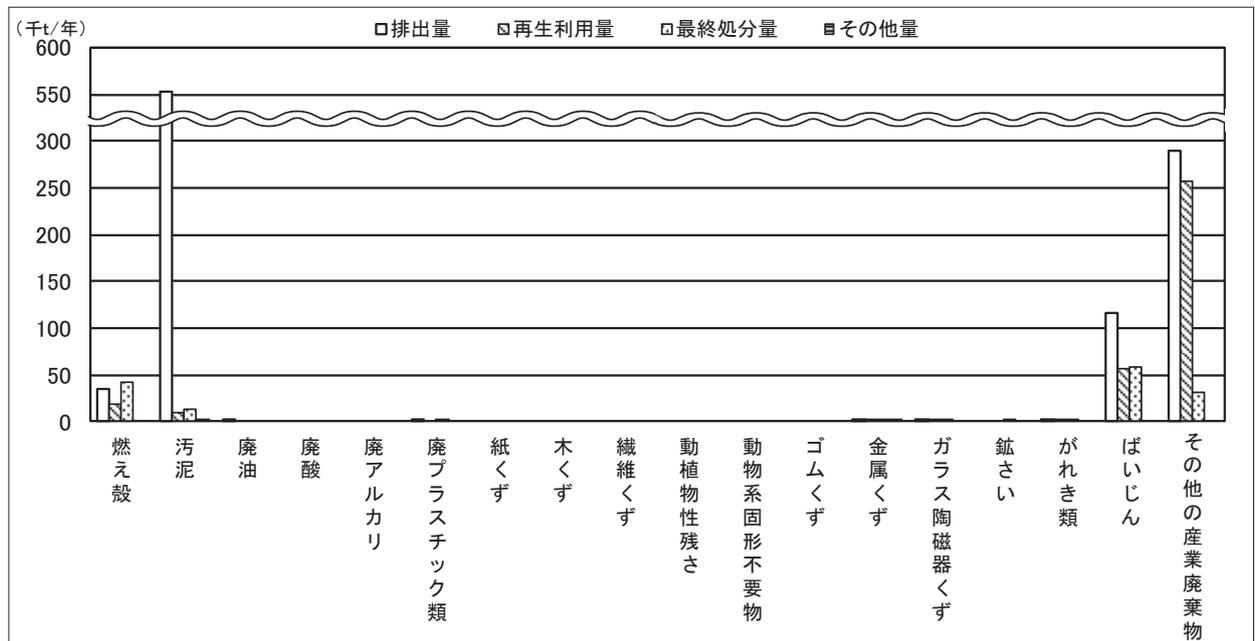


図 3-3-1 電気・水道業の処理・処分状況

#### 2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 553 千ト（電気・水道業の排出量の 55.6%）とその他の産業廃棄物の 289 千ト（同 29.0%）、ばいじんの 116 千ト（同 11.6%）で電気・水道業全体の 96.2%を占めている。



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	995 (100%)	35 (3.5%)	553 (55.6%)	0 (0.0%)			1 (0.1%)							0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	116 (11.6%)	289 (29.0%)
再生利用量	346 (100%)	19 (5.5%)	10 (2.9%)											0 (0.0%)	0 (0.0%)		2 (0.6%)	56 (16.3%)	258 (74.6%)
最終処分量	145 (100%)	43 (29.4%)	13 (8.7%)				0 (0.0%)							0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	59 (40.7%)	31 (21.1%)
その他量	0 (100%)		0 (10.4%)											0					0

図 3-3-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 995 千トンの処理・処分状況を見ると、504 千トン（50.6%）が減量化され、再生利用量は 346 千トン（34.8%）、最終処分量は 145 千トン（14.6%）となっている。

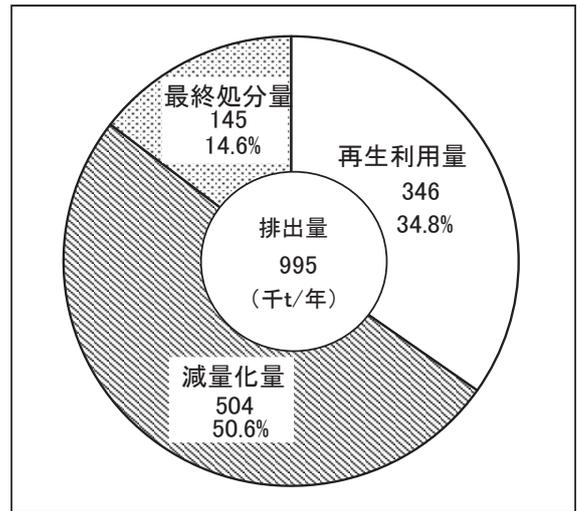
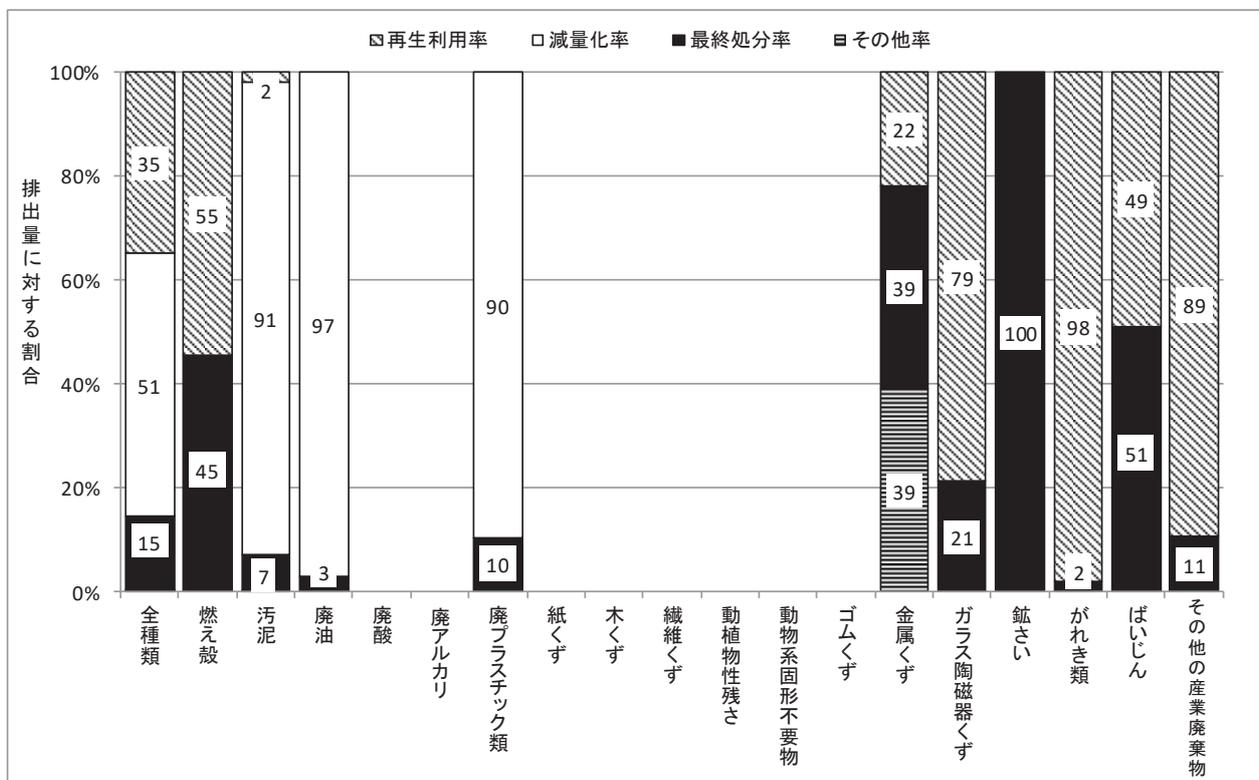


図 3-3-3 種類別の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類：無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	995	35	553	0			1							0	0	0	2	116	289
再生利用量	346	19	10	0										0	0	0	2	56	258
減量化量	504		504	0			0							0	0	0	0	59	31
最終処分量	145	16	39	0			0							0	0	0	0	59	31
その他量	0		0											0					0

注1) 廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
しかし、この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-3-4 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-3-5 に示すとおりである。

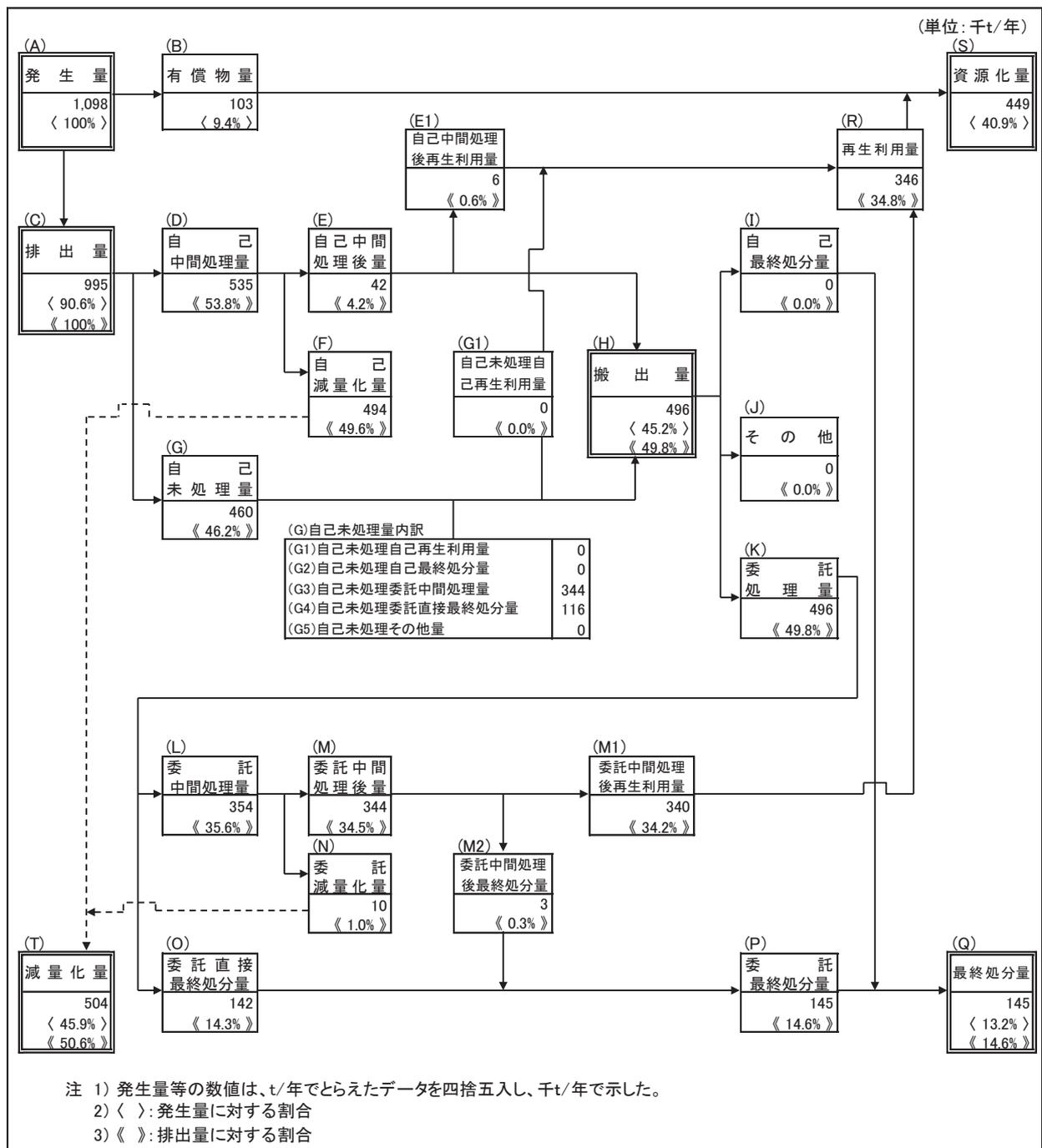


図 3-3-5 電気・水道業の発生及び処理状況の流れ図

## 第4節 その他の業種

その他の業種（情報通信業、運輸業、卸・小売業、物品賃貸業、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉、サービス業）は、令和2年度の秋田県産業廃棄物実態調査報告書でとりまとめた結果をもとに整理した。

### 1 概要

その他の業種からの排出量は24千tで、県全体の排出量の1.0%を占めている。

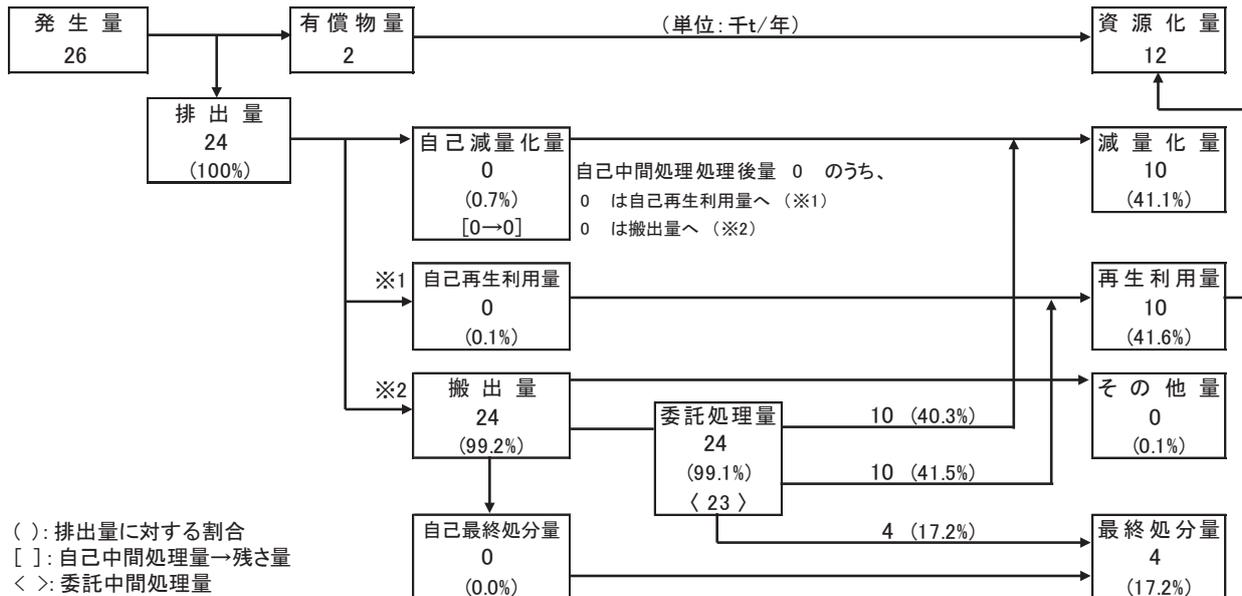
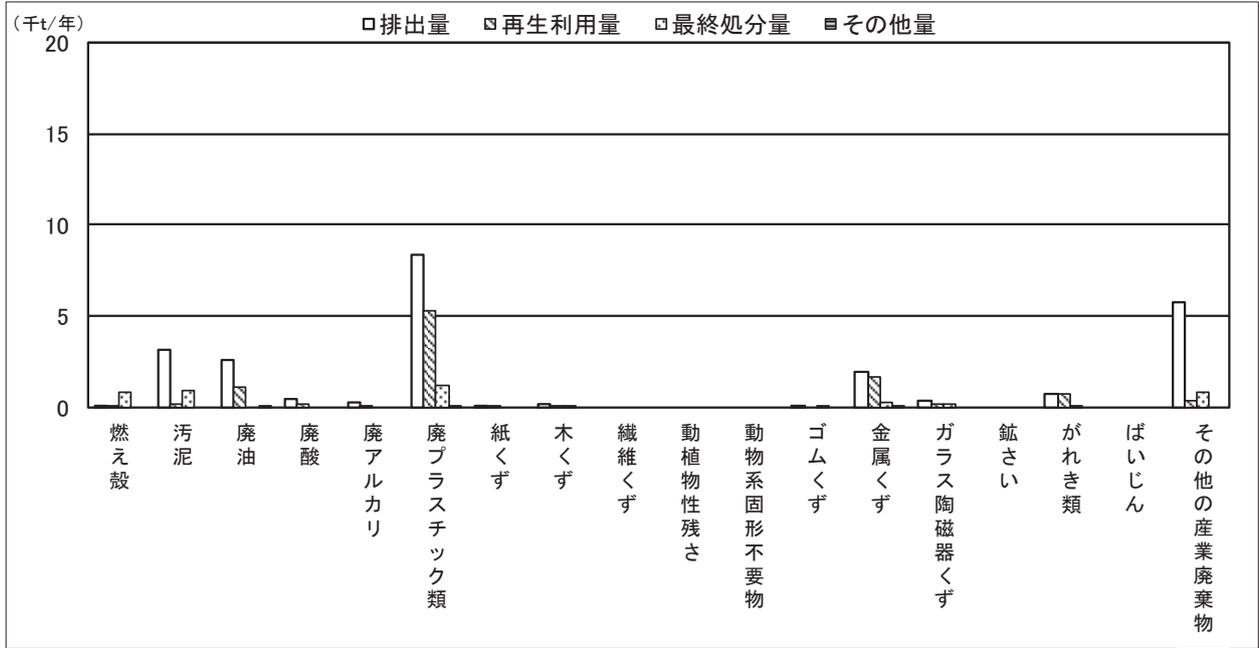


図 3-4-1 その他の業種の処理・処分状況

## 2 排出及び処理状況

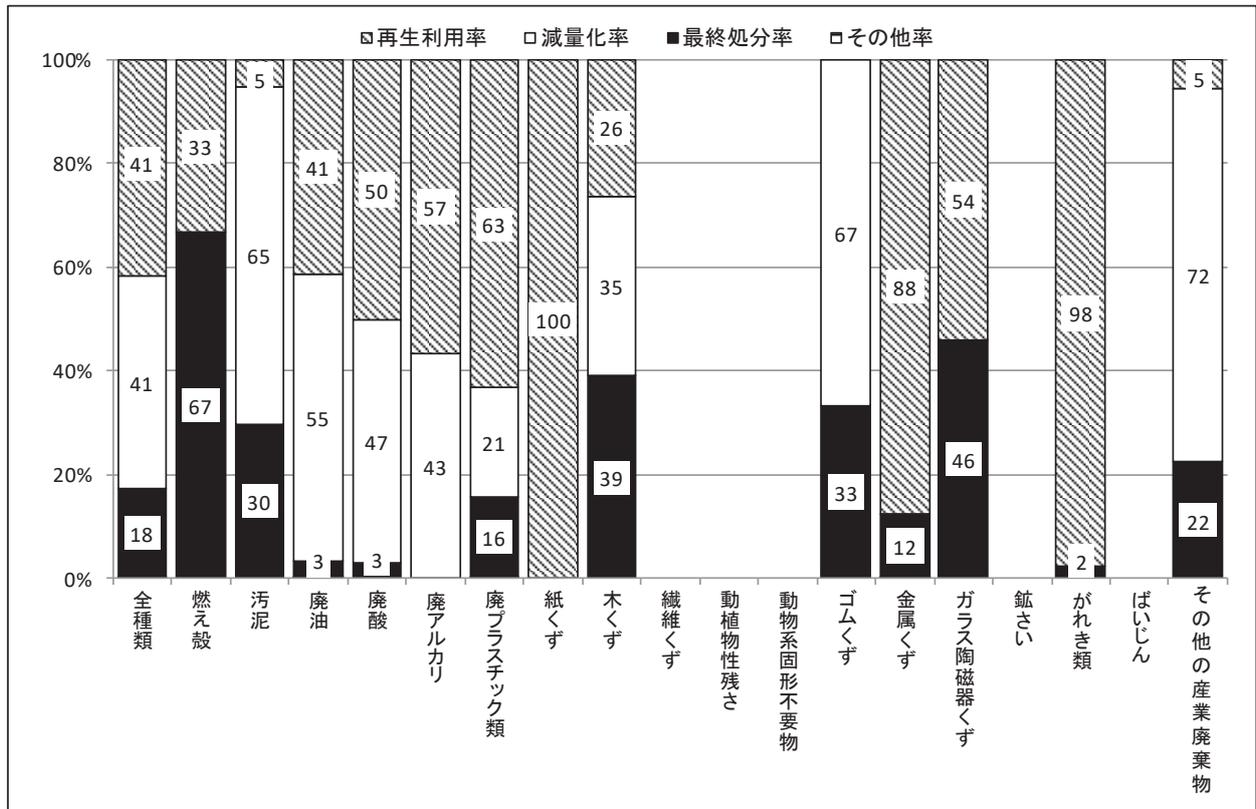
排出量を種類別にみると、全体的に発生量は少なく、廃プラスチック類の8千ト、感染性産業廃棄物を含むその他の産業廃棄物の6千ト、汚泥及び廃油の3千トでその他の業種のほとんどを占めている。



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	24 (100%)	0 (0.0%)	3 (13.1%)	3 (11.0%)	0 (1.8%)	0 (1.0%)	8 (35.2%)	0 (0.1%)	0 (0.7%)				0 (0.0%)	2 (8.1%)	0 (1.4%)		1 (3.2%)		6 (24.3%)
再生利用量	10 (100%)	0 (0.7%)	0 (2.1%)	1 (11.0%)	0 (2.1%)	0 (0.4%)	5 (53.4%)	0 (0.3%)	0 (0.4%)					2 (17.1%)	0 (1.8%)		1 (7.5%)		0 (3.2%)
最終処分量	4 (100%)	1 (19.6%)	1 (21.8%)				1 (28.3%)		0 (1.5%)				0 (0.0%)	0 (5.6%)	0 (3.6%)		0 (0.4%)		1 (19.1%)
その他量	0 (100%)			0 (14.3%)			0 (66.7%)							0 (19.0%)					

図 3-4-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 24 千トンの処理・処分状況を見ると、10 千トン（41.1%）が減量化され、再生利用量は 10 千トン（41.6%）、最終処分量は 4 千トン（17.2%）となっている。



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	24	0	3	3	0	0	8	0	0				0	2	0		1		6
再生利用量	10	0	0	1	0	0	5	0	0					2	0		1		0
減量化量	10		2	1	0	0	2		0				0						4
最終処分量	4	0	1	0	0		1		0				0	0	0		0		1
その他量	0			0			0							0					

注1)廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
しかし、この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-4-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-4-4 のとおりである。

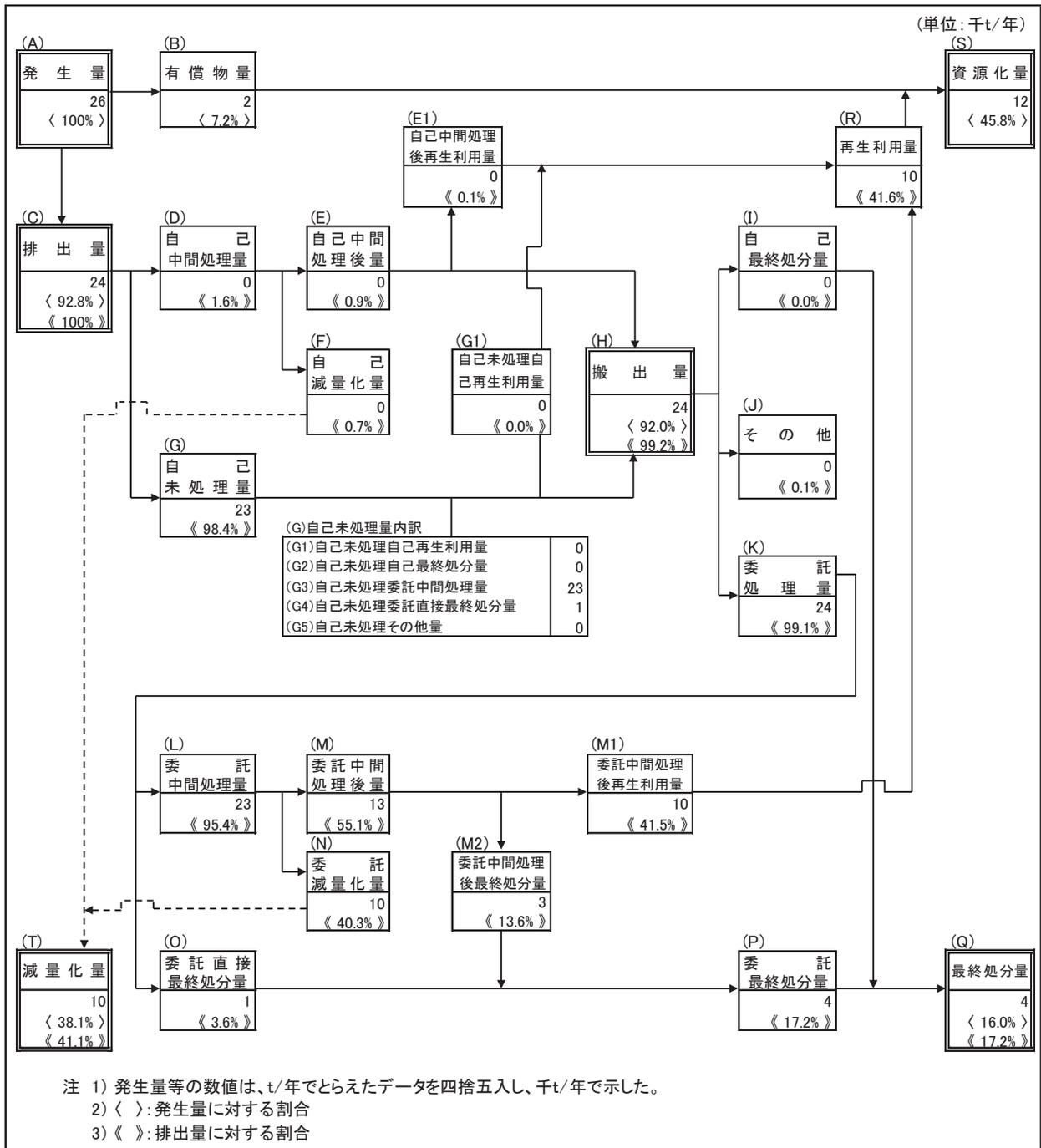


図 3-4-4 その他の業種の発生及び処理状況の流れ図

## 第4章 農業・鉱業を含めた産業廃棄物

### 第1節 農業からの産業廃棄物

農業からの産業廃棄物については、郵送によるアンケート調査は行わず、県の資料に基づいて取りまとめた。

対象廃棄物は、畜産農業からの家畜ふん尿と施設園芸農業からの農業用廃プラスチックであり、排出量の現状をとらえた。

家畜ふん尿の排出量は、令和2年の畜種別の飼養頭羽数（県関係部局資料）と令和元年度の畜種別の飼養頭羽数及び排出量（令和2年度秋田県産業廃棄物実態調査報告書）から推計した。（994千トン：表4-1-1）

また、農業用廃プラスチックについては、県の資料（隔年調査）から令和元年度における秋田県の年間排出量（817トン：表4-1-2）を用いた。

表4-1-1 畜種別ふん尿排出量

	飼養頭羽数	排出量 (千t/年)	減量化量 (千t/年)	再生利用量 (千t/年)
乳用牛	4,134 頭	71		
肉用牛	19,778 頭	183		
豚	264,444 頭	621		
採卵鶏	2,334 千羽	106		
肉鶏	269 千羽	12		
計	—	994	397	596

表4-1-2 農業用廃プラスチック排出量

(単位:t/年)

	排出量	再生処理	埋立処理	焼却処理	その他
農業用廃プラスチック	817	562	190	65	

## 第2節 鉱業からの産業廃棄物

(令和2年度 秋田県産業廃棄物実態調査報告書より抜粋)

### 1 概要

鉱業からの産業廃棄物は、農業を除く他の業種と同様にアンケート調査により取りまとめた。

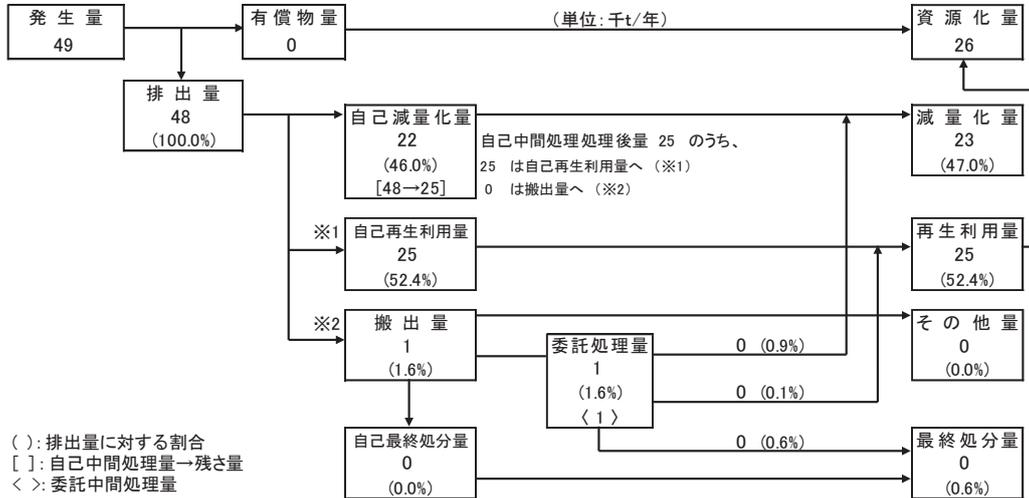


図 4-2-1 鉱業の処理・処分状況

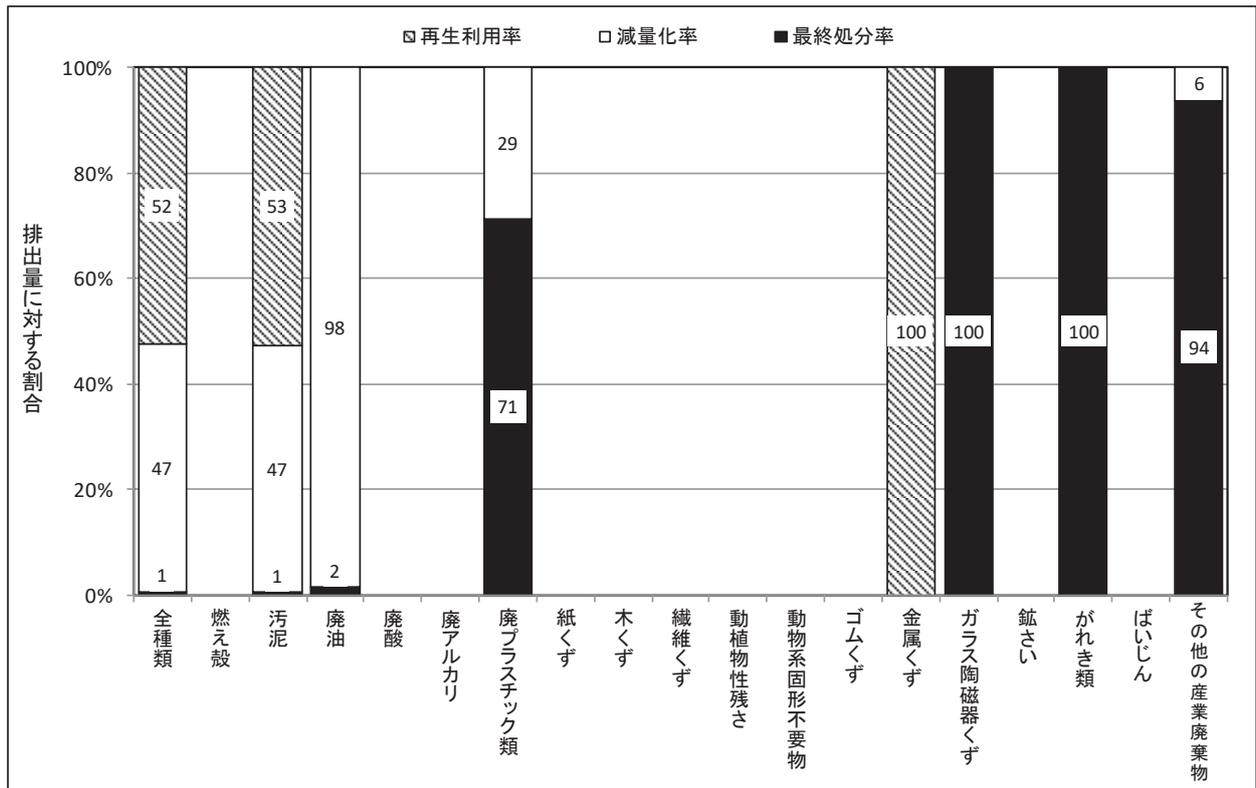
### 2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 48 千トン（鉱業の排出量の 99.3%）がほぼ全量を占めている。



図 4-2-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 48 千トンの処理・処分状況を見ると、23 千トン（47.0%）が減量化され、再生利用量は 25 千トン（52.4%）、最終処分量は 0.3 千トン（0.6%）となっている。



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	48		48	0			0							0	0		0		0
再生利用量	25		25											0					
減量化量	23		22	0			0												0
最終処分量	0		0	0			0								0		0		0

注1)廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。  
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 4-2-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

### 第3節 農業・鉱業を含めた排出量

農業・鉱業を含めた令和2年度の排出量は、3,383千トである。

表 4-3-1 農業・鉱業を含めた排出量（業種別・種類別）

(単位:千t/年)

業種 種類	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・ 水道業	その他
合計	3,383 (100%)	994	48	545	775	995	24
燃え殻	44 (1.3%)			0	9	35	0
汚泥	1,098 (32.5%)		48	27	467	553	3
廃油	15 (0.4%)		0	0	12	0	3
廃酸	4 (0.1%)				3		0
廃アルカリ	9 (0.3%)			0	9		0
廃プラスチック類	35 (1.0%)	1	0	5	20	1	8
紙くず	12 (0.4%)			0	12		0
木くず	69 (2.0%)			44	24		0
繊維くず	0 (0.01%)			0	0		
動植物性残さ	11 (0.3%)				11		
動物系固形不要物	2 (0.07%)				2		
ゴムくず	0 (0.00%)			0	0		0
金属くず	10 (0.3%)		0	5	3	0	2
ガラス陶磁器くず	30 (0.9%)		0	7	22	0	0
鉱さい	144 (4.2%)				144	0	
がれき類	459 (13.6%)		0	453	3	2	1
動物のふん尿	994 (29.4%)	994					
ばいじん	145 (4.3%)				29	116	
その他の産業廃棄物	303 (9.0%)		0	4	5	289	6

(注1) 表中の「0」は1t以上500t未満で、空欄は1t未満。

(注2) 千t未満を四捨五入したため、内訳の計が合計に一致しないものがある。

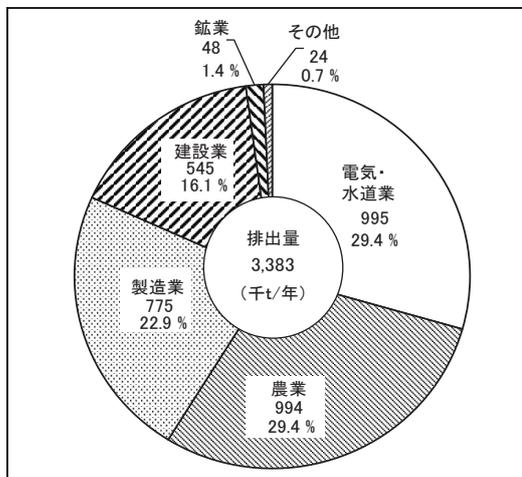
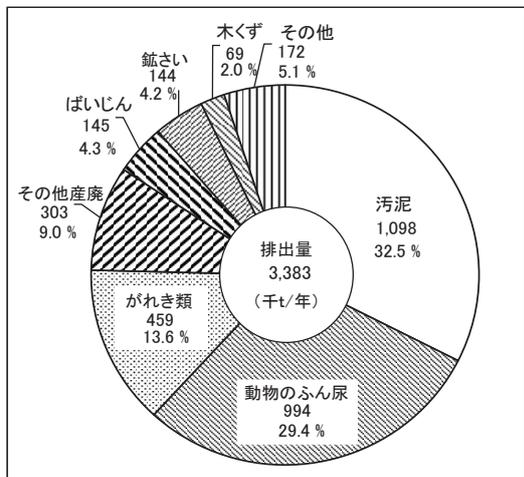


図 4-3-1 農業・鉱業を含めた種類別排出量

図 4-3-2 農業・鉱業を含めた業種別排出量

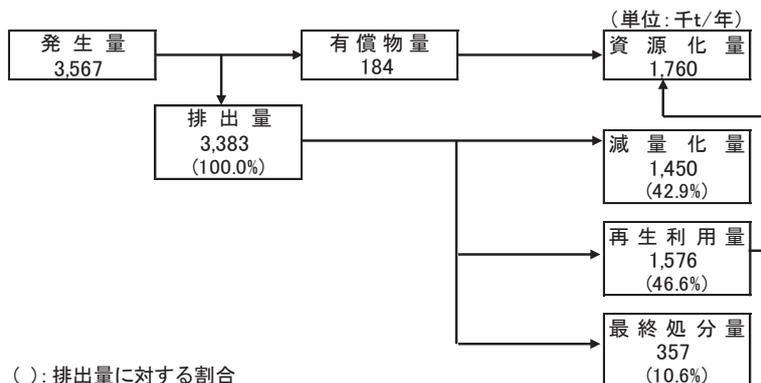


図 4-3-3 農業・鉱業を含めた処理・処分状況

## 第5章 産業廃棄物の移動状況

産業廃棄物の移動状況は、県内発生分については産業廃棄物実態調査から委託処理に関する結果について中間処理及び最終処分の目的別と県内外別、種類別に集計し、県外から県内に搬入される分については、県内産業廃棄物処分業者が県及び秋田市に報告した産業廃棄物処分実績報告書を基に中間処理及び最終処分の目的別と地域別、種類別に集計を行った。

### 第1節 産業廃棄物の移動状況の概要

県内で発生し委託処理された産業廃棄物は、655千トンが県内で中間処理されており、390千トンが県外で中間処理、191千トンが県内で最終処分、5千トンが県外で最終処分となっている。

県外から搬入される産業廃棄物は184千トンであり、中間処理が168千トン、最終処分が17千トンとなっている。

県内から県外に搬出される産業廃棄物は、約8割が石炭火力発電所から排出される燃え殻やばいじんであって、その多くがセメント原材料として再利用されている。

表5-1-1 産業廃棄物の移動状況（概要）

（単位：千t/年）

	中間処理	最終処分	合計
県内⇒県内	655 (77.4%)	191 (22.6%)	846 (100%)
県内⇒県外	390 (98.8%)	5 (1.2%)	395 (100%)
県外⇒県内	168 (91.0%)	17 (9.0%)	184 (100%)

表5-1-2 産業廃棄物の移動状況

（単位：千t/年）

産業廃棄物の種類	県外への搬出			県内への搬入		
	中間処理	最終処分	計	中間処理	最終処分	計
燃え殻	18	2	20	3	0	4
汚泥	18	0	18	9	10	19
廃油	3		3	23		23
廃酸	2		2	7		7
廃アルカリ	6		6	8		8
廃プラスチック類	8	0	8	69	2	71
紙くず				0	1	1
木くず	0		0	2	1	3
繊維くず				0	0	0
動植物性残さ	3		3	1		1
動物系不要固形物	2		2			
ゴムくず				0		0
金属くず	1	0	1	0	0	1
ガラス陶磁器くず	0	0	0	5	1	6
鋳さい	4		4	1		1
がれき類	4		4	0	0	1
ばいじん	66	3	69	2	0	2
その他の産業廃棄物	256	0	256	38	0	38
合計	390	5	395	168	17	184

注：中間処理には再生利用を含む。また中間処理後の残さが最終処分される場合もあるが、その量は計上していない。最終処分は中間処理を経ずに直接最終処分された量を計上している。

## 第2節 県外への搬出状況

県外に搬出される産業廃棄物を地方ブロック別にみると、東北地方への搬出量が180千トで最も多く、次いで、北海道が114千ト、韓国が97千ト等となっている。

また、種類別にみると、その他の産業廃棄物が256千トで最も多く、次いで、ばいじんが69千ト、燃え殻が20千ト等となっている。

更に、処理目的別にみると、中間処理目的が390千ト、最終処分目的（中間処理を経ずに最終処分）が5千トとなっている。

表 5-2-1 県外への搬出状況

(単位：千t/年)

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻	5	15	0						20 (5.0%)
汚泥	0	17	0	1	0		0		18 (4.5%)
廃油		2	1	0	0	0	0		3 (0.7%)
廃酸	0	1	0	0	0		0		2 (0.4%)
廃アルカリ		5	0	0			0		6 (1.4%)
廃プラスチック類	0	8	0	0	0				8 (2.1%)
紙くず									
木くず		0		0					0 (0.0%)
繊維くず									
動植物性残さ		3	0						3 (0.8%)
動物系固形不要物		2							2 (0.6%)
ゴムくず									
金属くず	0	0	1	0	0				1 (0.2%)
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0			0 (0.1%)
鋳さい		4	0						4 (1.0%)
がれき類	0	4	0	0					4 (1.0%)
ばいじん		60						9	69 (17.4%)
その他の産業廃棄物	109	59	0	0			0	88	256 (64.8%)
合計	114 (28.7%)	180 (45.6%)	3 (0.8%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	97 (24.5%)	395 (100%)

表 5-2-2 県外への搬出状況（中間処理目的）

(単位：千t/年)

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻	5	14	0						18 (4.7%)
汚泥	0	17	0	1	0		0		18 (4.6%)
廃油		2	1	0	0	0	0		3 (0.7%)
廃酸	0	1	0	0	0		0		2 (0.4%)
廃アルカリ		5	0	0			0		6 (1.4%)
廃プラスチック類	0	8	0	0	0				8 (2.1%)
紙くず									
木くず		0		0					0 (0.0%)
繊維くず									
動植物性残さ		3	0						3 (0.8%)
動物系固形不要物		2							2 (0.6%)
ゴムくず									
金属くず	0	0	1	0	0				1 (0.2%)
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0			0 (0.1%)
鋳さい		4	0						4 (1.0%)
がれき類	0	4	0	0					4 (1.0%)
ばいじん		57						9	66 (16.8%)
その他の産業廃棄物	109	59	0	0			0	88	256 (65.5%)
合計	114 (29.1%)	175 (44.9%)	3 (0.8%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	97 (24.8%)	390 (100%)

表 5-2-3 県外への搬出状況（最終処分目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻		2							2 (33.2%)
汚泥							0		0 (0.9%)
廃油									
廃酸									
廃アルカリ									
廃プラスチック類		0							0 (0.1%)
紙くず									
木くず									
繊維くず									
動植物性残さ									
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず			0						0 (0.0%)
ガラス陶磁器くず				0					0 (0.0%)
鋳さい									
がれき類									
ばいじん		3							3 (65.7%)
その他の産業廃棄物			0						0 (0.0%)
合計		5 (99.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)			0 (0.9%)		5 (100%) (100%)

### 第 3 節 県内への搬入状況

県内に搬入される産業廃棄物を地方ブロック別にみると、関東地方からの搬入量が 86 千トで最も多く、次いで、東北地方が 85 千ト、中部地方が 10 千ト等となっている。

また、種類別にみると、廃プラスチック類が 71 千トで最も多く、次いで、その他の産業廃棄物（混合物）が 38 千ト、廃油が 23 千ト、汚泥が 19 千ト等となっている。

更に、処理目的別にみると、中間処理目的が 168 千トであり、最終処分目的（中間処理を経ずに最終処分）は 17 千トとなっている。

表 5-3-1 県内への搬入状況

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
燃え殻		0	3	0				4 (1.9%)
汚泥	0	15	4	0	0			19 (10.3%)
廃油	0	16	5	2	0			23 (12.5%)
廃酸	0	6	1	1	0			7 (4.0%)
廃アルカリ	0	8	0	0				8 (4.4%)
廃プラスチック類	1	16	51	3				71 (38.3%)
紙くず		0	1					1 (0.3%)
木くず		0	3	0				3 (1.7%)
繊維くず		0	0					0 (0.0%)
動植物性残さ		1						1 (0.4%)
動物系固形不要物								
ゴムくず		0						0 (0.0%)
金属くず		0	0	0	0			1 (0.3%)
ガラス陶磁器くず		5	1					6 (3.4%)
鋳さい		0		0				1 (0.3%)
がれき類		0	0	0				1 (0.3%)
ばいじん	1	1	0	0				2 (1.0%)
その他の産業廃棄物	2	17	16	3	0	0		38 (20.6%)
合計	3 (1.7%)	85 (46.0%)	86 (46.7%)	10 (5.6%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)		184 (100%) (100%)

表 5-3-2 県内への搬入状況（中間処理目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
燃え殻		0	3					3 (2.1%)
汚泥	0	5	4	0	0			9 (5.4%)
廃油	0	16	5	2	0			23 (13.7%)
廃酸	0	6	1	1	0			7 (4.4%)
廃アルカリ	0	8	0	0				8 (4.9%)
廃プラスチック類	1	15	50	3				69 (40.9%)
紙くず		0	0					0 (0.0%)
木くず		0	2	0				2 (1.1%)
繊維くず		0						0 (0.0%)
動植物性残さ		1						1 (0.4%)
動物系固形不要物								
ゴムくず		0						0 (0.0%)
金属くず		0	0	0	0			0 (0.1%)
ガラス陶磁器くず		5	0					5 (3.0%)
銚さい		0		0				1 (0.3%)
がれき類		0	0	0				0 (0.1%)
ばいじん	1	1	0					2 (1.1%)
その他の産業廃棄物	2	17	16	3	0	0		38 (22.5%)
合計	3 (1.9%)	74 (44.0%)	81 (48.4%)	9 (5.6%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)		168 (100%)

表 5-3-3 県内への搬入状況（最終処分目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
燃え殻		0		0				0 (0.7%)
汚泥		10	0	0				10 (60.2%)
廃油								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類		0	2					2 (12.1%)
紙くず		0	1					1 (3.7%)
木くず		0	1	0				1 (7.9%)
繊維くず		0	0					0 (0.6%)
動植物性残さ								
動物系固形不要物								
ゴムくず								
金属くず			0					0 (2.7%)
ガラス陶磁器くず		0	1					1 (7.4%)
銚さい								
がれき類		0		0				0 (2.6%)
ばいじん		0		0				0 (0.7%)
その他の産業廃棄物				0				0 (1.5%)
合計		11 (66.0%)	5 (29.1%)	1 (4.9%)				17 (100%)

表 5-3-4 地方ブロック

ブロック名	都道府県名
北海道	北海道
東北	青森県 岩手県 宮城県 山形県 福島県 新潟県
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県
中部	富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県
近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
中国・四国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

## 第6章 産業廃棄物の推移

### 第1節 令和元年度との比較

#### 1 排出量

排出量は電気業の石炭火力発電所の新施設が営業運転を開始したことに伴って、電気・水道業からのその他の産業廃棄物が増加したが、建設業からのがれき類と製造業からの汚泥が大きく減少したため、全体として264千t減少した。

種類別にみると、その他の産業廃棄物が増加し、それ以外は減少しており、特にがれき類とばいじんが大きく減少している。

表 6-1-1 排出量

(単位:千t/年)

	令和元年度	令和2年度	増減(R1-R2)
排出量計	2,604	2,340	-264
建設業	760	545	-214
製造業	920	775	-145
電気・水道業	900	995	95
その他	24	24	0

(単位:千t/年)

	令和元年度	令和2年度	増減(R1-R2)
排出量計	2,604	2,340	-264
汚泥	1,148	1,050	-98
がれき類	633	459	-174
ばいじん	378	145	-234
その他産廃	19	303	283
上記以外	426	383	-43

## 2 再生利用量

再生利用量は電気・水道業が増加したものの、再生利用率の高い建設業の排出量が減少したことにより、全体として176千t減少した。

種類別にみると、その他の産業廃棄物が増加し、それ以外は減少しており、特にがれき類とばいじんが大きく減少している。

表 6-1-2 再生利用量

(単位:千t/年)

	令和元年度	令和2年度	増減(R1-R2)
再生利用量計	1,130	954	-176
建設業	694	490	-204
製造業	156	108	-48
電気・水道業	269	346	77
その他	10	10	0

(単位:千t/年)

	令和元年度	令和2年度	増減(R1-R2)
再生利用量計	1,130	954	-176
がれき類	622	440	-182
ばいじん	262	84	-177
木くず	63	47	-17
その他産廃	3	264	260
上記以外	179	119	-60

### 3 最終処分量

最終処分量は製造業と電気・水道業からの汚泥等が減少したこと等により、全体として41千ト減少した。

種類別にみると、ばいじんと汚泥が大きく減少しているが、燃え殻が増加している。

表 6-1-3 最終処分量

(単位:千t/年)

	令和元年度	令和2年度	増減(R1-R2)
最終処分量計	397	357	-41
建設業	43	40	-3
製造業	181	167	-14
電気・水道業	169	145	-24
その他	4	4	0

(単位:千t/年)

	令和元年度	令和2年度	増減(R1-R2)
最終処分量計	397	357	-41
鉱さい	141	139	-2
ばいじん	117	61	-56
汚泥	59	38	-21
燃え殻	41	53	12
上記以外	39	66	27

## 第2節 目標の達成状況

第3次秋田県循環型社会形成推進基本計画（平成28年3月策定）の数値目標は次のとおりである。なお、今回調査した令和2年度の実績値は、いずれもこの目標値を上回った。

<数値目標（令和2年度）>

- ・産業廃棄物の排出量：2,260千ト
- ・産業廃棄物の最終処分量：295千ト

表 6-2-1 産業廃棄物に関する現況と数値目標（農業・鉱業に係るものを除く）

項目	年度	実績		目標
		令和元年度	令和2年度	令和2年度
排出量	(千t/年)	2,604	2,340	2,260
最終処分量	(千t/年)	397	357	295

## 第7章 産業廃棄物の将来の見込み

### 第1節 排出量の将来予測

本報告書では、令和3、4及び5年度の産業廃棄物の排出・処理状況について予測する。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年1月頃から徐々に衰退傾向が見られたが、ワクチン接種等の対策により持ち直しつつある。他方、未だ感染の終息が見通せず、今後の経済動向を予測することが困難な状況にある。

このため、経済活動と連動している産業廃棄物の排出量等も将来予測が難しいことから、産業構造等は現在と大きく変わらないものと仮定して産業廃棄物の排出量を予測することとした。

なお、業種別の将来予測方法は表7-1-1のとおりである。

表7-1-1 業種別の将来予測方法

業種	各種経済指標の将来予測方法
建設業	建設業は、人口減少の影響を受けると考えられるが、老朽化等による建替えや大規模修繕等によって産業廃棄物量が増加することも考えられるため、現状のまま推移するものとして予測した。
製造業	製造業は、大手の製紙業と非鉄金属精錬業の2工場から排出される廃棄物量によって左右されるが、大手2工場において廃棄物量が増減する計画は公表されていないため、現状のまま推移するものとして予測した。
電気・水道業	電気業、水道業は、回答があった各事業所の将来計画値を用いた。
その他	業種別に過去からのトレンド（平成18, 21, 24, 28年）で従業者数を推計し、将来の活動量指標とした。

業種別排出量の将来予測の結果は図 7-1-1、表 7-1-2 のとおりである。排出量はほぼ横ばいで推移する予測となり、全体で見ると令和 3 年度が 2,341 千ト、令和 4 年度が 2,345 千ト、令和 5 年度が 2,346 千トとなっている。業種別では、電気・水道業がわずかに増加し、種類別では、汚泥がわずかに増加すると見込まれる。

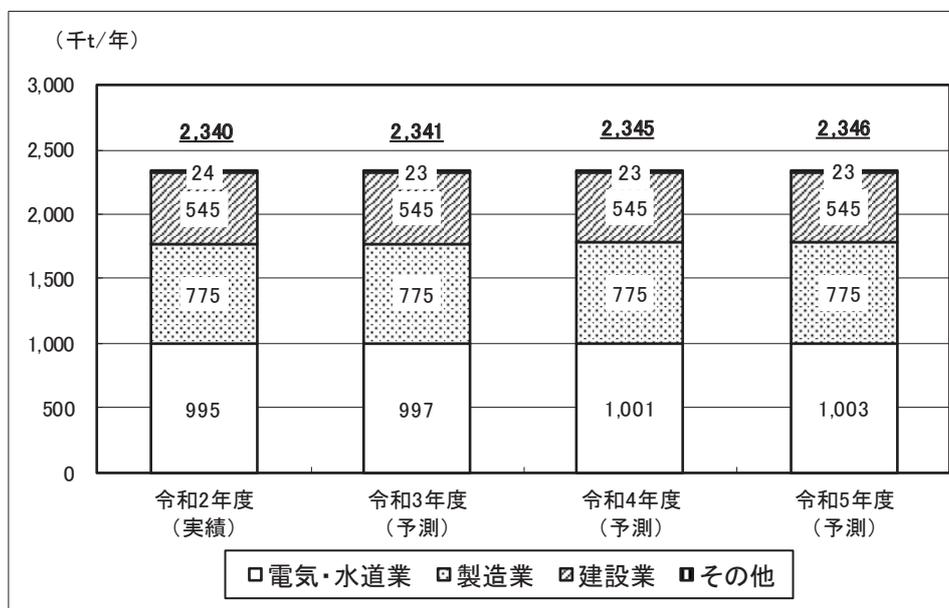


図 7-1-1 業種別排出量の将来見込み

表 7-1-2 業種別排出量の将来見込み

(単位: 千t/年)

排出量	実績		予測			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
排出量	2,340 (100%)	2,341 (100%)	2,345 (100%)	2,346 (100%)	2,347 (100%)	2,348 (100%)
電気・水道業	995 (43%)	997 (43%)	1,001 (43%)	1,003 (43%)	1,005 (43%)	1,007 (43%)
製造業	775 (33%)	775 (33%)	775 (33%)	775 (33%)	775 (33%)	775 (33%)
建設業	545 (23%)	545 (23%)	545 (23%)	545 (23%)	545 (23%)	545 (23%)
その他	24 (1%)	23 (1%)	23 (1%)	23 (1%)	23 (1%)	23 (1%)

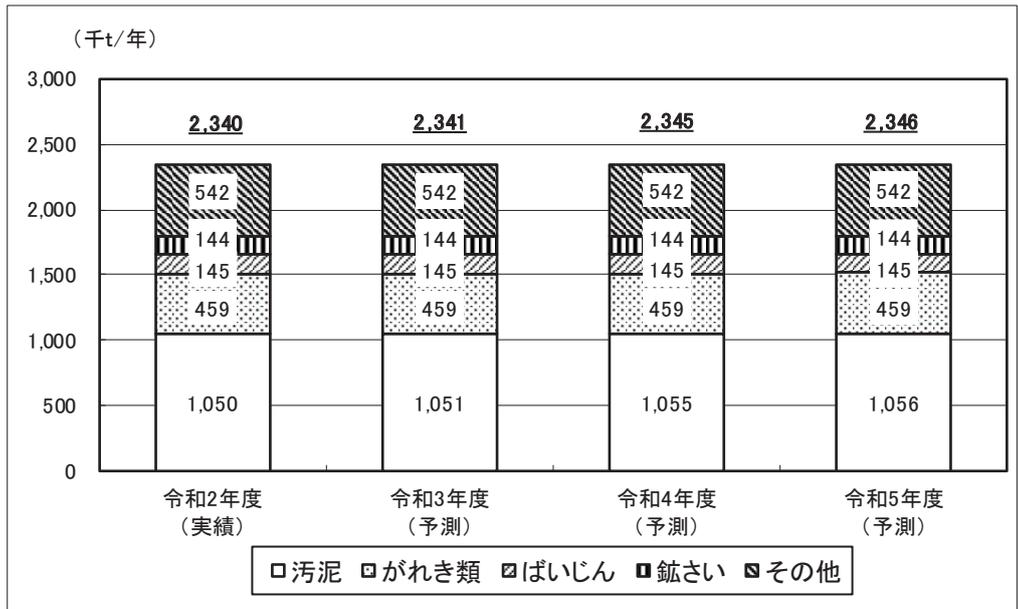


図 7-1-2 種類別排出量の将来見込み

表 7-1-3 種類別排出量の将来見込み

(単位: 千t/年)

排出量	実績		予測					
	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
排出量	2,340	(100%)	2,341	(100%)	2,345	(100%)	2,346	(100%)
汚泥	1,050	(45%)	1,051	(45%)	1,055	(45%)	1,056	(45%)
がれき類	459	(20%)	459	(20%)	459	(20%)	459	(20%)
ばいじん	145	(6%)	145	(6%)	145	(6%)	145	(6%)
鉱さい	144	(6%)	144	(6%)	144	(6%)	144	(6%)
上記以外	542	(23%)	542	(23%)	542	(23%)	542	(23%)

## 第2節 処理量の将来予測

処理量の将来予測は、現状の業種別、種類別の発生量に対する処理方法等の割合が将来も一定であると仮定し、算出した。結果は図7-2-1のとおりである。

再生利用量と最終処分量は、ほぼ横ばいで推移し、減量化量がわずかに増加傾向を示すと考えられる。これは、自己減量化量が多い水道業がわずかに増加すると予測されるためである。

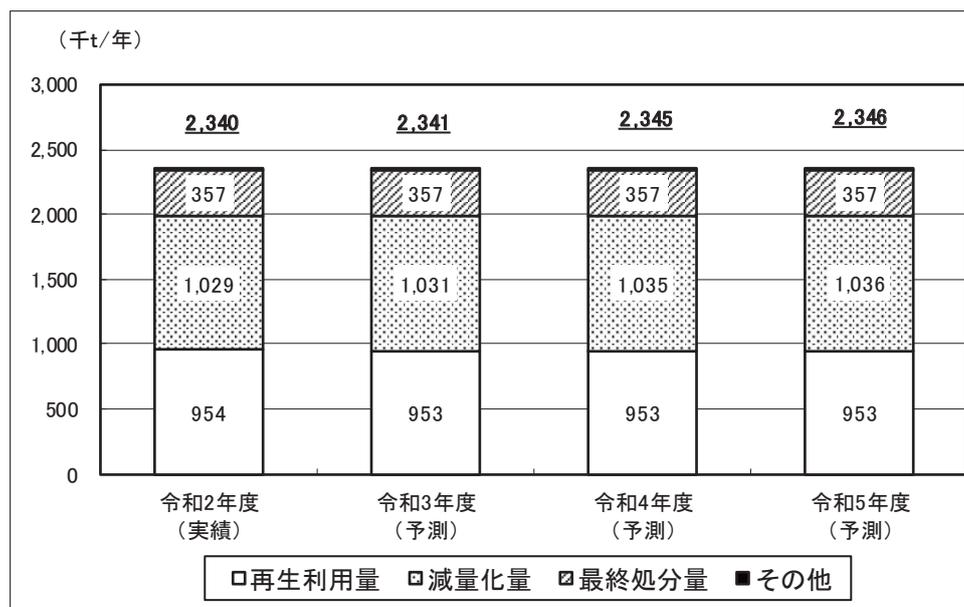


図7-2-1 処理量の将来見込み

表7-2-1 処理量の将来見込み

(単位: 千t/年)

	実績		予測					
	令和2年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
排出量	2,340	(100%)	2,341	(100%)	2,345	(100%)	2,346	(100%)
再生利用量	954	(41%)	953	(41%)	953	(41%)	953	(41%)
減量化量	1,029	(44%)	1,031	(44%)	1,035	(44%)	1,036	(44%)
最終処分量	357	(15%)	357	(15%)	357	(15%)	357	(15%)
その他量	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)	0	(0%)

## 第8章 意識調査結果

秋田県で産業廃棄物の排出事業者等に対して、産業廃棄物の処理に関する取組及び今後の動向等に関する項目についてアンケート調査を実施し、350 事業所から回答があり、その結果を以下に整理した。

### 第1節 将来の発生抑制、再生利用促進、最終処分削減の見込みについて

■ 貴事業所では、今後さらに廃棄物の発生量を抑制し、また、再生利用の促進や最終処分の削減を行うことは可能ですか。  
 「可能である」と回答した場合、令和2年度を100として、令和3年度、令和4年度、令和5年度の将来見通し（方向性）をご記入ください。

将来の発生予測、再生利用促進、最終処分削減の見込みについて、今後さらに廃棄物の発生量を抑制し、また、再生利用の促進や最終処分の削減を行うことが「可能である」と回答した事業所は16.0%、「すでに十分取り組んでおり、これ以上は難しい」は82.9%となっている。（図8-1-1、表8-1-1）

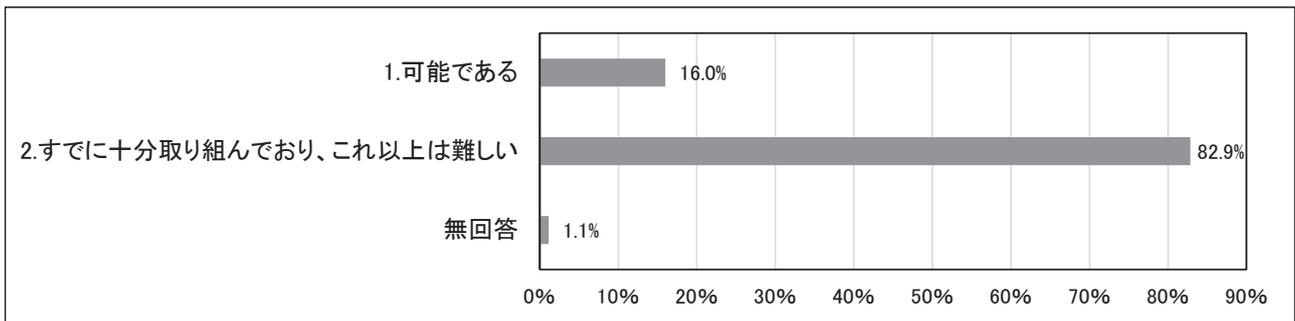


図8-1-1 将来の発生抑制、再生利用促進、最終処分削減について

表8-1-1 将来の発生抑制、再生利用促進、最終処分削減について

内容	排出量ランク					計
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	
1.可能である	0 (0.0%)	5 (9.6%)	4 (5.1%)	25 (24.3%)	22 (20.2%)	56 (16.0%)
2.すでに十分取り組んでおり、これ以上は難しい	7 (87.5%)	47 (90.4%)	73 (93.6%)	78 (75.7%)	85 (78.0%)	290 (82.9%)
無回答	1 (12.5%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	4 (1.1%)
計	8 (100.0%)	52 (100.0%)	78 (100.0%)	103 (100.0%)	109 (100.0%)	350 (100.0%)

また、「可能である」と回答した事業所について、令和2年度と比較した、将来の発生抑制、再生利用促進、最終処分削減の見込みについてまとめると、以下のとおりである。

発生量の将来についてみると、発生量は減少すると回答した事業所が多く、令和4年度で32事業所、令和5年度で34事業所となっている。(表8-1-2)

表 8-1-2 発生量の変化

年度排出量ランク 内容	令和4年度						令和5年度					
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
発生量は増加する	0	0	0	2	1	3	0	0	1	2	1	4
発生量は変化しない	0	3	2	7	5	17	0	2	1	7	4	14
発生量は減少する	0	2	2	13	15	32	0	3	2	13	16	34
無回答	0	0	0	3	1	4	0	0	0	3	1	4
計	0	5	4	25	22	56	0	5	4	25	22	56

再生利用量の将来についてみると、再生利用量は増加すると回答した事業所が多く、再生利用量は増加すると回答したのは、令和4年度で18事業所、令和5年度で20事業所となっている。(表8-1-3)

表 8-1-3 再生利用量の変化

年度排出量ランク 内容	令和4年度						令和5年度					
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
再生利用量は増加する	0	0	0	8	10	18	0	1	0	9	10	20
再生利用量は変化しない	0	3	2	5	5	15	0	2	2	5	4	13
再生利用量は減少する	0	1	2	9	6	18	0	1	2	8	7	18
無回答	0	1	0	3	1	5	0	1	0	3	1	5
計	0	5	4	25	22	56	0	5	4	25	22	56

最終処分量の将来についてみると、最終処分量は減少すると回答した事業所が多く、令和4年度で31事業所、令和5年度で32事業所となっている。(表8-1-4)

表 8-1-4 最終処分量の変化

年度排出量ランク 内容	令和4年度						令和5年度					
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
最終処分量は増加する	0	0	1	1	1	3	0	0	1	1	1	3
最終処分量は変化しない	0	4	2	5	6	17	0	3	2	5	6	16
最終処分量は減少する	0	1	1	15	14	31	0	2	1	15	14	32
無回答	0	0	0	4	1	5	0	0	0	4	1	5
計	0	5	4	25	22	56	0	5	4	25	22	56

## 第2節 処理困難廃棄物について

■ 貴事業所が排出する産業廃棄物のうち、処理が困難な産業廃棄物がありますか。  
 「ある」と回答した場合、主な処理が困難な産業廃棄物の種類、性状及び原因を記載してください。（複数回答）

処理困難な廃棄物の状況についてまとめると図8-1-2、表8-1-5のとおりである。

「処理が困難な産業廃棄物はない」と回答した事業所が87.7%、「処理が困難な産業廃棄物がある」が11.1%となっている。

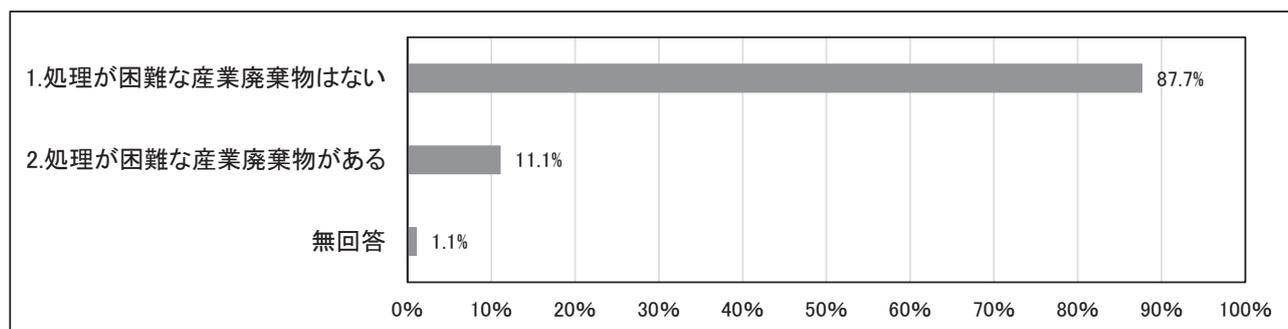


図8-1-2 処理困難産業廃棄物の状況

表8-1-5 処理困難産業廃棄物の状況

内容	排出量ランク					計
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	
1.処理が困難な産業廃棄物はない	8 (100.0%)	49 (94.2%)	69 (88.5%)	93 (90.3%)	88 (80.7%)	307 (87.7%)
2.処理が困難な産業廃棄物がある	0 (0.0%)	2 (3.8%)	8 (10.3%)	9 (8.7%)	20 (18.3%)	39 (11.1%)
無回答	0 (0.0%)	1 (1.9%)	1 (1.3%)	1 (1.0%)	1 (0.9%)	4 (1.1%)
計	8 (100.0%)	52 (100.0%)	78 (100.0%)	103 (100.0%)	109 (100.0%)	350 (100.0%)

なお、「処理が困難な産業廃棄物がある」と回答した事業所のうち、処理困難な原因については「処理費用が高い」が31.8%で最も多く、次いで「委託先の確保が困難である」が25.0%、「再利用ができない」が21.6%、「分別が困難である」が10.2%となっている。

また、処理困難物の種類としては、「汚泥」と「その他」（有害物）が14件で最も多く、次いで「廃プラスチック類」が12件、「廃油」が7件、「その他」（蛍光灯）が6件等となっている。（図8-1-3、表8-1-6）

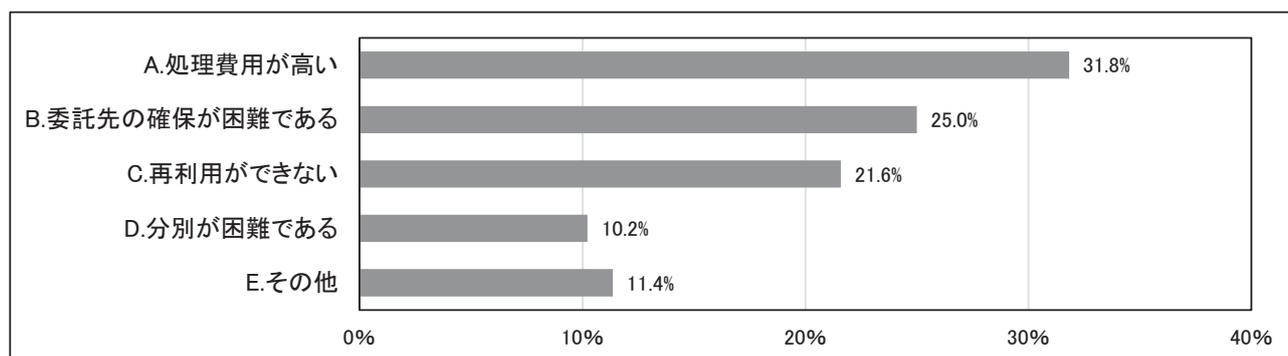


図8-1-3 処理困難な原因

表 8-1-6 処理困難産業廃棄物について

原因(複数回答)	産業廃棄物の種類 (複数回答)																その他					計
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	感染性廃棄物	蛍光灯	バッテリー	複合材	有害物	その他	
A.処理費用が高い	1	7	2	0	0	3	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	3	0	0	4	3	28 (31.8%)
B.委託先の確保が困難である	0	3	1	0	0	3	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	6	2	22 (25.0%)
C.再利用ができない	1	3	1	0	0	4	0	1	0	0	1	0	3	0	2	0	1	0	0	1	1	19 (21.6%)
D.分別が困難である	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	2	9 (10.2%)
E.その他	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	1	10 (11.4%)
計	2	14	7	0	0	12	0	4	0	2	2	1	4	2	4	0	6	2	3	14	9	88 (100.0%)

「E. その他」主な内容

- ・ コロナ終息後新規契約予定
- ・ 破碎が困難
- ・ 再利用先に受入れ停止期間がある
- ・ 情報が少なく、依頼先が見つからない。
- ・ 有機溶剤のフッ素濃度が高く、処理水に影響が出てしまうため処分先に受け入れを断られた。

### 第3節 廃プラスチックについて

■ 貴事業所では、産業廃棄物の廃プラスチック類の排出がありますか。

「排出がある」と回答した場合、平成 29 年度末に外国政府による使用済みプラスチック等の輸入禁止の措置が取られましたが、近年の廃プラスチック類の処理において、その影響はありましたか。(複数回答)

廃プラスチック類の排出状況についてまとめると、以下のとおりである。

「廃プラスチックの排出がある」と回答した事業所が 76.6%、「廃プラスチックの排出はない」が 23.1%となっている。(図 8-1-4)

なお、「廃プラスチックの排出がある」と回答した事業所について、外国政府による使用済みプラスチック等の輸入禁止の措置による影響についてみると、「大きな変化はない」が 47.9%で最も多く、次いで「処理コストが増加している」が 24.9%、「有価で売却できなくなり、廃棄物として処理する分が増加している」が 11.1%、「リサイクルされる割合が減少している」が 9.0%、「処理委託先の確保が困難である」が 5.1%となっている。(図 8-1-5)

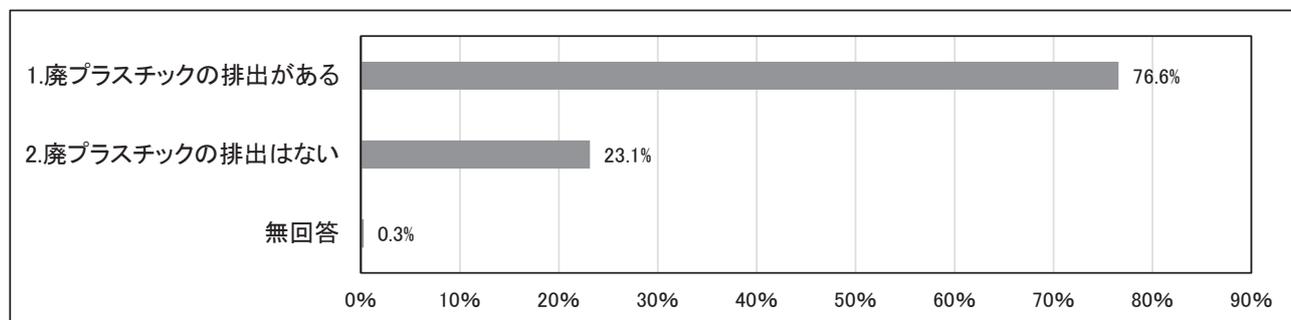


図 8-1-4 廃プラスチック類の排出状況

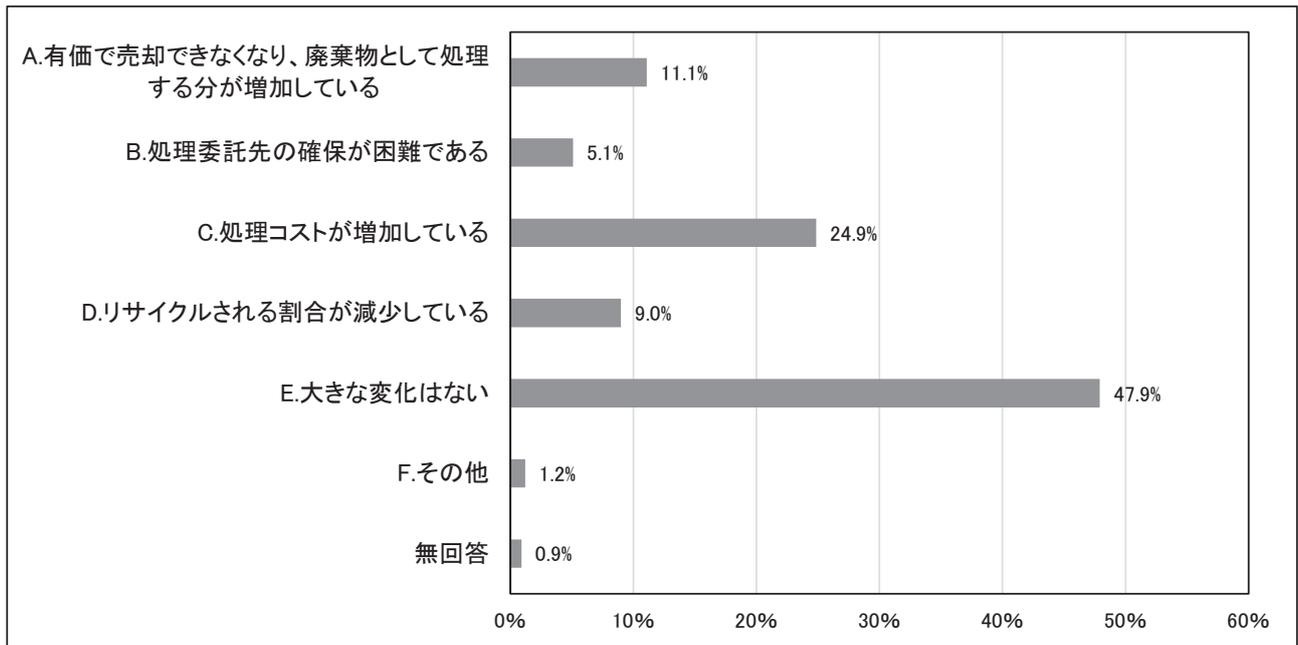


図 8-1-5 廃プラスチック等の輸入禁止措置による影響

表 8-1-7 廃プラスチック類の排出状況と廃プラスチック類の輸入禁止措置による影響

内容	排出量ランク	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
1.廃プラスチックの排出がある		3 (37.5%)	37 (71.2%)	63 (80.8%)	87 (84.5%)	78 (71.6%)	268 (76.6%)
2.廃プラスチックの排出はない		5 (62.5%)	14 (26.9%)	15 (19.2%)	16 (15.5%)	31 (28.4%)	81 (23.1%)
無回答		0 (0.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
計		8 (100.0%)	52 (100.0%)	78 (100.0%)	103 (100.0%)	109 (100.0%)	350 (100.0%)

内容(複数回答)	排出量ランク	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
A.有価で売却できなくなり、廃棄物として処理する分が増加している		0 (0.0%)	4 (9.1%)	11 (13.8%)	13 (12.1%)	9 (9.1%)	37 (11.1%)
B.処理委託先の確保が困難である		1 (25.0%)	1 (2.3%)	2 (2.5%)	7 (6.5%)	6 (6.1%)	17 (5.1%)
C.処理コストが増加している		1 (25.0%)	10 (22.7%)	23 (28.8%)	30 (28.0%)	19 (19.2%)	83 (24.9%)
D.リサイクルされる割合が減少している		0 (0.0%)	3 (6.8%)	9 (11.3%)	8 (7.5%)	10 (10.1%)	30 (9.0%)
E.大きな変化はない		1 (25.0%)	25 (56.8%)	35 (43.8%)	46 (43.0%)	53 (53.5%)	160 (47.9%)
F.その他		1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)	1 (1.0%)	4 (1.2%)
無回答		0 (0.0%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	1 (1.0%)	3 (0.9%)
計		4 (100.0%)	44 (100.0%)	80 (100.0%)	107 (100.0%)	99 (100.0%)	334 (100.0%)

「F. その他」主な内容

- ・全体の年間合計処理コストは減少しているが、処理単価の値上げがあった。
- ・受け入れ先が限られる

## 第4節 不適正処理防止の取り組みについて

■ 貴事業所では、委託した廃棄物が不適正処理されるのを防止するため、どのような取り組みを実施していますか。（複数回答）

委託した廃棄物が不適正処理されるのを防止するための取り組みについてまとめると、図8-1-6、表8-1-8のとおりである。

「マニフェスト伝票を確認している」が25.4%で最も多く、次いで「産業廃棄物処理業の許可証を確認している」が22.6%、「書面により委託契約をしている」が22.3%、「処理業者の施設を現地確認している」が10.6%、「廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者に委託するようにしている」が6.8%となっている。

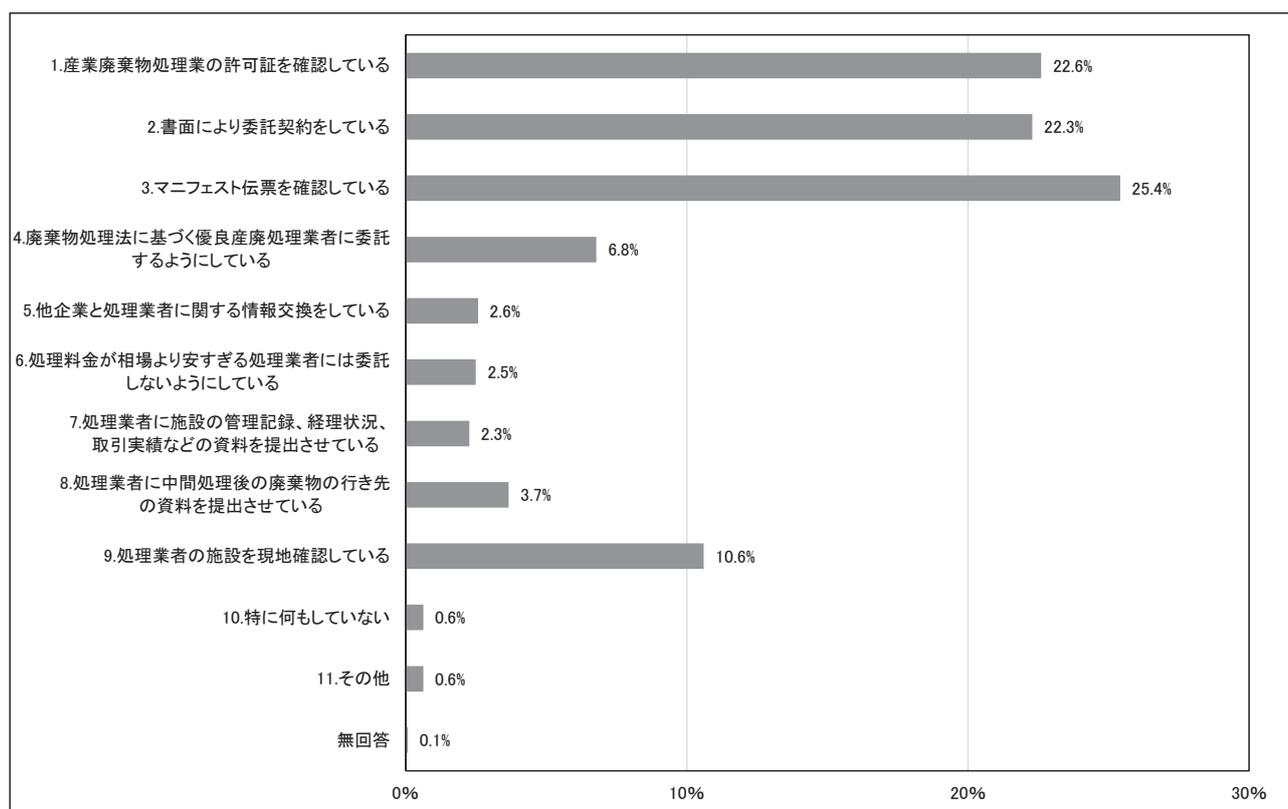


図8-1-6 不適正処理防止の取り組みについて

表 8-1-8 不適正処理防止の取り組みについて

内容(複数回答)	排出量ランク	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
1.産業廃棄物処理業の許可証を確認している		6 (26.1%)	40 (25.0%)	57 (21.8%)	88 (21.3%)	99 (23.2%)	290 (22.6%)
2.書面により委託契約をしている		6 (26.1%)	34 (21.3%)	62 (23.8%)	86 (20.8%)	98 (23.0%)	286 (22.3%)
3.マニフェスト伝票を確認している		7 (30.4%)	45 (28.1%)	75 (28.7%)	96 (23.2%)	103 (24.2%)	326 (25.4%)
4.廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者に委託するようにしている		1 (4.3%)	9 (5.6%)	16 (6.1%)	37 (9.0%)	24 (5.6%)	87 (6.8%)
5.他企業と処理業者に関する情報交換をしている		0 (0.0%)	1 (0.6%)	7 (2.7%)	13 (3.1%)	12 (2.8%)	33 (2.6%)
6.処理料金が相場より安すぎる処理業者には委託しないようにしている		0 (0.0%)	2 (1.3%)	7 (2.7%)	11 (2.7%)	12 (2.8%)	32 (2.5%)
7.処理業者に施設の管理記録、経理状況、取引実績などの資料を提出させている		0 (0.0%)	3 (1.9%)	4 (1.5%)	11 (2.7%)	11 (2.6%)	29 (2.3%)
8.処理業者に中間処理後の廃棄物の行き先の資料を提出させている		0 (0.0%)	2 (1.3%)	11 (4.2%)	16 (3.9%)	18 (4.2%)	47 (3.7%)
9.処理業者の施設を現地確認している		1 (4.3%)	16 (10.0%)	22 (8.4%)	51 (12.3%)	46 (10.8%)	136 (10.6%)
10.特に何もしていない		1 (4.3%)	4 (2.5%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)	0 (0.0%)	8 (0.6%)
11.その他		1 (4.3%)	3 (1.9%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	3 (0.7%)	8 (0.6%)
無回答		0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
計		23 (100.0%)	160 (100.0%)	261 (100.0%)	413 (100.0%)	426 (100.0%)	1,283 (100.0%)

「11. その他」主な内容

- ・社内規定に準じて業者を選定している
- ・定期的に意見交換をしている
- ・県の処理場を利用している
- ・HPの内容確認

## 第5節 廃棄物処理業者の選定基準

■産業廃棄物の処理を委託する場合、どのような基準で（もしくは何を重視して）業者を選定しますか。（3つまで複数回答）

産業廃棄物処理業者の選定基準についてまとめると図 8-1-7、表 8-1-9 のとおりである。

「処理業者（適正処理）の信頼性」が 27.3%で最も多く、次いで「受入条件（廃棄物の種類、受入量、分別基準等）」が 25.3%、「処理料金」が 19.7%、「リサイクルへの取組状況」が 8.3%、「処理業者の施設を現地確認している」が 5.8%等となっている。

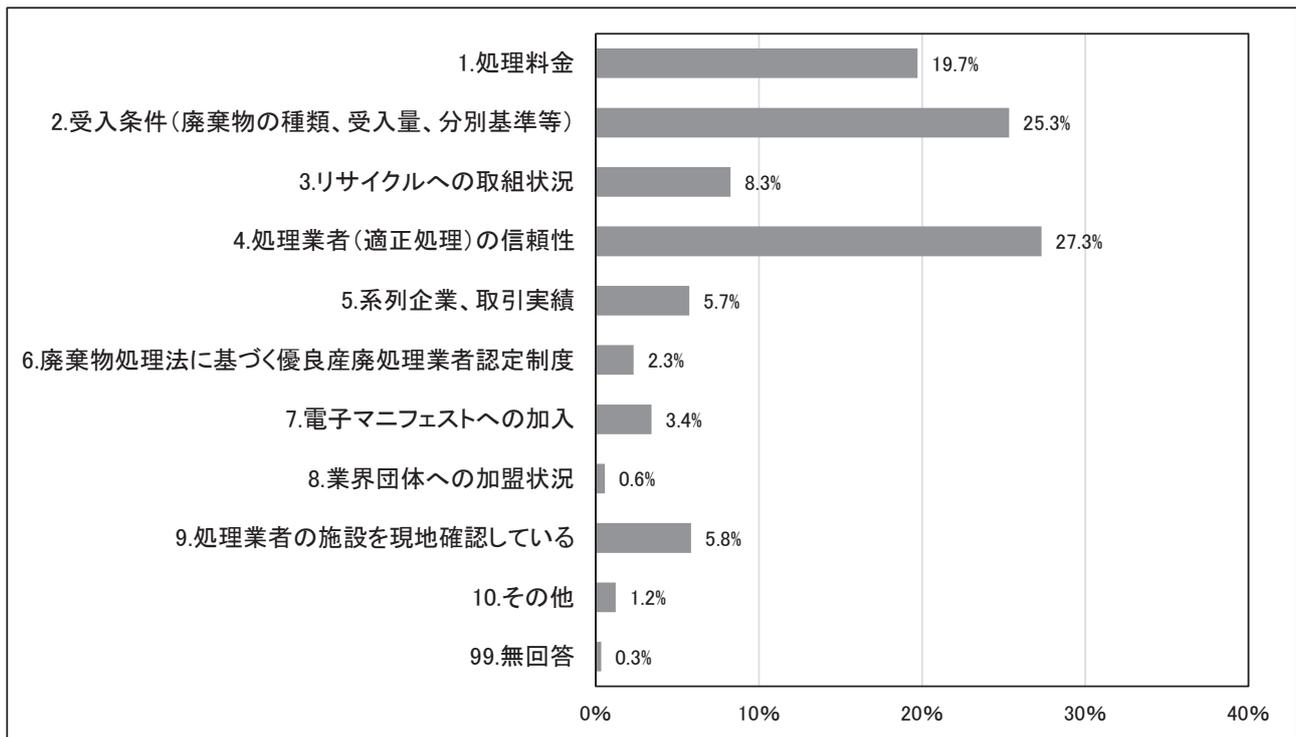


図 8-1-7 産業廃棄物処理業者の選定基準

表 8-1-9 産業廃棄物処理業者の選定基準

内容(複数回答)	排出量ランク					計
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	
1.処理料金	2 (11.8%)	21 (17.4%)	40 (20.8%)	58 (20.5%)	58 (19.7%)	179 (19.7%)
2.受入条件(廃棄物の種類、受入量、分別基準等)	4 (23.5%)	30 (24.8%)	50 (26.0%)	65 (23.0%)	81 (27.5%)	230 (25.3%)
3.リサイクルへの取組状況	0 (0.0%)	9 (7.4%)	10 (5.2%)	31 (11.0%)	25 (8.5%)	75 (8.3%)
4.処理業者(適正処理)の信頼性	4 (23.5%)	34 (28.1%)	58 (30.2%)	76 (26.9%)	76 (25.8%)	248 (27.3%)
5.系列企業、取引実績	1 (5.9%)	5 (4.1%)	10 (5.2%)	14 (4.9%)	22 (7.5%)	52 (5.7%)
6.廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者認定制度	0 (0.0%)	5 (4.1%)	4 (2.1%)	8 (2.8%)	4 (1.4%)	21 (2.3%)
7.電子マニフェストへの加入	2 (11.8%)	3 (2.5%)	5 (2.6%)	9 (3.2%)	12 (4.1%)	31 (3.4%)
8.業界団体への加盟状況	0 (0.0%)	1 (0.8%)	1 (0.5%)	1 (0.4%)	2 (0.7%)	5 (0.6%)
9.処理業者の施設を現地確認している	1 (5.9%)	8 (6.6%)	13 (6.8%)	19 (6.7%)	12 (4.1%)	53 (5.8%)
10.その他	3 (17.6%)	4 (3.3%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	2 (0.7%)	11 (1.2%)
無回答	0 (0.0%)	1 (0.8%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	3 (0.3%)
計	17 (100.0%)	121 (100.0%)	192 (100.0%)	283 (100.0%)	295 (100.0%)	908 (100.0%)

「10. その他」主な内容

- ・地元業者
- ・収集運搬の利便性（希望日にすぐ対応できる柔軟性）
- ・距離が近い
- ・応募型指名競争入札により業者を決定
- ・廃棄物処理法に基づく無害化施設の選定が必要
- ・秋田県産業廃棄物処理業者検索システムへの登録業者
- ・上水汚泥を希望する村内農家に堆肥として提供しているが、特に基準は設けていない。
- ・下水汚泥を秋田湾・雄物川流域下水道秋田臨海処理センターに委託しており、内容や処理量から選定の余地がない。

## 第6節 電子マニフェストの利用状況について

■ 貴事業所では、「電子マニフェストシステム」を利用していますか。

「システムは利用しない」を選択した場合、利用しない理由についてご回答ください。（複数回答）

電子マニフェストシステムの利用状況についてまとめると、以下のとおりである。

「システムを利用するか、利用しないかは、わからない」が31.4%、「システムを利用している」が22.0%、「システムは利用しない」が21.7%、「電子マニフェストシステムを知らない」が10.6%、「補助等の支援があれば、システムを利用したい」が7.4%、「システムの利用を予定、又は検討している」が6.3%となっている。（図8-1-8）

なお、「システムは利用しない」と回答した事業所のうち、システムを利用しない理由としては「現状として問題がない」が37.2%で最も多く、次いで「取引先で導入されていない」が24.8%、「排出量が少ない又は取引先が少ない」が20.4%、「コストの問題がある」が8.8%、「システムが難しくて分からない」が0.9%となっている。（図8-1-9）

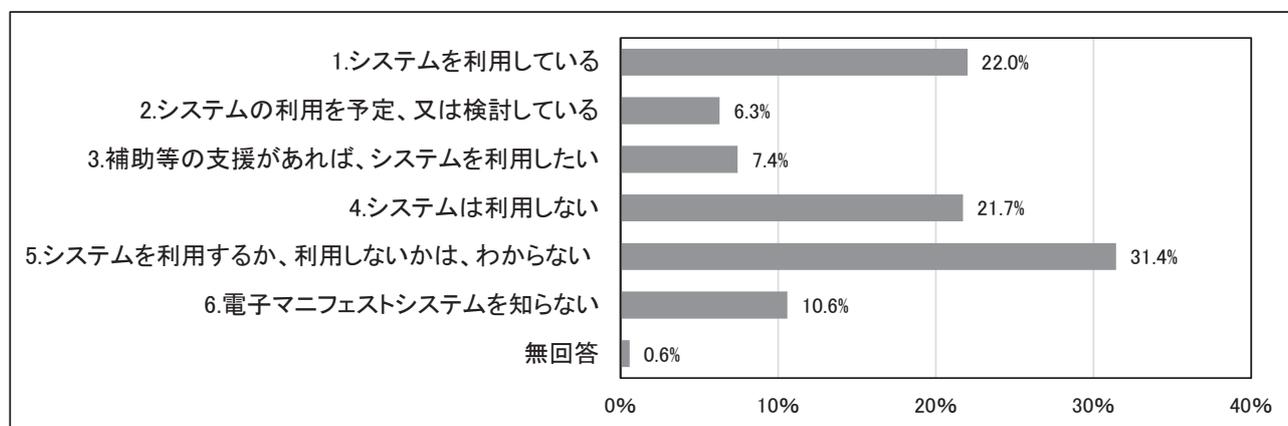


図8-1-8 電子マニフェストシステムの利用状況

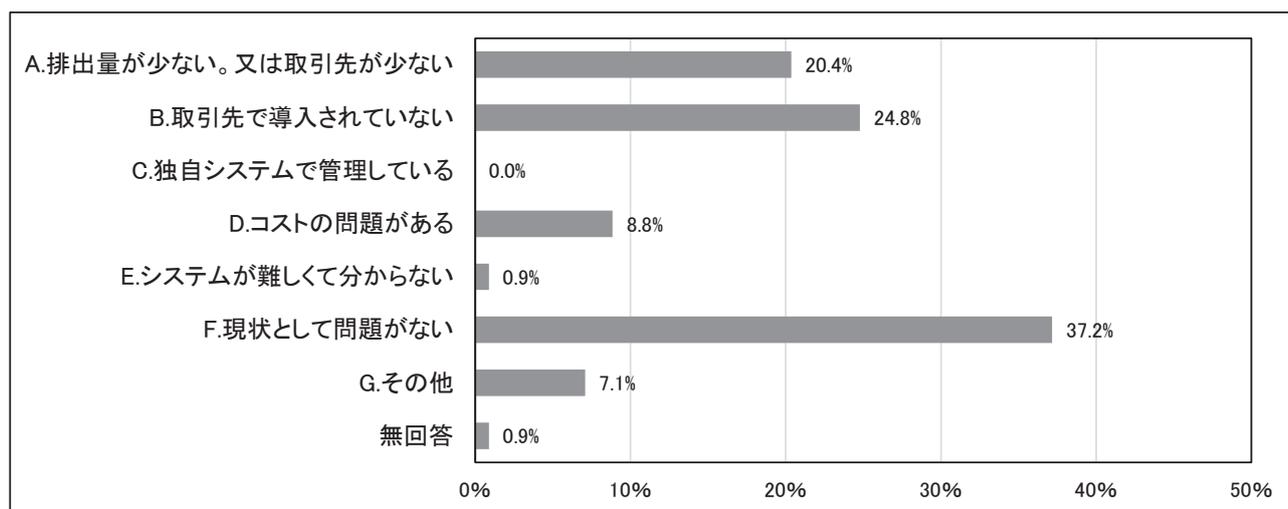


図8-1-9 電子マニフェストシステムを利用しない理由

表 8-1-10 電子マニフェストシステムの利用状況

内容	排出量ランク	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
1.システムを利用している		2 (25.0%)	6 (11.5%)	7 (9.0%)	27 (26.2%)	35 (32.1%)	77 (22.0%)
2.システムの利用を予定、又は検討している		0 (0.0%)	3 (5.8%)	1 (1.3%)	10 (9.7%)	8 (7.3%)	22 (6.3%)
3.補助等の支援があれば、システムを利用したい		0 (0.0%)	3 (5.8%)	6 (7.7%)	8 (7.8%)	9 (8.3%)	26 (7.4%)
4.システムは利用しない		3 (37.5%)	17 (32.7%)	17 (21.8%)	18 (17.5%)	21 (19.3%)	76 (21.7%)
5.システムを利用するか、利用しないかは、わからない		1 (12.5%)	15 (28.8%)	32 (41.0%)	32 (31.1%)	30 (27.5%)	110 (31.4%)
6.電子マニフェストシステムを知らない		2 (25.0%)	7 (13.5%)	15 (19.2%)	8 (7.8%)	5 (4.6%)	37 (10.6%)
無回答		0 (0.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	2 (0.6%)
計		8 (100.0%)	52 (100.0%)	78 (100.0%)	103 (100.0%)	109 (100.0%)	350 (100.0%)

内容(複数回答)	排出量ランク	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
A.排出量が少ない。又は取引先が少ない		2 (50.0%)	9 (36.0%)	7 (26.9%)	3 (12.0%)	2 (6.1%)	23 (20.4%)
B.取引先で導入されていない		0 (0.0%)	6 (24.0%)	2 (7.7%)	8 (32.0%)	12 (36.4%)	28 (24.8%)
C.独自システムで管理している		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
D.コストの問題がある		0 (0.0%)	1 (4.0%)	4 (15.4%)	1 (4.0%)	4 (12.1%)	10 (8.8%)
E.システムが難しく分からない		0 (0.0%)	1 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
F.現状として問題がない		2 (50.0%)	7 (28.0%)	10 (38.5%)	11 (44.0%)	12 (36.4%)	42 (37.2%)
G.その他		0 (0.0%)	1 (4.0%)	2 (7.7%)	2 (8.0%)	3 (9.1%)	8 (7.1%)
無回答		0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)
計		4 (100.0%)	25 (100.0%)	26 (100.0%)	25 (100.0%)	33 (100.0%)	113 (100.0%)

「G. その他」主な内容

- ・ 運搬受託者、処分受託者の動向を確認する。
- ・ 夜間工事の廃棄物受け入れ等「重量等の確定者」に関する課題が解決していない
- ・ 産廃ではなく資源化しているため
- ・ 廃棄物管理部署が決まってない

## 第7節 環境認証について

■ 貴事業所では、環境認証を取得していますか。該当する番号を選び、○を付けてください。

環境認証の取得状況についてまとめると、図8-1-10、表8-1-11のとおりである。

「取得していない」が51.4%、「ISO14001を取得している」が43.1%、「エコアクション21を取得している」と「その他の認証を取得している」が2.0%である。

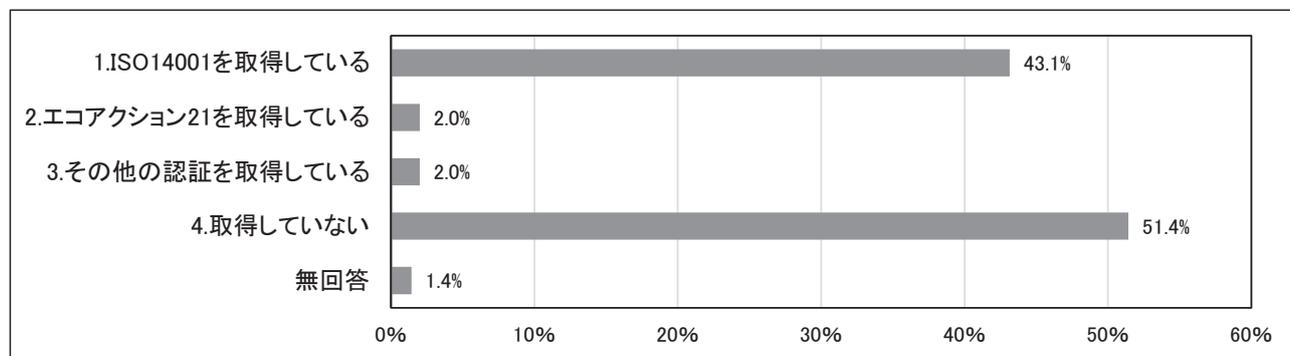


図 8-1-10 環境認証の取得状況

表 8-1-11 環境認証の取得状況

ランク内容	排出量					計
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	
1.ISO14001を取得している	2 (25.0%)	16 (30.8%)	32 (41.0%)	51 (49.5%)	50 (45.9%)	151 (43.1%)
2.エコアクション21を取得している	0 (0.0%)	1 (1.9%)	1 (1.3%)	1 (1.0%)	4 (3.7%)	7 (2.0%)
3.その他の認証を取得している	0 (0.0%)	1 (1.9%)	2 (2.6%)	4 (3.9%)	0 (0.0%)	7 (2.0%)
4.取得していない	6 (75.0%)	33 (63.5%)	43 (55.1%)	44 (42.7%)	54 (49.5%)	180 (51.4%)
無回答	0 (0.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (2.9%)	1 (0.9%)	5 (1.4%)
計	8 (100.0%)	52 (100.0%)	78 (100.0%)	103 (100.0%)	109 (100.0%)	350 (100.0%)

「3. その他の認証を取得している」の内容

- ・ グリーンプリンティング
- ・ 環境推進工場
- ・ KES・環境マネジメントシステム
- ・ ISO22000
- ・ FSSC22000

## ・第8節 県への要望について

■廃棄物の減量化・リサイクルや適正処理を進めるため、県ではどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。（3つまで複数回答）

県の産業廃棄物処理施策についてまとめると、図8-1-11、表8-1-12のとおりである。

「県や市が関与する、公共の処理施設の整備促進」が18.3%で最も多く、次いで「優良な廃棄物処理業者の育成・支援」が16.1%、「廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり」が11.4%、「不適正処理、不法投棄に対する監視・指導体制の一層の強化」と「廃棄物の減量及びリサイクルの技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充」が10.6%、「環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援」が8.5%、「処理業者に関する、評価や行政処分等の情報公開」が7.6%となっている。

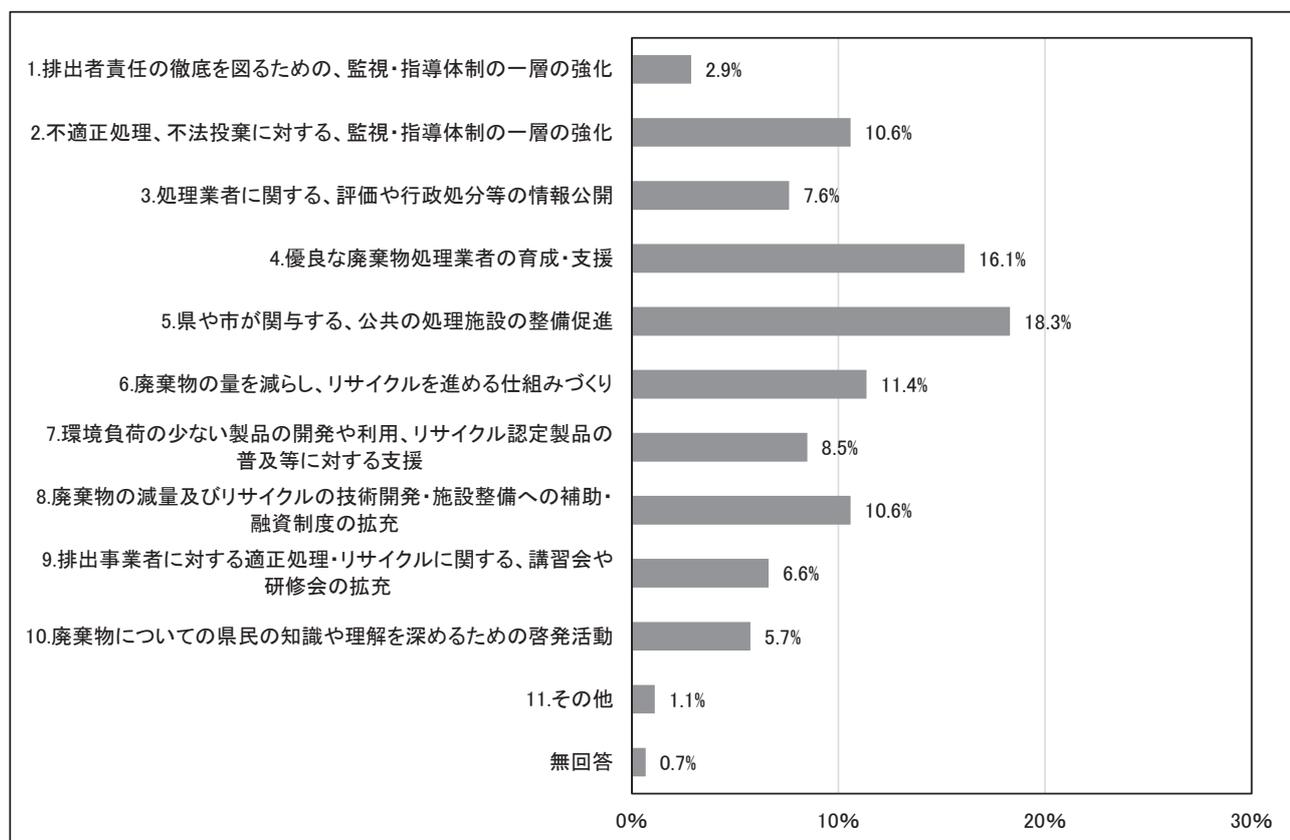


図8-1-11 県の産業廃棄物施策

表 8-1-12 県の産業廃棄物施策

内容(複数回答)	排出量ランク					
	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
1.排出者責任の徹底を図るための、監視・指導体制の一層の強化	0 (0.0%)	5 (4.0%)	6 (2.2%)	8 (2.7%)	7 (3.5%)	26 (2.9%)
2.不適正処理、不法投棄に対する、監視・指導体制の一層の強化	2 (9.5%)	21 (16.8%)	25 (9.3%)	29 (9.9%)	19 (9.6%)	96 (10.6%)
3.処理業者に関する、評価や行政処分等の情報公開	0 (0.0%)	7 (5.6%)	25 (9.3%)	17 (5.8%)	20 (10.1%)	69 (7.6%)
4.優良な廃棄物処理業者の育成・支援	5 (23.8%)	16 (12.8%)	52 (19.3%)	40 (13.6%)	33 (16.7%)	146 (16.1%)
5.県や市が関与する、公共の処理施設の整備促進	6 (28.6%)	25 (20.0%)	49 (18.2%)	47 (16.0%)	39 (19.7%)	166 (18.3%)
6.廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくり	3 (14.3%)	12 (9.6%)	33 (12.3%)	35 (11.9%)	20 (10.1%)	103 (11.4%)
7.環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援	2 (9.5%)	10 (8.0%)	22 (8.2%)	32 (10.9%)	11 (5.6%)	77 (8.5%)
8.廃棄物の減量及びリサイクルの技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充	1 (4.8%)	12 (9.6%)	25 (9.3%)	40 (13.6%)	18 (9.1%)	96 (10.6%)
9.排出事業者に対する適正処理・リサイクルに関する、講習会や研修会の拡充	1 (4.8%)	7 (5.6%)	14 (5.2%)	26 (8.8%)	12 (6.1%)	60 (6.6%)
10.廃棄物についての県民の知識や理解を深めるための啓発活動	1 (4.8%)	8 (6.4%)	13 (4.8%)	14 (4.8%)	16 (8.1%)	52 (5.7%)
11.その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	5 (1.7%)	2 (1.0%)	10 (1.1%)
無回答	0 (0.0%)	2 (1.6%)	2 (0.7%)	1 (0.3%)	1 (0.5%)	6 (0.7%)
計	21 (100.0%)	125 (100.0%)	269 (100.0%)	294 (100.0%)	198 (100.0%)	907 (1.0%)

「11. その他」の内容

- ・再資源化施設の利用促進の為の県外排出等の事前協議等の手続き緩和又は撤廃
- ・バイオコークス等の先端技術等の導入推進による廃棄物の有効利用と再生資源化推進
- ・工事廃棄物の減量化（CAE 工法、じょく層工法）
- ・中学校および高校にて産廃・リサイクル等への理解を深めるために、数回の授業を計画できないか。
- ・鋳物廃砂や廃レンガの再利用受け入れ先が県内になく、埋立か県外受け入れ先の選択肢しかない。単独企業で再利用の開発は難しく、仮に県内同業者が共同開発するにしてもハードルは非常に高い。弊社業種は県内に数社あるので行政主体で再利用開発して再利用受け入れ先を県内に設ける動きがあれば良いと思います。
- ・調査結果に基づきどのような取組みがなされ、その結果または実績をあげているのかを見える化して欲しい。
- ・法令、条例の改正情報の配布。
- ・新規業者の紹介など

# 参 考 資 料

< 統 計 表 >

# 統計表目次

## 表 1 業種別種類別の結果表【令和 2 年度】

表 1-1	発生量	70
表 1-2	有償物量	71
表 1-3	排出量	72
表 1-4	搬出量	73
表 1-5	自己最終処分量	74
表 1-6	委託処理量	75
表 1-7	委託中間処理量	76
表 1-8	委託直接最終処分量	77
表 1-9	委託最終処分量	78
表 1-10	最終処分量	79
表 1-11	再生利用量	80
表 1-12	資源化量	81
表 1-13	排出量<秋田市>	82
表 1-14	排出量<県北地域>	83
表 1-15	排出量<県央地域>	84
表 1-16	排出量<県南地域>	85

## 表 2 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）<業種別>【令和 2 年度】

表 2-1	全業種	86
表 2-2	建設業	88
表 2-3	製造業	90
表 2-4	電気・水道業	92
表 2-5	その他の業種	94

## 表 3 発生量及び処理・処分状況（種類別：無変換）【令和 2 年度】

表 3-1	全業種	96
表 3-2	建設業	98
表 3-3	製造業	100
表 3-4	電気・水道業	102
表 3-5	その他の業種	104

表 4	発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜地域別＞【令和 2 年度】	
表 4-1	秋田市	106
表 4-2	県北地域	108
表 4-3	県央地域	110
表 4-4	県南地域	112

表 5	発生量及び処理・処分状況（業種別）＜地域別＞【令和 2 年度】	
表 5-1	全地域	114
表 5-2	秋田市	116
表 5-3	県北地域	118
表 5-4	県央地域	120
表 5-5	県南地域	122

表 6	発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）	
表 6-1	将来予測結果（令和 3 年度）	124
表 6-2	将来予測結果（令和 4 年度）	126
表 6-3	将来予測結果（令和 5 年度）	128

表 7	発生量及び処理・処分状況（業種別）	
表 7-1	将来予測結果（令和 3 年度）	130
表 7-2	将来予測結果（令和 4 年度）	132
表 7-3	将来予測結果（令和 5 年度）	134

表 8	鉱業の発生量及び処理・処分状況（種類別）【令和元年度】	
表 8-1	変換	136
表 8-2	無変換	138

表1-1 発生量（業種別・種類別）＜令和2年度＞

(単位：千t/年)

業種	合計		製														電				その他	業種															
	建設	製造	食料	飲料	繊維	木材	家具	パルプ	印刷	化学	石油	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非金属	金	はん用機器	生産用機器			業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電気・水道	ガス	上水道	下水道	その他				
種類	2,524	546	854	33	41	83	1	452	2	11	1	6	0	0	37	10	145	10	1	7	10	28	2	0	8	1	1,098	564	93	441	26						
燃え殻	44	0	9	0	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	35	0	0	0						
汚泥	1,144	27	467	19	3	0	0	410	6	0	0	0	0	0	9	0	4	2	0	0	3	8	0	0	1	647	115	91	441	3	0						
有機性汚泥	891	8	435	19	3	0	0	409	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	448	7	441	0	0	0						
無機性汚泥	253	19	32	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	9	0	4	2	0	0	1	7	0	0	1	200	109	91	3	0	0						
廃油	16	0	13	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0				
一般廃油	8	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃溶剤	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他	8	0	8	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃酸	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック類	38	5	23	1	0	0	0	1	0	1	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5	7	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
廃プラスチック	32	5	23	1	0	0	0	1	0	1	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5	7	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
紙くず	13	0	12	0	0	0	0	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず	121	44	76	0	0	73	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	12	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不燃物	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	31	5	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	1	5	1	3	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	30	7	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙さい	144	144	144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	459	453	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	1	1	1	
コンクリート片	218	218	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アスファルト	232	227	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
その他	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	153	29	124	0	0	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	124	124	0	0	0	0	0	0	0		
その他の産業廃棄物	303	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289	289	0	0	0	0	0	0	0		
腐敗性廃棄物	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
混合物等	299	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289	289	0	0	0	0	0	0	0		

表1-2 有償物量（業種別・種類別）＜令和2年度＞

(単位：千t/年)

業種	合計	建設	製造	食料	飲料	繊維	木	家具	バルブ	印刷	化学	石油	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄	金	はん	生産	業務	電子	電気	情報	輸送	電気・水道		その他									
																											品	品		品	品	品	品	品	品	品	品	品
種類	184	0	79	1	0	0	52			0	0	0	1	0	0	0	1	2	5	1	4	3	4	0	0	4	103	103	0	0	2							
燃え殻	0																										0	0										
汚泥	94		0																			0				94	94											
有機性汚泥																																						
無機性汚泥	94		0																			0				94	94											
廃油	2		1	0																		0	1															
一般廃油	1		0	0																		0	0															
廃溶剤																																						
その他	1		1																			1																
廃酸	0		0									0																										
廃アルカリ	0		0									0																										
廃プラスチック類	3		3	0							0	1										0	2	0	0													
廃プラスチック	3		3	0							0	1										0	2	0	0													
廃タイヤ	0																																					
紙くず	0		0																																			
木くず	52		52																																			
繊維くず																																						
動植物性残さ	1		1	0																																		
動物系固形不要物																																						
ゴムくず	0																																					
金属くず	22		20	0							0	0	0	0	0	0	0	2	5	1	4	1	3	0	4													
ガラス陶磁器くず	0		0																																			
紙さい	1		1														1																					
がれき類																																						
コンクリート片																																						
廃アスファルト																																						
その他																																						
ばいじん	8																											8	8									
その他の産業廃棄物	0		0	0																	0	0	0	0														
感染性廃棄物																																						
混合物等	0		0	0																	0	0	0	0														

表1-3 排出量（業種別・種類別）＜令和2年度＞

(単位：千t/年)

業種	合計		製													電				その他																		
	業	設	食	飲	織	木	家	パ	バ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	鉄	非	金	はん	生	業	電	子	機	器	機	器	輸	送	機	器	他	の	業	種		
種類	2,340	545	775	31	41	1	31	1	452	2	11	1	5	0	0	37	9	143	4	1	3	7	24	2	0	1	4	1	995	461	93	441	24	0	0			
燃え殻	44	0	9	0	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	35	0	0	0	0	0	0			
汚泥	1,050	27	467	19	3	0	0	410	6	0	0	0	0	0	0	9	0	4	2	0	0	3	8	0	0	1	1	553	21	91	441	3	0	0	0			
有機性汚泥	891	8	435	19	3	0	0	409	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	448	7	441	0	0	0	0	0			
無機性汚泥	159	19	32	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	9	0	4	2	0	0	1	7	0	0	1	105	15	91	3	0	0	0	0				
廃油	15	0	12	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般廃油	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	34	5	20	1	0	0	0	1	0	1	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	6	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	
廃プラスチック	29	5	20	1	0	0	0	1	0	1	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	6	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
紙くず	12	0	12	0	0	0	0	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず	69	44	24	0	0	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	11	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
動物系固形不要物	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	9	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
ガラス陶磁器くず	30	7	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
紙さい	144	144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	459	453	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	1		
コンクリート片	218	218	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
廃アスファルト	232	227	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0		
その他	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ばいじん	145	29	29	0	0	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116	116	0	0	0	0	0	0	0		
その他の産業廃棄物	303	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289	289	0	0	0	0	0	0	6		
腐敗性廃棄物	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
混合物等	299	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289	289	0	0	0	0	0	0	2		

表1-4 搬出量（業種別・種類別：変換）＜令和2年度＞

(単位：千t/年)

業種	業種別	製															電				その他	業種													
		合計	建設	製造	食料	飲料	繊維	木材	家具	パルプ	印刷	化学	石油	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	はん用機器			生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電気・水道業	ガス業	下水道業	上下水道業	その他	
業種	業種別	合計	建設	製造	食料	飲料	繊維	木材	家具	パルプ	印刷	化学	石油	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電気・水道業	ガス業	下水道業	上下水道業	その他	業種		
合計		1,361	532	309	15	1	1	13	0	46	2	7	1	4	0	0	29	9	143	3	1	3	5	21	2	0	3	1	496	454	3	39	24		
燃え殻		71	0	11	0	0	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	35	0	25	0			
汚泥		91	27	32	3	0	0	0	12	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	1	29	14	1	14	3			
有機性汚泥		37	8	15	3	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14	0			
無機性汚泥		54	19	18	0	0	0	0	1	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	1	15	14	1	1	3			
廃油		13	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	2	0	0	0	0	0	3			
一般廃油		7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3			
廃溶剤		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他		5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸		4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ		9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類		33	5	18	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	1	1	1	1	1	8		
廃プラスチック		28	5	18	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	1	1	1	1	3			
廃タイヤ		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
紙くず		2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず		50	44	6	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ		11	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず		9	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず		29	7	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙さい		144	144	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類		446	440	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	1	1		
コンクリート片		208	207	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アスファルト		230	225	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	
その他		8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん		145	29	29	0	0	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116	116	0	0	0	0	0	
その他の産業廃棄物		303	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289	289	0	0	0	6		
腐蝕性廃棄物		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合物等		299	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289	289	0	0	0	0	0	0

表1-5 自己最終処分量（業種別・種類別：変換）＜令和2年度＞

(単位：千t/年)

業種	合計		製		電												そ の 他 の 業 種							
	業	建	業	設	造	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業		業	業	業	業	業	業	
種類	計	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
燃え殻	120	120																						
汚泥	2																							
有機性汚泥	2																							
無機性汚泥	2																							
廃油																								
一般廃油																								
廃溶剤																								
その他																								
廃酸																								
廃アルカリ																								
廃プラスチック類																								
廃プラスチック																								
廃タイヤ																								
紙くず																								
木くず																								
繊維くず																								
動植物性残さ																								
動物系固形不要物																								
ゴムくず																								
金属くず																								
ガラス陶磁器くず																								
鉄さい	118																							
がれき類																								
コンクリート片																								
廃アスファルト																								
その他																								
ばいじん																								
その他の産業廃棄物																								
感染性廃棄物																								
混合物等																								

表1-6 委託処理量（業種別・種類別：変換）＜令和2年度＞

業種	業種別	業種	製										電				その他	業種																															
			食	飲	織	木	家	パ	印	化	石	プ	ゴ	皮	窯	業			土	石	鉄	非	金	はん	生	業	務	用	機	器	電	子	部	品	電	機	器	電	機	器	情	報	通	信	機	器	輸	送	機
種類	合計	1,241	189	15	1	13	0	46	2	4	1	4	0	29	9	25	3	1	3	5	21	2	0	3	1	496	454	3	39	24																			
燃え殻		71	0	11	0	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	35	0	25	0																				
汚泥		88	27	30	3	0	0	12	1	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	4	0	0	1	1	29	14	1	14	3																				
有機性汚泥		37	8	15	3	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14	0																				
無機性汚泥		52	19	15	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	4	0	0	1	15	14	0	0	1	1	15	14	1	0	3																				
廃油		13	0	10	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	3																				
一般廃油		7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3																					
廃溶剤		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0																					
その他		5	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0																				
廃酸		4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0																					
廃アルカリ		9	0	9	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0																					
廃プラスチック類		33	5	18	1	0	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	1	1	1	1	8																				
廃プラスチック		28	5	18	1	0	0	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	1	1	1	3																					
廃タイヤ		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5																					
紙くず		2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
木くず		50	44	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
繊維くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
動植物性残さ		11	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1																					
動物系固形不燃物		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
ゴムくず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
金属くず		9	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2																					
ガラス陶磁器くず		29	7	21	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
紙さい		26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
がれき類		446	440	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1																					
コンクリート片		208	207	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1																					
廃アスファルト		230	225	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0																					
その他		8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																					
ばいじん		145	29	0	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116	116	0	0																					
その他の産業廃棄物		303	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289	289	0	6																					
腐敗性廃棄物		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4																					
混合物等		299	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289	289	0	2																					

(単位：千t/年)

表1-7 委託中間処理量（業種別・種類別：変換）＜令和2年度＞

業種	合計		製																	電			その他												
	建設	製造	食料品	飲料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電気水道	ガス	上下水道	その他						
種類																																			
合計	1,045	516	153	14	1	1	8	0	44	2	4	1	3	0	28	5	8	2	0	3	5	20	1	0	3	1	354	338	3	13	23				
燃え殻	23	0	4						4												0				0							0			
汚泥	67	21	26	2	0	0			11		1	0	0		2	0	4	0	0	0	4	0	0	1		18	3	1	13	3					
有機性汚泥	28	2	12	1	0	0			10		0	0					0			0	0					14	0		13	0					
無機性汚泥	39	19	14	0	0				1		1	0	0		2	0	4	0	0	0	4	0	0	1		4	3	1	2						
廃油	13	0	10	0					0		1	1	0		0	0	0	0	0	1	4	0	0	2	0	0	0	0				3			
一般廃油	7	0	4	0					0		0	0			0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0				3			
廃溶剤	1	0	1						0		0						0				1	0										0			
その他	5	0	5	0					0		1	0	0				0	0	0	0	3	0	0	0	0	0						0			
廃酸	4		3						0		0				0		1	1	0	0	1	0		0								0			
廃アルカリ	9	0	9						0		1	0			1	0	1	0	0	0	4	0		0									0		
廃プラスチック類	28	3	16	1	0	0			0		1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	1	1	1			8				
廃プラスチック	23	3	16	1	0	0			0		1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	6	0	0	0	1	1			3					
廃タイヤ	5	0	0												0	0	0														5				
紙くず	2	0	2						0		2	0																					0		
木くず	49	44	6	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0							0			
繊維くず	0	0																																	
動植物性残さ	11		11	9	1						0														1										
動物系固形不燃物	2		2																																
ゴムくず	0	0																																0	
金属くず	9	4	3	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
ガラス陶磁器くず	24	3	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱さい	4		4								0					4	0										0	0							
がれき類	444	438	3			3																		0	0	2		2				1			
コンクリート片	208	207	0																								0	0					1		
廃アスファルト	230	225	3			3																					2					0			
その他	6	6	0																					0											
ばいじん	85		29			1			28																		56								
その他の産業廃棄物	271	2	4	0	0	0			0		0	0			4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	258					6				
腐敗性廃棄物	4		0																														4		
混合物等	266	2	4	0	0	0			0		0	0			4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	258						2			

(単位：千t/年)











表1-13 排出量（秋田市 業種別・種類別）＜令和2年度＞

業種	業種別	建設業		製造業															電気・水道業				その他	業種													
		施設	計	食料・飲料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器			情報通信機器	輸送機器	その他	電気・水道業	ガス業	上下水道業	その他						
合計	1,004	174	515	12	3	0	18	450	1	9	7	2	7	4	1	0	0	0	0	2	5	0	0	0	1	304	13	37	253	11							
燃え殻	9	0	7	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0								
汚泥	743	9	435	9	3	0	0	408	5	5	0	0	3	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	299	8	37	253	1								
有機性汚泥	685	2	422	9	3	0	0	407	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	260	7	253	0	0								
無機性汚泥	58	6	12	0	0	0	0	1	5	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	39	1	37	1	0								
廃油	4	0	3	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
一般廃油	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃酸	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃アルカリ	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃プラスチック類	8	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	0	0	0	0	0				
廃プラスチック	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0				
廃タイヤ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
紙くず	11	0	11	0	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
木くず	24	14	10	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物系固形不要物	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
紙さい	7	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	149	145	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コンクリート片	70	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト	76	73	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	32	29	1	1	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の産業廃棄物	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
腐食性廃棄物	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合物等	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(単位：千t/年)

表1-14 排出量（県北地域 業種別・種類別）＜令和2年度＞

業種	合計	製造業	製													電				その他																
			食料品	飲料	繊維	木材	家具	パルプ	印刷	化学	石油	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非金属	金	はん用機器		生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他									
種類	839	120	190	13	0	10	1	2	1	2	1	2	0	3	0	0	12	1	139	0	1	4	1	1	0	0	523	448	2	73	5					
燃え殻	34	0	1				1																													
汚泥	109	6	14	6			2										4																			
有機性汚泥	83	2	8	6			2																													
無機性汚泥	26	4	6														4																			
廃油	2	0	1																																	
一般廃油	1	0	0																																	
廃溶剤	1	0	1																																	
その他	0	0	0																																	
廃酸	1	1	1																																	
廃アルカリ	1	0	1																																	
廃プラスチック類	11	1	8	0			0							3																						
廃プラスチック	10	1	8	0			0							3																						
廃タイヤ	1	0	0																																	
紙くず	1	0	1																																	
木くず	21	10	12	0		10	1																													
繊維くず	0	0																																		
動植物性残さ	6		6																																	
動物系固形不燃物																																				
ゴムくず	0	0	0																																	
金属くず	3	1	1	0																																
ガラス陶磁器くず	9	2	8	0																																
紙さい	136		136																																	
がれき類	100	100	0																																	
コンクリート片	48	48																																		
廃アスファルト	50	50																																		
その他	2	2	0																																	
ばいじん	113		0																																	
その他の産業廃棄物	291	1	0																																	
腐食性廃棄物	1	0	0																																	
混合物等	290	1	0																																	

(単位：千t/年)





表2-1 発生量及び処理・処分状況（全業種 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分 種類	(その1)										(単位：千t/年)											
	発生量			有償物量			自己中間処理後量				自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量			
	(A) (B+C)			(B)			(E)				(D)				(G)				(H)			
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(J)	(K+J)		
合計	2,524	184	2,340	1,038	73	12	2	31	28	0	1,302	2	118	1,014	168	0	1,361	120	120	120		
燃え殻	44	0	44	0	27	0	2	25	0	44				22	22		71					
汚泥	1,144	94	1,050	986	33	6	2	22	2	0	63	0		45	19		91	2	2	2		
有機性汚泥	891	891	891	877	25	2	21	2		14	0	0		8	7		37					
無機性汚泥	253	94	159	110	9	4	2	1	0	49	0	0		37	12		54	2	2	2		
廃油	16	2	15	2	0	0	0	0	0	13	0	0		13	0	0	13					
一般廃油	8	1	7	0	0		0			7	0	0		7	0	0	7					
廃溶剤	1	1	1	1						1				1			1					
その他	8	1	7	2	0					5				5	0		5					
廃酸	4	0	4							4				4			4					
廃アルカリ	9	0	9	0	0					9				9			9					
廃プラスチック類	38	3	34	2	1	1		0	0	33				28	5	0	33					
廃プラスチック	32	3	29	2	1	1		0	0	28				23	5	0	28					
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0	0	5				5	0	0	5					
紙くず	13	0	12	10						2				2	0		2					
木くず	121	52	69	19	1	0		0		49				49	0		50					
繊維くず	0	0	0							0				0	0		0					
動植物性残さ	12	1	11							11				11			11					
動物系固形不要物	2	2	2							2				2			2					
ゴムくず	0	0	0							0				0	0		0					
金属くず	31	22	9	0	0			0		9				9	0	0	9					
ガラス陶磁器くず	30	0	30	7	7			7		22				18	5		29					
紙さい	144	1	144							144				4	22		144	118	118	118		
がれき類	459		459	11	5	5				448	2			444	3		446					
コンクリート片	218		218	8	4	4				210	2			208	0		208					
廃アスファルト	232		232	3	1	1				230	2			230	0		230					
その他	8		8							8				6	2		8					
ばいじん	153	8	145							145				85	60		145					
その他の産業廃棄物	303	0	303	0	0			0		303				271	32	0	303					
感染性廃棄物	4		4							4				4			4					
混合物等	299	0	299	0	0			0		299				266	32	0	299					

表2-1 発生量及び処理・処分状況（全業種 種類別：変換）＜令和2年度＞

種 類	委託処理量 (単位：千t/年)		委託中間処理量										委託直接最終処分量		委託主体の内訳				委託主体の内訳		再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	(K) (O+L)	(O)	(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)								
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M1)	(M2)															
			業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外																	
合計	1,241	196	62	134	191	5	1,045	1,035	10	655	390	981	940	41	954	357	120	236	0	1,138							
燃え殻	71	47	9	39	46	2	23	23	8	5	18	29	24	5	24	53	2	53	0	24							
汚泥	88	21	19	2	21	0	67	59	8	49	18	38	24	14	29	38	2	35	0	124							
有機性汚泥	37	8	7	1	8	0	28	20	8	16	12	16	15	1	17	9		9		17							
無機性汚泥	52	13	12	1	13	0	39	39		33	6	22	8	14	12	29	2	27	0	106							
廃油	13	0	0	0	0	0	13	13	0	10	3	4	3	0	3	0		0		5							
一般廃油	7	0	0	0	0	0	7	7	0	5	1	1	1	0	1	0		0		2							
廃溶剤	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0			0		0							
その他	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	1	2	1	0	1	0		0		2							
廃酸	4	0	0	0	0	0	4	4	0	2	2	0	0	0	0			0		0							
廃アルカリ	9	0	0	0	0	0	9	9	0	4	6	1	1	1	1			0		1							
廃プラスチック類	33	5	3	2	5	0	28	28	0	20	8	17	12	4	13	9		9	0	16							
廃プラスチック	28	5	3	2	5	0	23	23	0	15	7	12	8	4	9	9		9	0	12							
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	1	5	5	0	5	0		0	0	5							
紙くず	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0		2							
木くず	50	0	0	0	0	0	49	49	0	49	0	47	46	1	47	1		1		99							
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0							
動植物性残さ	11	0	0	0	0	0	11	9	2	7	3	8	8	0	8	0		0		9							
動物系固形不要物	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	1	2	1		1		2							
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0							
金属くず	9	0	0	0	0	0	9	9	0	8	1	9	8	1	8	1		1		30							
ガラス陶磁器くず	29	5	2	3	5	0	24	24	0	24	0	24	23	1	23	6		6		23							
紙さい	26	22	18	4	22	4	4	4	4	0	4	4	4	0	4	139	118	22		5							
がれき類	446	3	2	0	3	0	444	444	0	440	4	444	433	10	440	13		13		440							
コンクリート片	208	0	0	0	0	0	208	208	0	208	0	208	199	9	205	9		9		205							
廃アスファルト	230	0	0	0	0	0	230	230	0	226	4	230	229	1	230	1		1		230							
その他	8	2	2	0	2	0	6	6	0	6	0	6	5	1	5	3		3		5							
ばいじん	145	60	7	53	56	3	85	85	0	20	66	85	84	1	84	61		61		92							
その他の産業廃棄物	303	32	1	31	32	0	271	271	0	15	256	266	264	2	264	35		35	0	264							
感染性廃棄物	4	0	0	0	0	0	4	4	0	3	1	0	0	0	0			0		0							
混合物等	299	32	1	31	32	0	266	266	0	11	255	266	264	2	264	35		35	0	264							

表2-2 発生量及び処理・処分状況（建設業 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分 種類	(その1)										(単位：千t/年)							
	発生量			自己中間処理後量			自己未処理量				搬出量		自己最終処分量					
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1) 再生利用量	(G2) 自己最終 処分量	(自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量				(E5) その他	(G3) 委託中間 処理量			(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他
合計	546	0	545	11	5	5	0	0	0	534	2	516	16	532				
燃え殻	0	0	0							0				0				
汚泥	27		27							27				21	6			
有機性汚泥	8		8							8				2	6			
無機性汚泥	19		19							19				19	0			
廃油	0		0							0				0	0			
一般廃油	0		0							0				0	0			
廃溶剤	0		0							0				0	0			
その他	0		0							0				0	0			
廃酸																		
廃アルカリ	0		0							0				0	0			
廃プラスチック類	5		5	0	0	0	0	0		5				3	2			5
廃プラスチック	5		5	0	0	0	0	0		5				3	2			5
廃タイヤ	0		0							0				0	0			0
紙くず	0		0							0				0	0			0
木くず	44		44	0	0	0				44				44	0			44
繊維くず	0		0							0				0	0			0
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0							0				0	0			0
金属くず	5		5							5				4	0			5
ガラス陶磁器くず	7		7							7				3	5			7
紙さい																		
がれき類	453		453	11	5	5				442	2			438	3			440
コンクリート片	218		218	8	4	4				209	2			207	0			207
廃アスファルト	227		227	3	1	1				225				225	0			225
その他	8		8							8				6	2			8
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	4		4							4				2	1			4
感染性廃棄物																		
混合物等	4		4							4				2	1			4



表2-3 発生量及び処理・処分状況（製造業 種類別：変換）＜令和2年度＞

区 分 種 類	(その1)										(単位：千t/年)														
	発生量			有償物量			自己中間処理後量				自己中間処理量			自己未処理量			自己未処理量			搬出量			自己最終処分量		
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)							
							自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)									その他 (E5)	県内	県外					
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)								
合計	854	79	775	491	26	1	2	21	2	0	284	0	118	132	34	0	309	120	120						
燃え殻	9		9	0	2		2	0	0		9			3	6		11								
汚泥	467	0	467	451	17	0	12	2			16			14	2		32	2	2						
有機性汚泥	435	0	435	433	13		11	1			2			1	1		15								
無機性汚泥	32	0	32	18	4	0	2	1			14			13	1		18	2	2						
廃油	13	1	12	2	0		0				10	0		10	0		10								
一般廃油	4	0	4								4	0		4	0		4								
廃溶剤	1		1								1			1			1								
その他	8	1	7	2	0		0				5			5	0		5								
廃酸	3	0	3								3			3			3								
廃アルカリ	9	0	9								9			9			9								
廃プラスチック類	23	3	20	2	1	1	0	0			18			16	3	0	18								
廃プラスチック	23	3	20	2	1	1	0	0			18			16	3	0	18								
廃タイヤ	0		0								0			0			0								
紙くず	12	0	12	10							2			2			2								
木くず	76	52	24	19	1	0	0				5			5	0		6								
繊維くず	0		0								0			0			0								
動植物性残さ	12	1	11								11			11			11								
動物系固形不要物	2		2								2			2			2								
ゴムくず	0		0								0			0			0								
金属くず	23	20	3								3			3	0		3								
ガラス陶磁器くず	22	0	22	7	7		7				15			15	0		21								
紙さい	144	1	144								144			4	22		144	118	118						
がれき類	3		3								3			3	0		3								
コンクリート片	0		0								0			0			0								
廃アスファルト	3		3								3			3			3								
その他	0		0								0			0	0		0								
ばいじん	29		29								29			29	0		29								
その他の産業廃棄物	5	0	5	0	0		0				5			4	0		5								
感染性廃棄物	0		0								0			0			0								
混合物等	5	0	5	0	0		0				5			4	0		5								



表2-4 発生量及び処理・処分状況（電気・水道業 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分 種類	(その1)										(単位：千t/年)												
	発生量			自己中間処理後量			自己中間処理量				自己未処理量			自己未処理量				搬出量			自己最終処分量		
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1) 再生利用量	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)					
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量									(E5) その他	県内	県外			
合計	1098	103	995	535	42	6	10	26	0	460	0	344	116	0	496								
燃え殻	35	0	35		25			25		35		19	16		60								
汚泥	647	94	553	535	17	6	10	0	0	18	0	7	11		29								
有機性汚泥	448		448	444	12	2	10	0		4	0	4			14								
無機性汚泥	200	94	105	92	5	4	1	0	0	14		3	11		15								
廃油	0		0							0		0			0								
一般廃油	0		0							0		0			0								
廃溶剤																							
その他																							
廃酸																							
廃アルカリ																							
廃プラスチック類	1		1							1		1			1								
廃プラスチック	1		1							1		1			1								
廃タイヤ																							
紙くず																							
木くず																							
繊維くず																							
動植物性残さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	0		0							0		0		0	0								
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0		0	0								
紙さい	0		0							0		0		0	0								
がれき類	2		2							2		2	0		2								
コンクリート片	0		0							0		0			0								
廃アスファルト	2		2							2		2	0		2								
その他																							
ばいじん	124	8	116							116		56	59		116								
その他の産業廃棄物	289		289							289		258	31	0	289								
感染性廃棄物																							
混合物等	289		289							289		258	31	0	289								

表2-4 発生量及び処理・処分状況（電気・水道業 種類別：変換）＜令和2年度＞

区 分 種 類	(その2)														(単位：千t/年)						
	委託処理量		委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	(K) (O+L)	(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(Q) (1+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
			自治体	県外	県内	県外		自治体	県内	県外	再生利用量		最終処分量	自己処分					委託処分		
合計	496	142	20	122	137	5	354	346	8	43	310	344	340	3	346	145	0	449			
燃え殻	60	41	3	38	39	2	19	19	8	5	14	21	19	2	19	43		19			
汚泥	29	11	11	0	11		18	9	8	16	1	6	4	2	10	13	0	104			
有機性汚泥	14	0	0	0	0		14	5	8	13	1	4	4	0	6	0	0	6			
無機性汚泥	15	11	11	0	11		4	4	4	4	0	2	0	2	4	12	0	98			
廃油	0						0	0	0	0	0										
一般廃油	0						0	0	0	0	0										
廃溶剤																					
その他																					
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	1						1	1	1	1		0	0	0	0	0	0				
廃プラスチック	1						1	1	1	1		0	0	0	0	0	0				
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず																					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			
ガラス陶磁器くず	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			
紙さい	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			
がれき類	2	0	0	0	0		2	2	2	2		2	2	2	2	0	0	2			
コンクリート片	0						0	0	0	0		0	0	0	0			0			
廃アスファルト	2	0	0	0	0		2	2	2	2		2	2	2	0	0	0	2			
その他																					
ばいじん	116	59	7	52	56	3	56	56	56	16	40	56	56	56	56	59	0	65			
その他の産業廃棄物	289	31	31	31	31		258	258	258	3	255	258	258	0	258	31	0	258			
感染性廃棄物																					
混合物等	289	31	31	31	31		258	258	258	3	255	258	258	0	258	31	0	258			

表2-5 発生量及び処理・処分状況（その他の業種 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己未処理量			搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量											
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己最終 処分量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)	委託中間 処理量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内 (I)	県外 (J)		(E2+G2)	(I)										
																			再生利用量 (E)	自己最終 処分量 (E2)	自己最終 処分量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)	委託中間 処理量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合計	26	2	24	0	0	0	0	0	0	0	23	1	0	0	24													
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
汚泥	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0													
有機性汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
無機性汚泥	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0													
廃油	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0													
一般廃油	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0													
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
廃プラスチック類	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8	0													
廃プラスチック	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0													
廃タイヤ	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0													
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
繊維くず																												
動植物性残さ																												
動物系固形不要物																												
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
金属くず	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0													
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
鉱さい																												
がれき類	1		1								1			1	0													
コンクリート片	1		1								1			1	0													
廃アスファルト	0		0								0			0	0													
その他																												
ばいじん																												
その他の産業廃棄物	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	0													
感染性廃棄物	4		4								4			4														
混合物等	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0													

(単位：千t/年)

表2-5 発生量及び処理・処分状況（その他の業種 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分	委託処理量 (O+L)	委託中間処理量										再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量	
		委託直接最終処分量		委託中間処理量		委託中間処理後量		(M)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(S) (B+R)						
		(O)		(L)		(M)					(M1)	(M2)		(O1)	(O2)				
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	自己処分			委託処分						
合計	24	1	1	0	1	0	23	23	0	19	3	13	10	3	10	4	4	0	12
燃え殻	0						0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
汚泥	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	0	1	0	1	0	1	1	0	0
有機性汚泥	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無機性汚泥	3	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	1	0	1	0	1	1	0	0
廃油	3						3	3	0	2	1	1	1	1	1	1	0	0	2
一般廃油	3						3	3	0	2	1	1	1	1	1	0	0	0	2
廃溶剤	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	8	0	0	0	0	0	8	8	0	7	1	6	5	1	5	1	1	0	5
廃プラスチック	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	1	1	0	1	1	1	1	1
廃タイヤ	5						5	5	0	4	1	5	5	0	5	0	0	0	5
紙くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	2
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細さい																			
がれき類	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1
コンクリート片	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1
廃アスファルト	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物	6	0	0	0	0	0	6	6	0	5	1	1	0	1	0	1	1	0	0
感染性廃棄物	4						4	4	4	3	1								
混合物等	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0

(単位：千t/年)

(その2)

表3-1 発生量及び処理・処分状況（全業種 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区 分 種 類	(その1)										(単位：千t/年)													
	発生量			有償物量			排出量			自己中間処理後量			自己中間処理量			自己未処理量			自己未処理量			自己最終処分量		
	(A) (B+C)		(B)	(C) (D+G)		(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	委託中間 処理量 (E4)	その他 (E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	(H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外			
	(A)	(B+C)	(B)	(C)	(D+G)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	委託中間 処理量 (E4)	その他 (E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	(H)	(1)				
合計	2,524	184	2,340	1,038	73	12	2	31	28	0	1,302	2	118	1,014	168	0	1,361	120	120					
燃え殻	44	0	44	0	0														44					
汚泥	1,144	94	1,050	986	58	6	2	22	28	0	63	0							116	2	2			
有機性汚泥	891	891	891	877	50	2	21	27			14	0							62					
無機性汚泥	253	94	159	110	9	4	2	1			49	0							54	2	2			
廃油	16	2	15	2	0	0	0	0			13	0							13					
一般廃油	8	1	7	0	0	0	0				7	0							7					
廃溶剤	1	1	1	1							1								1					
その他	8	1	7	2	0						5								5					
廃酸	4	0	4								4								4					
廃アルカリ	9	0	9	0	0						9								9					
廃プラスチック類	38	3	34	2	1	1					33								33					
廃プラスチック	32	3	29	2	1	1					28								28					
廃タイヤ	5	0	5	0	0						5								5					
紙くず	13	0	12	10	1						2								4					
木くず	121	52	69	19	1	0					49								50					
繊維くず	0	0	0								0								0					
動植物性残さ	12	1	11								11								11					
動物系固形不要物	2		2								2								2					
ゴムくず	0	0	0								0								0					
金属くず	31	22	9	0	0						9								9					
ガラス陶磁器くず	30	0	30	7	7						22								29					
紙さい	144	1	144								144								144	118	118			
がれき類	459		459	11	5	5					448	2							446					
コンクリート片	218		218	8	4	4					210	2							208					
廃アスファルト	232		232	3	1	1					230								230					
その他	8		8								8								8					
ばいじん	153	8	145								145								145					
その他の産業廃棄物	303	0	303	0	0						303								303	0	0			
感染性廃棄物	4		4								4								4					
混合物等	299	0	299	0	0						299								299	0	0			

表3-1 発生量及び処理・処分状況（全業種 種類別：無変換）＜令和2年度＞

種別	委託処理量 (K) (0+L)			委託中間処理量 (L)			委託先地域の内訳			委託主体の内訳			委託中間処理後量 (M)			再生利用量 (E1+G1+M1)			最終処分量			その他量		
	区分	委託直接最終処分量			(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)			(委託処理後の処理内訳)			(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
		(O)	(処理主体の内訳)		県内	県外	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M)	再生利用量	(M1)					(M2)			
			(O)	業者																		自治体	県内	県外
合計	1,241	196	62	134	191	5	1,045	1,035	10	655	390	981	940	41	954	357	120	236	0	1,138				
燃え殻	44	22	9	13	21	2	22	22	8	5	17	22	22	0	22	22	2	22	0	22				
汚泥	113	46	19	27	46	0	67	59	8	49	18	40	23	17	29	66	2	63	0	123				
有機性汚泥	62	33	7	26	33	0	28	20	8	16	12	18	15	2	17	36		36	17	17				
無機性汚泥	52	13	12	1	13	0	39	39		33	6	22	8	15	12	30	2	28	0	106				
廃油	13	0	0	0	0	0	13	13	0	10	3	4	3	1	3	1	1	1	0	5				
一般廃油	7	0	0	0	0	0	7	7	0	5	1	2	1	0	1	0	0	0	0	2				
廃溶剤	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
その他	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	1	2	1	0	1	0	0	0	0	2				
廃酸	4	0	0	0	0	0	4	4	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1				
廃アルカリ	9	0	0	0	0	0	9	9	0	4	6	2	2	0	2	0	0	0	0	2				
廃プラスチック類	33	5	3	2	5	0	28	28	0	20	8	18	12	5	13	10	10	10	0	17				
廃プラスチック	28	5	3	2	5	0	23	23	0	15	7	13	8	5	9	10	10	10	0	12				
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	1	5	5	0	5	0	0	0	0	5				
紙くず	4	0	0	0	0	0	4	4	0	2	1	3	3	0	3	0	0	0	0	4				
木くず	50	1	0	0	1	0	49	49	0	49	0	47	46	1	47	1	1	1	0	99				
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
動植物性残さ	11	0	0	0	0	0	11	9	2	7	3	8	8	0	8	0	0	0	0	9				
動物系固形不要物	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	2	1	2	1	1	1	0	2				
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
金属くず	9	0	0	0	0	0	9	9	0	8	1	9	8	1	8	1	1	1	0	30				
ガラス陶磁器くず	29	5	2	3	5	0	24	24	0	24	0	24	23	1	23	6	6	6	0	23				
紙さい	26	22	18	4	22	0	4	4	0	0	4	4	4	0	4	139	118	22	0	5				
がれき類	446	3	2	0	3	0	444	444	0	440	4	444	433	10	440	13	13	13	0	440				
コンクリート片	208	0	0	0	0	0	208	208	0	208	0	208	199	9	205	9	9	9	0	205				
廃アスファルト	230	0	0	0	0	0	230	230	0	226	4	230	229	1	230	1	1	1	0	230				
その他	8	2	2	0	2	0	6	6	0	6	0	6	5	1	5	3	3	3	0	5				
ばいじん	145	60	7	53	56	3	85	85	0	20	66	85	84	1	84	61	61	61	0	92				
その他の産業廃棄物	303	32	1	31	32	0	271	271	0	15	256	266	264	3	264	35	35	35	0	264				
感染性廃棄物	4	0	0	0	0	0	4	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
混合物等	299	32	1	31	32	0	266	266	0	11	255	266	264	2	264	35	35	35	0	264				

(単位：千t/年)

(その2)

表3-2 発生量及び処理・処分状況（建設業 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
				自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己中間処理後の処理内訳			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託最終の処理内訳				県内	県外
							委託中間 処理量 (E3)	委託最終 処分量 (E4)	その他 (E5)				委託最終 処分量 (G4)	その他 (G5)				
合計	546	0	545	11	5	5	0	534	2	516	16	532						
燃え殻	0	0	0					0					0					
汚泥	27		27					27					21	6	27			
有機性汚泥	8		8					8					2	6	8			
無機性汚泥	19		19					19					19	0	19			
廃油	0		0					0					0	0	0			
一般廃油	0		0					0					0	0	0			
廃溶剤	0		0					0					0	0	0			
その他	0		0					0					0	0	0			
廃酸																		
廃アルカリ	0		0					0					0		0			
廃プラスチック類	5		5	0	0	0	0	5					3	2	5			
廃プラスチック	5		5	0	0	0	0	5					3	2	5			
廃タイヤ	0		0					0					0	0	0			
紙くず	0		0					0					0	0	0			
木くず	44		44	0	0	0		44					44	0	44			
繊維くず	0		0					0					0	0	0			
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0					0					0	0	0			
金属くず	5		5					5					4	0	5			
ガラス陶磁器くず	7		7					7					3	5	7			
紙さい																		
がれき類	453		453	11	5	5		442	2				438	3	440			
コンクリート片	218		218	8	4	4		209	2				207	0	207			
廃アスファルト	227		227	3	1	1		225					225	0	225			
その他	8		8					8					6	2	8			
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	4		4					4					2	1	4			
感染性廃棄物																		
混合物等	4		4					4					2	1	4			

(単位：千t/年)

表3-2 発生量及び処理・処分状況（建設業 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区分	委託処理量 (O+L)	委託直接最終処分量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
		(K)		(O)		(L)		(自治体)		(県内)		(県外)		(M)		(R)		(Q)	(J)	(S)	(E5+G5)	(B+R)								
		(O+L)	(O)	(自治体)	(県内)	(県外)	(自治体)	(県内)	(県外)	(M)	(E1+G1+M1)	(R)																		
		(K)	(O)	(自治体)	(県内)	(県外)	(自治体)	(県内)	(県外)	(M)	(E1+G1+M1)	(R)	(Q)	(J)	(S)	(B+R)														
合計	532	16	11	5	16	0	516	516	5	506	483	24	490	40	40	40	40	40	40	40	490		490							
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
汚泥	27	6	6	0	6	0	21	21	1	14	4	10	4	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	4						
有機性汚泥	8	6	6	0	6	0	2	2	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	0						
無機性汚泥	19	0	0	0	0	0	19	19	1	13	4	9	4	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	4						
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃プラスチック類	5	2	1	1	2	0	3	3	0	3	2	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2						
廃プラスチック	5	2	1	1	2	0	3	3	0	3	2	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2						
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
木くず	44	0	0	0	0	0	44	44	0	42	42	1	42	1	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42						
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
金属くず	5	0	0	0	0	0	4	4	0	4	4	0	4	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5						
ガラス陶磁器くず	7	5	2	3	5	0	3	3	0	3	2	0	2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2						
細さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
がれき類	440	3	2	0	3	0	438	438	4	438	427	10	434	13	434	434	434	434	434	434	434	434	434	434						
コンクリート片	207	0	0	0	0	0	207	207	0	207	198	9	204	9	204	204	204	204	204	204	204	204	204	204						
廃アスファルト	225	0	0	0	0	0	225	225	4	225	224	1	225	1	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225						
その他	8	2	2	0	2	0	6	6	0	6	5	0	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5						
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
その他の産業廃棄物	4	1	1	0	1	0	2	2	0	2	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1						
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
混合物等	4	1	1	0	1	0	2	2	0	2	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1						

(単位：千t/年)

(その2)

表3-3 発生量及び処理・処分状況（製造業 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区 分  種 類	自己中間処理後量						自己未処理量						搬出量			自己最終処分量			
	発生量		排出量		自己中間処理量		再生利用量		自己最終処分量		自己未処理の処理内訳		自己未処理の処理内訳		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)			(G4)	(G5)	県内
合計	854	79	775	491	26	1	2	21	2	0	284	0	118	132	34	0	309	120	120
燃え殻	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	3	6	0	9	0	0
汚泥	467	0	467	451	17	0	2	12	2	0	16	0	0	14	2	0	32	2	2
有機性汚泥	435	0	435	433	13	0	1	11	1	0	2	0	0	1	1	0	15	0	0
無機性汚泥	32	0	32	18	4	0	2	1	1	0	14	0	0	13	1	0	18	2	2
廃油	13	1	12	2	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0
一般廃油	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0
廃溶剤	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
その他	8	1	7	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	5	0	0
廃酸	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
廃アルカリ	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9	0	0	9	0	0
廃プラスチック類	23	3	20	2	1	1	0	0	0	0	18	0	0	16	3	0	18	0	0
廃プラスチック	23	3	20	2	1	1	0	0	0	0	18	0	0	16	3	0	18	0	0
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	12	0	12	10	1	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0
木くず	76	52	24	19	1	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	12	1	11	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0
動物系固形不要物	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	23	20	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
ガラス陶磁器くず	22	0	22	7	7	0	0	7	0	0	15	0	0	15	0	0	21	0	0
紙さい	144	1	144	0	0	0	0	0	0	0	144	0	118	4	22	0	144	118	118
がれき類	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
コンクリート片	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アスファルト	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	29	0	29	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	29	0	0	29	0	0
その他の産業廃棄物	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	4	0	0	5	0	0
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合物等	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	4	0	0	5	0	0

(その1)

(単位：千t/年)

表3-3 発生量及び処理・処分状況（製造業 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区分 種類	委託処理量 (その2)														再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託中間処理後量		(R) (E1+G1+M1)	(Q) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)	(S) (B+R)						
	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)			(M1)	(M2)			(O1)	(O2)				
	業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外													
合計	189	36	29	7	36	0	153	151	2	82	72	117	107	10	108	167	120	47	0	187		
燃え殻	9	6	6	0	6	0	3	3	0	0	3	3	3	0	3	6	0	6	0	3		
汚泥	30	4	2	2	4	0	26	26	0	11	15	18	15	3	15	10	2	7	0	15		
有機性汚泥	15	2	1	1	2	0	12	12	0	1	11	11	11	0	11	2	0	2	0	11		
無機性汚泥	15	2	1	1	2	0	14	14	0	9	5	7	4	3	7	2	0	5	0	4		
廃油	10	0	0	0	0	0	10	10	0	8	2	3	2	1	2	1	0	1	0	3		
一般廃油	4	0	0	0	0	0	4	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	1	2	1	0	1	0	0	0	0	2		
廃酸	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	9	0	0	0	0	0	9	9	0	3	5	2	2	0	2	0	0	0	0	2		
廃プラスチック類	18	3	2	1	3	0	16	16	0	9	7	9	5	3	6	6	6	6	0	9		
廃プラスチック	18	3	2	1	3	0	16	16	0	9	7	9	5	3	6	6	6	6	0	9		
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紙くず	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	1	3	3	0	3	0	0	0	0	4		
木くず	6	0	0	0	0	0	6	6	0	6	0	5	5	0	5	1	1	1	0	57		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	11	0	0	0	0	0	11	9	2	7	3	8	8	0	8	0	0	0	0	9		
動物系固形不要物	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	2	2	1	2	1	0	1	0	2		
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属くず	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	0	3	2	0	2	1	0	1	0	23		
ガラス陶磁器くず	21	0	0	0	0	0	21	21	0	21	0	21	21	0	21	1	1	1	0	21		
紙さい	26	22	18	4	22	0	4	4	0	0	4	4	4	0	4	139	118	22	0	5		
がれき類	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	3		
コンクリート片	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アスファルト	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	3		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ばいじん	29	0	0	0	0	0	29	29	0	3	25	29	28	1	28	1	0	1	0	28		
その他の産業廃棄物	5	0	0	0	0	0	4	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	0	0	4		
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
混合物等	5	0	0	0	0	0	4	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	0	0	4		

表3-4 発生量及び処理・処分状況（電気・水道業 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区分 種類	発生量 (B+C)			自己中間処理後量			自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己未処理量			自己最終処分量		
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(自己中間処理後の処理内訳)			(自己未処理の処理内訳)			(G)	(H)	(処理先地域の内訳)						
							再生利用量	自己最終処分量	委託中間処理量	最終処分量	委託直接	最終処分量			委託中間処理量	最終処分量	委託直接	最終処分量	(I)	(J)	
																				(E1)	(E2)
(B+C)	(D+G)	(D+G)	(D)	(E)	(F)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(H)	(I)	(J1)	(J2)	(I+J)	(I)	(J)			
合計	1098	103	995	535	42	6	10	26	0	460	0	344	116	0	496						
燃え殻	35	0	35							35		19	16		35						
汚泥	647	94	553	535	42	6	10	26	0	18	0	7	11		54						
有機性汚泥	448		448	444	37	2	10	25		4	0	4			39						
無機性汚泥	200	94	105	92	5	4	1	0	0	14		3	11		15						
廃油	0		0							0		0			0						
一般廃油	0		0							0		0			0						
廃溶剤																					
その他																					
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	1		1							1		1			1						
廃プラスチック	1		1							1		1			1						
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず																					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0		0							0		0			0						
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0			0						
紙さい	0		0							0		0			0						
がれき類	2		2							2		2	0		2						
コンクリート片	0		0							0		0			0						
廃アスファルト	2		2							2		2	0		2						
その他																					
ばいじん	124	8	116							116		56	59		116						
その他の産業廃棄物	289		289							289		258	31	0	289						
感染性廃棄物																					
混合物等	289		289							289		258	31	0	289						

(その1)

(単位：千t/年)

表3-4 発生量及び処理・処分状況（電気・水道業 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区 分	委託処理量 (K) (O+L)	委託直接最終処分量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
		(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(R) (E1+G1+M1)	(Q) (1+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)					
		業者		自治体			県内		県外			業者		自治体			県内		県外											
		(O)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(M)	(M1)	(M2)	(O)	(Q)	(J)	(S)	(B+R)																
合計	496	142	20	122	137	5	354	346	8	43	310	344	340	3	346	145	145	0	0	449										
燃え殻	35	16	3	13	14	2	19	19	8	5	14	19	19	0	19	16	16			19										
汚泥	54	36	11	25	36		18	9	8	16	1	8	4	3	10	39	39			0	104									
有機性汚泥	39	25		25	25		14	5	8	13	1	6	4	2	6	27	27			6	6									
無機性汚泥	15	11	11	0	11		4	4	4	4	0	2	0	2	4	12	12			0	98									
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0										
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0										
廃溶剤																														
その他																														
廃酸																														
廃アルカリ																														
廃プラスチック類	1						1	1		1		0		0	0	0	0			0										
廃プラスチック	1						1	1		1		0		0	0	0	0			0										
廃タイヤ																														
紙くず																														
木くず																														
繊維くず																														
動植物性残さ																														
動物系固形不要物																														
ゴムくず																														
金属くず	0						0	0		0		0	0	0	0	0	0			0	0									
ガラス陶磁器くず	0						0	0		0		0	0	0	0	0	0			0	0									
紙さい	0						0	0		0		0	0	0	0	0	0			0	0									
がれき類	2	0	0		0		2	2		2		2	2	2	2	0	0			2	2									
コンクリート片	0						0	0		0		0	0	0	0					0	0									
廃アスファルト	2	0	0		0		2	2		2		2	2	2	2	0	0			2	2									
その他																														
ばいじん	116	59	7	52	56	3	56	56		16	40	56	56	56	56	59	59			65	65									
その他の産業廃棄物	289	31		31	31		258	258		3	255	258	258	258	258	31	31			258	258									
感染性廃棄物																														
混合物等	289	31		31	31		258	258		3	255	258	258	258	258	31	31			258	258									

(その2)

(単位：千t/年)

表3-5 発生量及び処理・処分状況（その他の業種 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区分 種類	自己中間処理後量				自己中間処理量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (1+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外					
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1) 再生利用量	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(自己未処理の処理内訳)		(H) (1+K+J)					(I) (E2+G2)			
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量					(E5) その他	(G4) 委託直接 最終処分量									(G5) その他
合計	26	2	24	0	0	0	0	0	0	23	0	23	1	0	24	0								
燃え殻	0	0	0	0						0		0			0									
汚泥	3	0	3	0		0		0		3	0	3	0		3									
有機性汚泥	0		0							0		0			0									
無機性汚泥	3	0	3	0		0		0		2	0	2	0		3									
廃油	3	1	3	0		0		0		3	0	3	0		3									
一般廃油	3	1	3	0		0		0		3	0	3	0		3									
廃溶剤	0		0							0		0			0									
その他	0		0							0		0			0									
廃酸	0		0							0		0			0									
廃アルカリ	0	0	0	0		0		0		0		0			0									
廃プラスチック類	8	0	8	0		0		0		8		8	0		8									
廃プラスチック	3	0	3	0		0		0		3		3	0		3									
廃タイヤ	5	0	5	0		0		0		5		5	0		5									
紙くず	0		0							0		0			0									
木くず	0		0							0		0			0									
繊維くず																								
動植物性残さ																								
動物系固形不要物																								
ゴムくず	0	0	0							0		0			0									
金属くず	3	1	2	0		0		0		2		2	0		2									
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0			0									
珪さい																								
がれき類	1		1							1		1	0		1									
コンクリート片	1		1							1		1	0		1									
廃アスファルト	0		0							0		0			0									
その他																								
ばいじん																								
その他の産業廃棄物	6	0	6	0		0		0		6		6	0		6									
感染性廃棄物	4		4							4		4			4									
混合物等	2	0	2	0		0		0		2		2	0		2									

(単位：千t/年)

表3-5 発生量及び処理・処分状況（その他の業種 種類別：無変換）＜令和2年度＞

区分	委託処理量 (O+L)	委託中間処理量										委託直接最終処分量		委託先地域の内訳				委託中間処理後量		再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
		(K)		(O+L)		(L)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)		(委託処理後の処理内訳)		(R)		(Q)		(J)		(S)				
		(0)		(1)		(2)		業者		自治体		県内		県外		再生利用量		最終処分量		(E1+G1+M1)		(E5+G5)		(B+R)		
		(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)	
合計	24	1	1	0	0	23	23	0	0	19	3	13	10	3	10	4	10	4	4	0	4	0	12	0	0	
燃え殻	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
汚泥	3	0	0	0	0	3	3	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	
有機性汚泥	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無機性汚泥	3	0	0	0	0	2	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	
廃油	3	3	3	0	2	1	1	0	0	2	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	
一般廃油	3	3	3	0	2	1	1	0	0	2	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	
廃溶剤	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃酸	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック類	8	0	0	0	0	8	8	0	0	7	1	6	5	1	5	1	5	1	1	1	0	1	0	5	0	
廃プラスチック	3	0	0	0	0	3	3	0	0	3	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	
廃タイヤ	5					5	5	0	0	4	1	5	5	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	
紙くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維くず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物系固形不要物	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	2	0	0	0	0	2	2	0	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
細さい	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
コンクリート片	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
廃アスファルト	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ばいじん	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の産業廃棄物	6	0	0	0	0	6	6	0	0	5	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	
感染性廃棄物	4					4	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
混合物等	2	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	

(単位：千t/年)

表4-4-1 発生量及び処理・処分状況（秋田市 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分 種類	(その1)										(単位：千t/年)										
	発生量			自己中間処理量			自己中間処理後量				自己未処理量			自己未処理の処理内訳				搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1) 再生利用量	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)			
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量									(E5) その他	県内	県外	
合計	1011	7	1004	749	50	5	2	17	25	255	1	236	19	300	2	2					
燃え殻	9	0	9	0	27		2	25		8		3	6	35							
汚泥	743	0	743	726	21	3	2	15	0	17		14	3	35	2	2					
有機性汚泥	685	0	685	681	15	0	15	0	0	4		2	2	19							
無機性汚泥	58	0	58	45	6	3	2	1	0	13		12	1	16	2	2					
廃油	4	0	4	1	0		0	0		3		3	0	3							
一般廃油	2	0		1	0		0	0		1		1	0	1							
廃溶剤	0	0		0	0					0		0	0	0							
その他	2			2	1					1		1	0	1							
廃酸	1			1						1		1		1							
廃アルカリ	2			2	0		0	0		2		2		2							
廃プラスチック類	8	0	8	0	0	0	0	0		8		7	1	8							
廃プラスチック	6	0	6	0	0	0	0	0		6		5	1	6							
廃タイヤ	2	0	2							2		2		2							
紙くず	12	0	11	10						1		1	0	1							
木くず	24	0	24	6	0	0	0			18		17	0	18							
繊維くず	0		0							0		0	0	0							
動植物性残さ	3	1	1							1		1		1							
動物系固形不要物	2		2							2		2		2							
ゴムくず	0		0							0		0	0	0							
金属くず	7	4	3							3		3	0	3							
ガラス陶磁器くず	3	3	3	1	0		0			3		1	2	3							
紙さい	8	1	7							7		4	3	7							
がれき類	149		149	3	2	2	1			145	1	143	1	144							
コンクリート片	70		70	3	1	1				68	1	67	0	67							
廃アスファルト	76		76	1	0	0				75		75	0	75							
その他	3		3							3		2	1	3							
ばいじん	32		32							32		29	3	32							
その他の産業廃棄物	5	0	5	0	0		0			5		4	0	5							
感染性廃棄物	2		2							2		2		2							
混合物等	3	0	3	0	0		0			3		2	0	3							

表4-4-1 発生量及び処理・処分状況（秋田市 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分	委託処理量			委託中間処理量						委託直接最終処分量			委託先地域の内訳					委託主体の内訳		再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	(K) (0+L)	(処理主体の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(M)	(N1)	(N2)	(処理先地域の内訳)		(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)			
		業者	自治体		業者	自治体				県内	県外													自己処分	委託処分	
		(0+L)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	
合計	297	44	13	31	40	5	253	250	3	201	52	233	220	13	225	60	2	58	233							
燃え殻	35	31	6	25	30	2	4	4		0	4	6	4	2	4	33		33							4	
汚泥	32	3	2	1	3		29	28	2	17	12	20	16	4	19	9	2	7								19
有機性汚泥	19	2	2	0	2		17	15	2	7	10	14	14	0	14	2		2								14
無機性汚泥	13	1	0	0	1		13	13		11	2	6	3	4	5	7	2	4								5
廃油	3	0	0	0	0		3	3		2	0	0	0	0	0	0		0								1
一般廃油	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	0		0								1
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0								1
その他	1	0	0		0		1	1		1	0	0	0	0	0	0		0								0
廃酸	1						1	1		0	0	0	0	0	0	0		0								0
廃アルカリ	2						2	2		2	1	0	0	0	0	0		0								0
廃プラスチック類	8	1	0	1	1		7	7	0	6	0	4	3	1	3	2		2								3
廃プラスチック	6	1	0	1	1		5	5	0	5	0	2	2	1	2	2		2								2
廃タイヤ	2						2	2	0	1	0	2	2	0	2	0		0								2
紙くず	1	0	0	0	0		1	1		1		1	1	0	1	0		0								1
木くず	18	0	0	0	0		17	17		17	0	17	17	0	17	0		0								17
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0								0
動植物性残さ	1						1	0	1	1		0	0	0	0	0		0								1
動物系固形不要物	2						2	2		2	2	2	2	1	2	1		1								2
ゴムくず	0	0					0	0		0		0	0	0	0	0		0								0
金属くず	3	0	0	0	0		3	3	0	3	0	3	2	0	2	0		0								7
ガラス陶磁器くず	3	2	1	1	2	0	1	1		1	0	1	1	0	1	2		2								1
紙さい	7	3		3	3		4	4		0	4	4	4	0	4	3		3								5
がれき類	144	1	1	0	1		143	143		142	1	143	140	3	142	4		4								142
コンクリート片	67	0	0	0	0		67	67		67	0	67	64	3	66	3		3								66
廃アスファルト	75	0	0	0	0		75	75		73	1	75	74	0	75	0		0								75
その他	3	1	1	0	1		2	2		2	0	2	2	0	2	1		1								2
ばいじん	32	3	3	0	0		29	29		3	25	29	28	1	28	4		4								28
その他の産業廃棄物	5	0	0	0	0		4	4		4	0	2	1	1	1	2		2								1
感染性廃棄物	2						2	2		2	0	0	0	0	0	0		0								0
混合物等	3	0	0	0	0		2	2		2	0	2	1	1	1	2		2								1

(その2)

(単位：千t/年)

表4-4-2 発生量及び処理・処分状況（県北地域 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分 種類	(その1)										(単位：千t/年)									
	発生量			有償物量			自己中間処理量				自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量		
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1) 再生利用量	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他量	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量									(E5) その他量	県内	県外
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)			
合計	956	117	839	104	10	3	5	1		735	0	118	481	136	0	741	118	118		
燃え殻	34	0	34		0	0	0	0		34			19	15		34				
汚泥	204	94	109	87	5	2	2	1		23	0		10	12		25				
有機性汚泥	83		83	81	4	2	1	1		3	0		1	2		5				
無機性汚泥	120	94	26	6	2	1	1	0		20			9	11		21				
廃油	2	0	2	0	0	0	0	0		2			2	0		2				
一般廃油	1	0	1	0	0	0	0	0		1			1	0		1				
廃溶剤	1		1							1			1			1				
その他	0		0							0			0	0		0				
廃酸	1	0	1							1			1			1				
廃アルカリ	1	0	1							1			1			1				
廃プラスチック類	14	3	11	0	0	0	0			11			10	1	0	11				
廃プラスチック	13	3	10	0	0	0	0			10			8	1		10				
廃タイヤ	1	0	1	0	0	0	0			1			1	0		1				
紙くず	1		1							1			1	0		1				
木くず	27	5	21	11	0	0				11			11	0		11				
繊維くず	0		0							0			0	0		0				
動植物性残さ	6		6							6			6			6				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0							0			0	0		0				
金属くず	8	5	3	0	0		0			3			2	0		3				
ガラス陶磁器くず	9		9	4	3		3			6			4	1		9				
紙さい	136		136							136			0	18		136	118	118		
がれき類	100		100	2	1	1				98	0		96	1		97				
コンクリート片	48		48	2	1	1				46	0		46	0		46				
廃アスファルト	50		50	1	0	0				49			49	0		49				
その他	2		2							2			1	1		2				
ばいじん	121	8	113							113			56	56		113				
その他の産業廃棄物	291	0	291	0						291			260	31		291				
感染性廃棄物	1		1							1			1			1				
混合物等	290	0	290	0						290			259	31		290				

表4-2 発生量及び処理・処分状況（県北地域 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託中間処理量										委託直接最終処分量			委託先地域の内訳				委託主体の内訳			再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
		(O)		(L)		自治体		県内		県外		(M)		再生利用後の処理内訳		(R)		(Q)		(S)		(J)						
		(O+L)												(M1)		(M2)		(E1+G1+M1)		(1+O+M2)		(E5+G5)		(S)				
合計	623	137	39	98	137	0	486	484	1	166	320	468	457	11	461	266	118	148	0	0	0	0	578					
燃え殻	34	15	2	13	15		19	19		5	14	20	19	1	19	16		16					19					
汚泥	25	13	13	0	13		12	11	1	12	1	6	1	5	4	18		18					98					
有機性汚泥	5	2	2	0	2		2	1	1	2	0	0	0	0	2	3		3					2					
無機性汚泥	21	11	11	0	11		10	10		10	0	6	1	5	2	16		16					96					
廃油	2	0	0	0	0		2	2	0	2	0	0	0	0	0	0		0					1					
一般廃油	1	0	0	0	0		1	1	1	1	0	0	0	0	0	0		0					0					
廃溶剤	1						1	1		1		0	0	0	0	0		0					0					
その他	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0					0					
廃酸	1						1	1		1	0												0					
廃アルカリ	1						1	1		1	0												0					
廃プラスチック類	11	1	1	0	1		10	10	0	4	6	3	2	1	2	2		2					5					
硬プラスチック	10	1	1	0	1		8	8	0	3	5	2	1	1	1	2		2					4					
廃タイヤ	1						1	1		1	0	1	1	0	1	0		0					1					
紙くず	1	0	0	0	0		1	1		1		1	1	0	1	0		0					1					
木くず	11	0	0	0	0		11	11	0	11	0	10	10	0	10	0		0					15					
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0					0					
動植物性残さ	6						6	6	0	3	3	6	6		6								6					
動物系固形不要物																												
ゴムくず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0					0					
金属くず	3	0	0	0	0		2	2	2	2	0	2	2	0	2	0		0					8					
ガラス陶磁器くず	9	1	0	1	1		8	8	8	8	0	8	7	0	7	1		1					7					
紙さい	18	18	18	0	18		0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	118	18										
がれき類	97	1	1	0	1		96	96	96	96	1	96	94	2	96	3		3					96					
コンクリート片	46	0	0	0	0		46	46	46	46		46	44	2	45	2		2					45					
廃アスファルト	49	0	0	0	0		49	49	49	49	1	49	49	0	50	0		0					50					
その他	2	1	1	0	1		1	1	1	1	0	1	1	0	1	1		1					1					
ばいじん	113	56	4	53	56		56	56	56	16	40	56	56	56	56	56		56					65					
その他の産業廃棄物	291	31	0	31	31		260	260	0	5	255	259	258	0	258	31		31					258					
感染性廃棄物	1						1	1		1	0	0	0	0	0	0		0					0					
混合物等	290	31	0	31	31		259	259	0	4	255	259	258	0	258	31		31					258					

(その2)

(単位：千t/年)

表4-4-3 発生量及び処理・処分状況（県央地域 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分 種類	(その1)										自己未処理量					搬出量		自己最終処分量				
	発生量			有償物量			自己中間処理量				自己未処理量			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)								(G3)	(G4)
	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)												
合計	280	54	226	96	7	1	6	0	0	0	131	0	125	5	136							
燃え殻	1	1	1	0	0		0				1		0	1	1							
汚泥	104	0	104	90	4		3	0	0		14		12	1	18							
有機性汚泥	39	0	39	35	3		3	0	0		4		3	1	7							
無機性汚泥	64	0	64	55	1		0	0	0		9		9	0	10							
廃油	7	1	6									0	6	0	6							
一般廃油	3	0	3								3	0	3	0	3							
廃溶剤	0	0	0								0		0	0	0							
その他	4	1	3								3		3	0	3							
廃酸	1	1	1								1		1		1							
廃アルカリ	2	0	2								2		2		2							
廃プラスチック類	8	0	8	0	0	0	0				8		7	1	8							
廃プラスチック	7	0	7	0	0	0	0				7		6	1	7							
廃タイヤ	1	1	1	0	0	0	0				1		1		1							
紙くず	0	0	0								0		0	0	0							
木くず	57	47	10	2	0	0	0				8		8	0	9							
繊維くず	0	0	0								0		0	0	0							
動植物性残さ	0	0	0								0		0		0							
動物系固形不要物																						
ゴムくず	0	0	0								0		0	0	0							
金属くず	8	6	2	0	0	0	0				2		2	0	2							
ガラス陶磁器くず	8	0	8	2	2		2				6		6	1	8							
紙さい																						
がれき類	82		82	2	1	1					80	0	79	0	80							
コンクリート片	39		39	1	1	1					38	0	37	0	37							
廃アスファルト	41		41	0	0	0					41	0	41	0	41							
その他	1		1								1	0	1	0	1							
ばいじん																						
その他の産業廃棄物	2	0	1								1		1	0	1							
感染性廃棄物	1		1								1		1		1							
混合物等	1	0	1								1		1	0	1							

(単位：千t/年)

表4-3 発生量及び処理・処分状況（県央地域 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分	委託処理量 (K) (O+L)	委託中間処理量										委託直接最終処分量			委託先地域の内訳			委託主体の内訳			再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
		(O)		(L)		自治体		県内		県外		(M)		(委託処理後の処理内訳) 再生利用量 (M1)		(委託処理後の処理内訳) 最終処分量 (M2)		(O)		(R) (E1+G1+M1)		(Q) (1+O+M2)		(J) (E5+G5)		(S) (B+R)	
		(O+L)																									
		(K)	(O+L)	(O)	(L)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(O)	(R)	(Q)	(J)	(S)	(B+R)					
合計	136	6	4	1	6	0	0	131	125	5	11	114	105	8	107	14	14	0	0	161							
燃え殻	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0							
汚泥	18	2	2	0	2	0	0	16	10	5	3	6	4	2	4	4	0	0	0	4							
有機性汚泥	7	1	1	0	1	0	0	6	1	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0							
無機性汚泥	10	1	1	0	1	0	0	9	9	0	3	5	3	2	3	3	0	0	0	0							
廃油	6	0	0	0	0	0	0	6	6	6	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0							
一般廃油	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
その他	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2							
廃酸	1							1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃アルカリ	2							2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃プラスチック類	8	1	0	0	1	0	0	7	7	6	1	6	5	2	5	2	2	0	0	2							
廃プラスチック	7	1	0	0	1	0	0	6	6	5	1	6	4	1	4	2	2	0	0	2							
廃タイヤ	1							1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0							
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
木くず	9	0	0	0	0	0	0	9	9	8	0	8	8	0	8	0	0	0	0	0							
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
動植物性残さ	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
動物系固形不要物																											
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
金属くず	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0							
ガラス陶磁器くず	8	1	0	1	1	0	0	7	7	7	0	7	7	0	7	1	1	0	0	0							
細さい																											
がれき類	80	0	0	0	0	0	0	79	79	78	1	79	77	2	79	2	2	0	0	2							
コンクリート片	37	0	0	0	0	0	0	37	37	37	0	37	36	2	37	2	2	0	0	2							
廃アスファルト	41	0	0	0	0	0	0	41	41	40	1	41	41	0	41	0	0	0	0	0							
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0							
ばいじん																											
その他の産業廃棄物	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1							
感染性廃棄物	1							1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
混合物等	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1							

(その2)

(単位：千t/年)

表4-4-4 発生量及び処理・処分状況（県南地域 種類別：変換）＜令和2年度＞

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量						自己未処理量						搬出量		自己最終処分量			
				自己中間処理量			自己中間処理後の処理内訳			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	（自己未処理の処理内訳）			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	（処理先地域の内訳）	
				自己中間処理量 (D)	自己最終 処分量 (E)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)			県内	県外								
														(E)						(E)	(E)
合計	277	6	271	90	7	3	1	0	181	1	173	8	0	185							
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
汚泥	93		93	83	3	0	1	0	10	0	8	3		13							
有機性汚泥	83		83	80	3	0	1	0	3		1	2		6							
無機性汚泥	11		11	3	1	0	0	0	7	0	7	0		8							
廃油	3	0	3	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2							
一般廃油	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2							
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
その他	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃酸	1		1						1		1			1							
廃アルカリ	3		3						3		3			3							
廃プラスチック類	8	0	8	1	1	1	0	0	6		4	2	0	6							
廃プラスチック	7	0	6	1	1	1	0	0	5		3	2	0	5							
廃タイヤ	1	0	1						1		1	0	0	1							
紙くず	0	0	0						0		0	0	0	0							
木くず	13	0	13	0	0	0			13		13	0	0	13							
繊維くず	0	0	0						0		0	0	0	0							
動植物性残さ	3	0	3						3		3			3							
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0	0	0						0		0	0	0	0							
金属くず	8	6	3	0	0	0	0	0	3		2	0	0	3							
ガラス陶磁器くず	9	9	9	1	1				8		7	1		9							
紙さい	0	0	0						0		0	0	0	0							
がれき類	129		129	3	1	1			126	1	125	1		125							
コンクリート片	61		61	2	1	1			59	1	58	0		58							
廃アスファルト	66		66	1	0	0			65		65	0		65							
その他	2		2						2		2	1		2							
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	6	0	6	0	0	0			6		6	0	0	6							
感染性廃棄物	1		1						1		1			1							
混合物等	5	0	5	0	0	0			5		5	0	0	5							

(単位：千t/年)

表4-4 発生量及び処理・処分状況（県南地域 種類別：変換）＜令和2年度＞

区 分 種 類	(その2)																					資源化量 その他量					
	委託処理量 (K) (O+L)		委託直接最終処分量						委託中間処理量						委託中間処理後量					再生利用量				最終処分量			
	(O)	(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳) 再生利用量	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (1+O+M2)	(O1)	(O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)											
			業者	自治体	県内	県外											業者	自治体	県内	県外							
	(O+L)	(O)	(L)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M)	業者	自治体	県内	県外	(M1)	(M2)	(R)	(Q)	(O1)		(O2)	(J)	(S)		
合計	185	9	5	3	9	0	176	176	0	168	8	165	157	8	161	17	17	0	0	0	0	0	0	0	166		
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
汚泥	13	3	2	1	3	0	10	10	0	8	2	6	3	3	3	6	6	3	3	3	6	6	6	3	3		
有機性汚泥	6	3	2	1	3	0	3	3	0	2	1	1	1	0	2	3	3	1	2	3	3	3	3	2	2		
無機性汚泥	8	1	0	0	1	0	7	7	0	6	1	4	2	3	2	3	3	0	2	3	3	3	3	2	2		
廃油	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1		
一般廃油	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1		
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃酸	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
廃プラスチック類	6	2	2	0	2	0	4	4	0	3	1	3	2	1	3	3	3	2	1	3	3	3	3	0	3		
廃プラスチック	5	2	2	0	2	0	3	3	0	2	0	2	1	1	2	2	2	1	1	2	2	2	2	0	2		
廃タイヤ	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1		
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	13	0	0	0	0	0	13	13	0	13	0	12	12	0	12	0	0	12	0	12	0	0	0	0	12		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属くず	3	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	2	2	2	0	0	0	0	8		
ガラス陶磁器くず	9	1	0	1	1	0	8	8	0	8	0	8	8	0	8	1	8	8	8	8	1	1	1	1	8		
細さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
がれき類	125	1	1	0	1	0	125	125	0	123	1	125	122	3	124	4	124	122	3	124	4	4	4	0	124		
コンクリート片	58	0	0	0	0	0	58	58	0	58	0	58	56	3	57	3	57	56	3	57	3	3	3	0	57		
廃アスファルト	65	0	0	0	0	0	65	65	0	64	1	65	65	0	65	0	65	65	0	65	0	0	0	0	65		
その他	2	1	1	0	1	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	1	2	2	0	2	1	1	1	0	2		
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他の産業廃棄物	6	0	0	0	0	0	6	6	0	5	0	5	4	0	4	1	4	4	4	4	1	1	0	0	4		
感染性廃棄物	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1		
混合物等	5	0	0	0	0	0	5	5	0	5	0	5	4	0	4	1	4	4	4	4	1	1	0	0	4		

表5-1 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜令和2年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量							
				自己中間処理量				自己未処理の処理内訳				自己最終処分の処理内訳							
				再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)		自己中間処理後の処理内訳		再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	自己未処理の処理内訳		再生利用量 (I1)	自己最終処分量 (I2)		再生利用量 (K1)	自己最終処分の処理内訳		
					(E)	(E3)	委託中間処理量 (E4)	その他量 (E5)			(G)	(G3)		委託中間処理量 (G4)	その他量 (G5)		(H)	(H+K+J)	(I)
業種	2,524	184	2,340	1,038	73	12	2	31	28	0	1,302	2	118	1,014	168	0	1,361	120	120
建設業	546	0	545	11	5	5	0	0	0	0	534	2	0	516	16	0	532	0	0
製造業	854	79	775	491	26	1	2	21	2	0	284	0	118	132	34	0	309	120	120
食料品	33	1	31	18	1	0	0	0	0	0	14	0	0	13	1	0	15	0	0
飲料・飼料	4	0	4	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
繊維	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
木材	83	52	31	18	1	0	0	0	0	0	13	0	0	7	6	0	13	0	0
家具	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルプ・紙	452	0	452	419	12	0	0	12	1	0	33	0	0	32	1	0	46	0	0
印刷	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0
化学	11	0	11	7	3	0	2	0	0	0	4	0	0	4	0	0	7	2	2
石油・石炭	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
プラスチック	6	1	5	1	1	1	0	0	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	37	0	37	15	7	0	7	1	0	0	22	0	0	21	0	0	29	0	0
鉄鋼	10	1	9	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	5	4	0	9	0	0
非鉄金属	145	2	143	0	0	0	0	0	0	0	143	0	118	8	18	0	143	118	118
金属	10	5	4	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0
はん用機器	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
生産用機器	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
業務用機器	10	3	7	3	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	5	0	0
電子部品	28	4	24	4	1	1	0	1	0	0	20	0	0	20	0	0	21	0	0
電気機器	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送機器	8	4	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
電気・水道業	1,098	103	995	535	42	6	0	10	26	0	460	0	344	116	0	0	496	0	0
電気業	564	103	461	8	0	0	0	0	0	0	454	0	337	116	0	0	454	0	0
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水道業	93	0	93	91	4	4	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	3	0	0
下水道業	441	0	441	437	37	2	0	10	25	0	4	0	4	0	0	0	39	0	0
その他の業種	26	2	24	0	0	0	0	0	0	0	23	0	23	1	0	0	24	0	0

表5-1 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜令和2年度＞

(単位：千t/年)

業種	委託処理量										委託中間処理量										委託最終処分量			再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量
	(K)		(O+L)		(O)		(L)		(業者)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)		(委託処理後の処理内訳)		(R)	(0)	(1+O+M2)	(01)	(02)	(J)	(S)	(B+R)					
	(K)	(O+L)	(O)	(L)	(L)	(業者)	自治体	県外	県内	自治体	県外	(M)	(M1)	(M2)	(0)	(1)	(2)	(E1+G1+M1)									(E5+G5)				
	1,241	532	196	62	134	191	5	1,045	1,035	10	655	390	981	940	41	954	357	120	236	0	1,138										
建設業	189	36	29	7	36	0	153	151	2	82	72	117	107	10	108	167	120	47	0	490	40	40	0	0	490						
製造業	15	1	0	1	1	1	14	13	0	8	6	12	10	1	10	3	3	3	0	10	3	3	0	0	12						
食品	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1						
飲料・飼料	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
繊維	13	6	6	0	6	0	8	8	0	8	8	8	7	1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	59						
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
家具	46	2	2	2	2	2	44	44	3	41	43	43	43	0	43	2	2	2	2	43	2	2	2	2	43						
パルプ・紙	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2						
印刷	4	0	0	0	0	0	4	4	4	4	0	1	1	0	1	3	2	1	1	1	3	2	1	1	1						
化学	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
石油・石炭	4	1	1	0	1	0	3	3	0	0	3	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0						
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
窯業・土石	29	1	1	1	1	1	28	28	25	3	27	26	26	0	26	1	1	1	1	26	1	1	1	1	27						
窯業	9	4	1	4	4	4	5	5	1	4	4	4	4	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5						
鉄鋼	25	18	18	0	18	0	8	8	7	0	3	1	1	3	1	138	118	20	20	1	138	118	20	20	2						
非鉄金属	3	1	0	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6						
金属	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1						
はん用機器	3	0	0	0	0	0	3	3	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5						
生産用機器	5	0	0	0	0	0	5	5	1	4	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	3						
業務用機器	21	0	0	0	0	0	20	20	12	8	11	9	9	2	9	3	3	3	9	3	3	3	3	3	13						
電子部品	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1						
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
情報通信機器	3	0	0	0	0	0	3	3	3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5						
輸送機器	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
その他	496	142	20	122	137	5	354	346	8	43	310	344	340	3	346	145	145	145	0	490	40	40	0	0	449						
電気・水道業	454	116	20	96	112	5	338	338	28	309	335	334	334	1	334	117	117	117	0	437	0	0	0	0	437						
電気業	3	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6						
ガス業	39	25	25	25	25	25	13	5	8	12	1	6	4	2	6	27	27	27	0	6	27	27	27	27	6						
水道業	24	1	1	1	1	1	23	23	0	19	3	13	10	3	10	4	4	4	0	10	4	4	4	4	12						
下水処理	24	1	1	1	1	1	23	23	0	19	3	13	10	3	10	4	4	4	0	10	4	4	4	4	12						
その他の業種																															

表5-2 発生量及び処理・処分状況（秋田市 業種別）＜令和2年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

区分業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (1) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外		
				自己中間処理後量			自己未処理量			自己未処理の処理内訳			自己未処理の処理内訳							
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(G)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(I)					(J)
合計	1,011	7	1,004	749	50	2	17	25		255	1	236	19	300	2	2				
建設業	175	0	174	4	2	0	0	0		171	1	165	5	170						
製造業	521	6	515	447	16	0	13	0		67		59	8	83	2	2				
食品	13	1	12	9	0	0	0	0		3		3	0	3						
飲料・飼料	3	0	3	3	0	0	0	0		0		0	0	0						
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0	0						
木材	18	18	18	6	0	0	0	0		11		7	4	12						
家具																				
パルプ・紙	450	1	450	418	12	0	12	0		32		32	0	44						
印刷	1	0	1	1	0	0	0	0		1		1	0	1						
化学	9	0	9	6	3	0	2	0		3		3	0	5	2	2				
石油・石炭																				
プラスチック																				
ゴム																				
皮革																				
窯業・土石	2	2	2	1	0	0	0	0		1		1	0	1						
鉄鋼	8	1	7	7						7		4	3	7						
非鉄金属	4	0	4	4						4		4	0	4						
金属	3	2	1	1						1		1	1	1						
はん用機器	0	0	0	0						0		0	0	0						
生産用機器	0	0	0	0						0		0	0	0						
業務用機器	2	0	2	2	0	0	0	0		0		0	0	0						
電子部品	5	5	5	3	0	0	0	0		2		2	0	2						
電気機器																				
情報通信機器	0	0	0	0						0		0	0	0						
輸送機器	1	1	1	0						0		0	0	0						
その他	1	1	1	1						1		1	0	1						
電気・水道業	304		304	298	32	3	4	25		6		2	5	36						
電気業	13		13	8	0	0	0	0		5		1	5	6						
ガス業																				
上水道業	37		37	37	3	3	4	25		1		1	0	30						
下水道業	253		253	253	29	0	0	0		10		10	0	11						
その他の業種	12	1	11	0	0	0	0	0		0		0	0	0						

表5-2 発生量及び処理・処分状況（秋田市 業種別）＜令和2年度＞

業種	委託処理量 (その2)													委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
	(K) (O+L)	(O)			(L)	(業者)			(自治体)			(県外)			(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	(O1)	(O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)					
		(処理主体の内訳)				(処理主体の内訳)			(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)																
		業者	自治体	県外		業者	自治体	県外	業者	自治体	県外	県内	県外	県内										県外				
合計	297	44	13	31	40	5	253	250	3	201	52	233	220	13	225	60	2	58	233									
建設業	170	5	4	2	5	0	165	165		163	2	162	154	8	157	13		13	157									
製造業	81	9	5	4	9	0	72	70	1	23	49	62	58	4	58	15	2	13	64									
食品	3	0	0	0	0	0	3	3		1	2	3	2	1	2	1		1	3									
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0									
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0									
木材	12	4	4	0	4	0	7	7		7	0	7	6	1	6	5		5	6									
家具																												
パルプ・紙	44	0	0		0		44	44		3	41	43	43	0	43	0		0	43									
印刷	1	0	0		0		1	1		1	0	1	1	0	1	0		0	1									
化学	3	0	0		0		3	3		2	0	1	0	0	0	0		0	1									
石油・石炭																												
プラスチック																												
ゴム																												
皮革																												
窯業・土石	1						1	1		1	1	1	0	0	0	0		0	0									
鉄鋼	7	3	0	3	3	0	4	4		0	4	4	4	0	4	3		3	5									
非鉄金属	4	0	0	0	0	0	4	4		3	0	1	0	0	1	0		1	0									
金属	1	1	1	1	1	1	1	1		1	0	0	0	0	0	0		1	2									
はん用機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0									
生産用機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0									
業務用機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0									
電子部品	2			2	2	0	2	2		2	0	1	1	0	1	0		0	1									
電気機器																												
情報通信機器	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0									
輸送機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0									
その他	1						1	1		1	1	0	0	0	0	0		0	0									
電気・水道業	36	30	5	25	25	5	6	4	2	6	0	4	3	0	6	30		30	6									
電気業	6	5	5	0	0	5	1	1		1	0	0	0	0	0	5		5	0									
ガス業																												
上水道業																												
下水道業	30	25	25	25	25		5	3	2	5	1	3	3	0	3	26		26	3									
その他の業種	11	0	0	0	0	0	10	10	0	9	1	6	4	2	4	2		2	5									

(単位：千t/年)

表5-3 発生量及び処理・処分状況（県北地域 業種別）＜令和2年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量			
				自己中間処理量 (D)	再生利用量 (E)	自己最終 処分量 (E2)	(自己中間処理後の処理内訳)			自己未処理量 (G)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)			搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (1) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
							委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)				委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外
合計	956	117	839	104	10	3	5	1	1	118	481	136	0	741	118	118			
建設業	120	0	120	2	1	1	0			118	113	4		117					
製造業	204	14	190	27	4	0	3	1		163	25	21		168	118	118			
食品	13	0	13	6	0		0	0		7	6	0		7					
飲料・飼料	0	0	0							0	0			0					
繊維	16	5	10	10	0		0			0	0			0					
木材	1	1	1	1	0		0	0		0	0			0					
家具	2	2	2	2	1		1	1		1	1			2					
パルプ・紙	1	1	1							1	1			1					
印刷	2	0	2	0	0		0			2	1	0		2					
化学	0	0	0							0	0			0					
石油・石炭	3	1	3							3	3	0		3					
プラスチック	0	0	0							0	0			0					
ゴム	12	8	12	3	0		3	0		3	3			7					
皮革	1	1	1							1	1			1					
窯業・土石	141	2	139	0	0	0				139	118	18		139	118	118			
鉄鋼	2	2	2							0	0			0					
はん用機器	1	0	1							1	1	0		1					
生産用機器	7	3	4							4	4			4					
業務用機器	1	0	1							1	1	0		1					
電子部品	1	0	1							1	1	0		1					
電気機器	0	0	0							0	0			0					
情報通信機器	0	0	0							0	0			0					
輸送機器	0	0	0							0	0			0					
その他	0	0	0							0	0			0					
電気・水道業	626	103	523	75	4	2	2			448	0	112		450					
電気業	551	103	448							448	337	112		448					
ガス業	2	2	2	2	1	1	1			0	0			1					
上水道業	73	73	73	3	2	2	1			0	0			1					
下水道業	6	0	5	0	0	0	0			5	5	0		5					
その他の業種																			

表5-3 発生量及び処理・処分状況（県北地域 業種別）＜令和2年度＞

業種	委託処理量 (その2)													再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量			委託中間処理量			委託中間処理後量			(M)	(R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)						
	(K) (O+L)		(O)	委託主体の内訳		(加処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)					(01) (02)	(0)		(S)					
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量											
合計	623	137	39	98	137	0	486	484	1	166	320	468	457	11	461	118	148	0	578		
建設業	117	4	2	1	4	0	113	113	1	112	1	111	106	5	108	9	9	0	108		
製造業	50	22	21	1	22		29	28	0	20	9	19	15	3	15	143	118	25	29		
食料品	7	0	0	0	0		6	6	0	4	3	6	6	0	6	0	0	0	6		
飲料・飼料	0																				
繊維	0						0	0	0	0		0	0	0	0			0			
木材	0						0	0	0	0		0	0	0	0			0	5		
家具	0						0	0	0	0		0	0	0	0			0	0		
パルプ・紙	2	2	2		2										2		2				
印刷	1						1	1	1	1		1	1	0	1	0	0	0	1		
化学	2	0	0		0		1	1	1	0		0	0	0	0	0	0	0	1		
石油・石炭	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
プラスチック	3	0	0		0		3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1		
ゴム	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
皮革																					
窯業・土石	7	0	0		0		7	7	7	7		7	7	0	7	0	0	0	7		
鉄鋼	1	1	1	0	1		0	0	0	0		0	0	0	0	1	1	0	0		
非鉄金属	21	18	18		18		4	4	4	4		2	0	2	1	137	118	19	2		
金属	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	2		
はん用機器																					
生産用機器	1	0	0		0		1	1	1	0		1	1	0	1	0	0	0	1		
業務用機器	4		4		4		4	4	4	3		1	1	1	1	1	1	1	3		
電子部品	1	0	0		0		1	1	1	1		0	0	0	0	0	0	0	0		
電気機器	1	0	0		0		1	1	1	1		0	0	0	0	0	0	0	0		
情報通信機器	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
輸送機器	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
電気・水道業	450	112	15	96	112		339	337	1	29	309	335	334	2	336	113	113	0	439		
電気業	448	112	15	96	112		337	337		27	309	334	334	1	334	113	113	0	436		
ガス業																					
上水道業	1	0	0	0	0		1	1	1	1		1	0	1	1	1	1	0	1		
下水道業	1						1	0	1	1		0	0	0	2	0	0	0	2		
その他の業種	5	0	0	0	0		5	5	0	4	1	3	2	1	2	1	1	0	3		

(単位：千t/年)

表5-4 発生量及び処理・処分状況（県央地域 業種別）＜令和2年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

区分業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (1) (E2+G2)	（処理先地域の内訳）						
				自己中間処理量			自己中間処理後量			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	（自己未処理の処理内訳）			再生利用量 (G1)			自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内	県外	
				自己中間処理量	排出量	有価物量	自己中間処理後量	（自己中間処理後の処理内訳）				（自己未処理の処理内訳）												
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己最終 処分量 (G2)										委託中間 処理量 (G3)
合計	280	54	226	96	7	1	1	0	0	0	0	131	0	125	5	136								
建設業	98	0	98	2	1	1						96	0	93	3	96								
製造業	91	54	37	9	3			0			28	0	26	2	32									
食料品	3	0	3	1	1			1			1	0	1	0	2									
飲料・飼料	0	0	0								0	0	0	0	0									
繊維	0	0	0								0	0	0	0	0									
木材	50	47	3	2	0			0			1	1	0	1	2									
家具	0	0	0								0	0	0	0	0									
パルプ・紙																								
印刷																								
化学																								
石油・石炭	1		1								1			1										
プラスチック																								
ゴム																								
皮革																								
窯業・土石	11		11	4	2			2			6	0	6	0	8									
鉄鋼																								
非鉄金属																								
金属	3	1	2	1	0			0			1	0	1	0	1									
はん用機器	0		0								0	0	0	0	0									
生産用機器	3	2	1								1	0	1	0	1									
業務用機器	0	0	0	0	0			0			0	0	0	0	0									
電子部品	19	4	15	1	0			0			15	0	15	0	15									
電気機器	0	0	0								0	0	0	0	0									
情報通信機器	0	0	0								0	0	0	0	0									
輸送機器	2	0	2								2	0	2	0	2									
その他																								
電気・水道業	88		88	85	3			2			3	0	3	0	6									
電気業																								
ガス業																								
上水道業	52		52	51	0			0			0	0	0	0	1									
下水道業	36		36	34	2			2			3	0	3	0	5									
その他の業種	3	0	3	0	0			0			3	0	3	0	3									

表5-4 発生量及び処理・処分状況（県央地域 業種別）＜令和2年度＞

業種	委託処理量 (その2)										委託中間処理量				委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)			再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)		(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	(O1)	(O2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)					
	(K) (O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外														
	(K) (O+L)	(O)	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(J)	(S)								
合計	136	6	4	1	6	0	131	125	5	120	11	114	105	8	107	14	14	0	161					
建設業	96	3	2	1	3	0	93	93		92	1	91	87	4	88	7	7		88					
製造業	32	2	2	0	2	0	29	29		20	9	19	17	2	17	5	5		71					
食品	2	0	0	0	0	0	2	2		1	1	1	1	0	1	0	0		1					
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0																		
繊維	0	0	0	0	0	0																		
木材	2	1	1	1	1	0	0	0		0	0	0	0	0	1	1	1		47					
家具	0																							
パルプ・紙																								
印刷																								
化学																								
石油・石炭	1						1	1		1	0	0	0	0	0	0	0		0					
プラスチック																								
ゴム																								
皮革																								
窯業・土石	8	1	1	1	1	8	8	8		7	1	7	7	7	1	1	1		7					
鉄鋼																								
非鉄金属																								
金属	1	0	0	0	0	0	1	1		0	1	0	0	0	0	0	0		1					
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0					
生産用機器	1	0	0	0	0	0	1	1		1	0	0	0	0	0	0	0		3					
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0					
電子部品	15	0	0	0	0	0	15	15		8	6	9	7	2	7	2	2		11					
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0					
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0					
輸送機器	2	0	0	0	0	0	2	2		2	0	0	0	0	0	0	0		0					
その他																								
電気・水道業	6	0	0	0	0	0	6	6		5	6	1	0	1	0	1	1		0					
電気業																								
ガス業																								
上水道業	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0					
下水道業	5						5	5		5	5	1	1	1	1	1	1		1					
その他の業種	3	0	0	0	0	0	3	3		2	1	2	1	0	1	1	1		1					

表5-5 発生量及び処理・処分状況（県南地域 業種別）＜令和2年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

区分 業種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量						自己未処理量						搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (1) (E2+G2)	（処理先地域の内訳）										
				自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			自己未処理量			自己未処理の処理内訳					再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内	県外				
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(D)	(G)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	再生利用量 (G1)										自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合計	277	6	271	90	7	3	1	0	0	181	1	173	8	0	185													
建設業	153	0	153	3	1	1	0	0	0	150	1	144	5	0	149													
製造業	38	6	33	8	3	1	0	0	0	25	0	22	3	0	27													
食品	4	4	4	2	0	0	0	0	0	3	0	2	1	0	3													
飲料・飼料	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1													
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
木材																												
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
パルプ・紙																												
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
化学																												
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
プラスチック	3	0	3	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1													
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
窯業・土石	13	0	13	2	1	1	1	1	11	12	0	11	0	0	12													
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
金属	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1													
はん用機器	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1													
生産用機器	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1													
業務用機器	2	0	2	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1													
電子部品	4	0	4	1	0	0	0	0	3	3	0	3	0	0	3													
電気機器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1													
情報通信機器																												
輸送機器	5	3	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1													
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
電気・水道業	81		81	78	3	0	2	0	0	2	0	2	0	0	4													
電気業	0		0																									
ガス業																												
上水道業	2		2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2													
下水道業	78		78	78	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2													
その他の業種	5	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	5													

表5-5 発生量及び処理・処分状況（県南地域 業種別）＜令和2年度＞

業種	(K) (O+L)	委託処理量 (その2)												再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (O) (1+O+M2)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)			
		委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)			委託中間処理量 (処理主体の内訳)			委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)			再生利用量		処理主体の内訳							
		(O)	(L)		業者	(M)		県外	県内	県外	(M1)	(M2)	(R)					(O)	(01)	(02)
			自治体	県内		自治体	県内													
合計	185	9	5	3	9	176	176	0	168	8	165	157	8	161	17	0	166			
建設業	149	5	3	1	5	144	144	0	143	1	142	135	7	137	11	0	137			
製造業	27	3	2	2	3	23	23	0	19	5	18	17	1	18	4	0	23			
食品	3	1	0	1	1	2	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1			
飲料・飼料	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1			
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
プラスチック	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1			
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
窯業・土石	12	0	0	0	0	12	12	0	11	1	12	12	0	12	0	0	12			
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金属	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			
はん用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
生産用機器	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
業務用機器	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			
電子部品	3	0	0	0	0	3	3	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1			
電気機器	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1			
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
輸送機器	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
電気・水道業	4	0	0	0	0	4	4	0	3	1	3	3	0	4	0	0	4			
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
上水道業	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	2			
下水道業	2	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	2	0	0	2			
その他の業種	5	0	0	0	0	5	5	0	4	1	3	2	1	2	1	0	3			



表6-1 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜令和3年度＞

種 類	委託処理量 (単位：千t/年)															最終処分量			再生利用量			その他量			資源化量
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(Q) (I+O+M2)	(R) (E1+G1+M1)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)						
	(K) (O+L)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)												
	(O)	業者	自治体	県内	県外	業者		自治体	県内	県外	再生利用量		最終処分量												
	(O+L)	62	134	144	51	1,045	1,035	10	857	188	980	939	41	953	357	120	236	0	1,137						
燃え殻	71	48	39	15	23	23	5	18	29	24	24	5	24	53	2	53	0	24							
汚泥	88	21	2	0	67	59	8	49	18	38	24	14	30	38	2	35	0	124							
有機性汚泥	37	8	1	8	28	20	8	16	12	16	15	1	18	9		9		18							
無機性汚泥	51	13	1	13	38	38	0	32	6	22	8	13	12	29	2	26	0	106							
廃油	13	0	0	0	13	13	0	10	3	3	3	0	3	0	0	0	0	5							
一般廃油	6	0	0	0	6	6	0	5	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2							
廃溶剤	1				1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		0		0							
その他	5	0	0	0	5	5	0	4	1	2	1	0	1	0	0	0	0	2							
廃酸	4				4	4	0	2	2	0	0	0	0	0		0		0							
廃アルカリ	9				9	9	0	4	6	1	1	1	1	1		1		1							
廃プラスチック類	33	5	2	5	28	28	0	19	8	16	12	4	13	9		9	0	16							
廃プラスチック	28	5	2	5	23	23	0	15	7	12	8	4	9	9		9	0	12							
廃タイヤ	5				5	5	0	4	1	5	4	0	4	0		0	0	4							
紙くず	2	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0	2							
木くず	50	0	0	0	49	49	0	49	0	47	46	1	47	1		1		99							
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0							
動植物性残さ	11				11	9	2	7	3	8	8	0	8	0		0		9							
動物系固形不要物	2				2	2	0	2	0	2	2	1	2	1		1		2							
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0							
金属くず	9	0	0	0	9	9	0	8	1	9	8	1	8	1		1	0	30							
ガラス陶磁器くず	29	5	2	5	24	24	0	24	0	24	23	1	23	6		6		23							
紙さい	26	22	18	4	4	4	0	0	4	4	4	0	4	139	118	22		5							
がれき類	446	3	2	3	444	444	0	440	4	444	433	10	440	13		13		440							
コンクリート片	208	0	0	0	208	208	0	208	0	208	199	9	205	9		9		205							
廃アスファルト	230	0	0	0	230	230	0	226	4	230	229	1	230	1		1		230							
その他	8	2	2	0	6	6	0	6	0	6	5	1	5	3		3		5							
ばいじん	145	60	7	53	7	85	85	31	54	85	84	1	84	61		61		92							
その他の産業廃棄物	303	32	1	31	2	271	271	206	65	266	264	2	264	34		34	0	264							
感染性廃棄物	5				5	5	0	4	1	0	0	0	0	0		0		0							
混合物等	299	32	1	31	2	266	266	202	64	266	264	2	264	34		34	0	264							



表6-2 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜令和4年度＞

種類	(単位：千t/年)																														
	委託処理量				委託中間処理量								委託直接最終処分量				委託主体の内訳				再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量
	(K) (O+L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(Q) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(S) (B+R)													
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量			自己処分	委託処分														
(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)	(O)												
合計	1,241	196	62	134	144	51	1,045	1,035	10	857	188	980	939	41	953	357	120	236	0	1,137											
燃え殻	71	48	9	39	33	15	23	23	5	18	29	24	24	5	24	53	0	53	0	24											
汚泥	88	21	19	2	21	0	67	59	9	49	18	38	24	14	30	38	2	35	0	124											
有機性汚泥	37	8	7	1	8	0	29	20	9	17	12	16	15	1	18	9		9		18											
無機性汚泥	51	13	12	1	13	0	38	38		32	6	22	8	13	12	29	2	26	0	106											
廃油	13	0	0	0	0	0	13	13	0	10	3	3	3	0	3	0	0	0	0	5											
一般廃油	6	0	0	0	0	0	6	6	0	5	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2											
廃溶剤	1						1	1	0	1	0	0	0	0	0	0				0											
その他	5	0	0		0		5	5	0	4	1	2	1	0	1	0				2											
廃酸	4						4	4	0	2	2	0	0	0	0	0				0											
廃アルカリ	9						9	9		4	6	1	1	1	1					1											
廃プラスチック類	33	5	3	2	5	0	28	28	0	19	8	16	12	4	13	9		9	0	16											
廃プラスチック	28	5	3	2	5	0	23	23	0	16	7	12	8	4	9	9		9	0	12											
廃タイヤ	5						5	5	0	4	1	4	4	0	4	0		0	0	4											
紙くず	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0	2											
木くず	50	0	0	0	0	0	49	49	0	49	0	47	46	1	47	1		1	0	99											
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0											
動植物性残さ	11						11	9	2	7	3	8	8	0	8	0		0	0	9											
動物系固形不要物	2						2	2	0	2	2	2	2	1	2	1		1	0	2											
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0											
金属くず	9	0	0	0	0	0	9	9	0	8	1	9	8	1	8	1		1	0	30											
ガラス陶磁器くず	29	5	2	3	5	0	24	24	0	24	0	24	23	1	23	6		6	0	23											
紙さい	26	22	18	4	22	0	4	4	0	0	4	4	4	0	4	139	118	22		5											
がれき類	446	3	2	0	3	0	444	444	0	440	4	444	433	10	440	13		13	0	440											
コンクリート片	208	0	0	0	0	0	208	208	0	208	0	208	199	9	204	9		9	0	204											
廃アスファルト	230	0	0	0	0	0	230	230	0	226	4	230	229	1	230	1		1	0	230											
その他	8	2	2	0	2	0	6	6	0	6	0	6	5	1	5	3		3	0	5											
ばいじん	145	60	7	53	53	7	85	85	0	31	54	85	84	1	84	61		61	0	92											
その他の産業廃棄物	303	32	1	31	2	30	271	271	0	206	65	266	264	2	264	34		34	0	264											
感染性廃棄物	5						5	5	0	4	1	0	0	0	0			0	0	0											
混合物等	298	32	1	31	2	30	266	266	0	202	64	266	264	2	264	34		34	0	264											

表6-3 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜令和5年度＞

区分 種類	(その1)										(単位：千t/年)															
	発生量			有償物量			自己中間処理後量				自己中間処理量				自己未処理量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1) 再生利用量	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)									
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量			(E5) その他	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量			(G4) 委託直接 最終処分量	(G5) その他	県内	県外						
合計	2,529	184	2,346	1,044	73	12	28	31	2	1,302	2	118	1,014	168	0	1,361	120	120								
燃え殻	45	0	44	0	27	0	25	2	0	44			22	22		71										
汚泥	1,150	94	1,056	992	33	6	2	22	2	63	0		45	19		90		2								
有機性汚泥	901	91	887	887	24	2	2	21		14	0		8	7		37										
無機性汚泥	249	94	155	106	9	4	2	1	0	49	0		37	12		54		2								
廃油	16	2	14	2	0	0	0	0	0	13	0		13	0		13										
一般廃油	7	1	6	0	0			0		6	0		6	0		6										
廃溶剤	1	1	1	1						1			1			1										
その他	8	1	7	2	0			0		5			5	0		5										
廃酸	4	0	4							4			4			4										
廃アルカリ	9	0	9	0	0			0		9			9			9										
廃プラスチック類	37	3	34	2	1	1	0	0		33			28	5	0	33										
廃プラスチック	33	3	29	2	1	1	0	0		28			23	5	0	28										
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0		5			5	0		5										
紙くず	13	0	12	10				0		2			2	0		2										
木くず	121	52	69	19	1	0		0		49			49	0		50										
繊維くず	0	0	0							0			0	0		0										
動植物性残さ	12	1	11							11			11			11										
動物系固形不要物	2		2							2			2			2										
ゴムくず	0	0	0							0			0	0		0										
金属くず	31	22	9	0	0			0		9			9	0		9										
ガラス陶磁器くず	30	0	30	7	7			7		22			18	5		29										
紙さい	144	1	144							144			4	22		144	118	118								
がれき類	459		459	11	5	5				448	2		444	3		446										
コンクリート片	218		218	8	4	4				210	2		208	0		208										
廃アスファルト	232		232	3	1	1				230			230	0		230										
その他	8		8							8			6	2		8										
ばいじん	153	8	145							145			85	60		145										
その他の産業廃棄物	303	0	303	0	0			0		303			271	32	0	303										
感染性廃棄物	5		5							5			5			5										
混合物等	299	0	298	0	0			0		298			266	32	0	298										

表6-3 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜令和5年度＞

種 類	(単位：千 t / 年)																										
	委託処理量		委託中間処理量										委託直接最終処分量				委託主体の内訳			最終処分量			再生利用量		その他量		資源化量
	(K) (O+L)	(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(Q) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(S) (B+R)	(J) (E5+G5)	(H)						
			業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量			自己処分	委託処分									
	(O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	再生利用量	最終処分量	(R)	(Q)	(O1)	(Q2)	(S)	(J)	(H)	(H)					
合計	1,240	196	62	134	144	51	1,045	1,034	10	857	188	980	939	41	953	357	120	236	0	0	1,137						
燃え殻	71	48	9	39	33	15	23	23	5	18	29	24	6	24	53						24						
汚泥	88	21	19	2	21	0	67	58	9	49	18	38	24	14	30	2	35	0	0	0	124						
有機性汚泥	37	8	7	1	8	0	28	20	9	16	12	16	15	1	18	9	9	9			18						
無機性汚泥	51	13	12	1	13	0	38	38	0	32	6	22	8	13	12	2	26	0	0	0	106						
廃油	13	0	0	0	0	0	13	13	0	10	3	3	3	0	3	0	0	0	0	0	5						
一般廃油	6	0	0	0	0	0	6	6	0	5	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2						
廃溶剤	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
その他	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2						
腐酸	4	0	0	0	0	0	4	4	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃アルカリ	9	0	0	0	0	0	9	9	0	4	6	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1						
廃プラスチック類	33	5	3	2	5	0	28	28	0	20	8	16	12	4	13	9	9	0	0	0	16						
廃プラスチック	28	5	3	2	5	0	23	23	0	16	7	12	8	4	9	9	9	0	0	0	12						
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	1	4	4	0	4	0	0	0	0	0	4						
紙くず	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	2						
木くず	50	0	0	0	0	0	49	49	0	49	0	47	46	1	47	1	1	1	1	1	99						
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
動植物性残さ	11	0	0	0	0	0	11	9	2	7	3	8	8	0	8	0	0	0	0	0	9						
動物系固形不要物	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	1	2	1	1	1	1	1	2						
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
金属くず	9	0	0	0	0	0	9	9	0	8	1	9	8	1	8	1	1	1	1	1	30						
ガラス陶磁器くず	29	5	2	3	5	0	24	24	0	24	0	24	23	1	23	6	6	6	6	6	23						
紙さい	26	22	18	4	22	4	4	4	4	0	4	4	4	0	4	139	118	22	22	22	5						
がれき類	446	3	2	0	3	0	444	444	0	440	4	444	433	10	440	13	13	13	13	13	440						
コンクリート片	208	0	0	0	0	0	208	208	0	208	0	208	199	9	204	9	9	9	9	9	204						
廃アスファルト	230	0	0	0	0	0	230	230	0	226	4	230	229	1	230	1	1	1	1	1	230						
その他	8	2	2	0	2	0	6	6	0	6	0	6	5	1	5	3	3	3	3	3	5						
ばいじん	145	60	7	53	53	7	85	85	0	31	54	85	84	1	84	61	61	61	61	61	92						
その他の産業廃棄物	303	32	1	31	2	30	271	271	0	206	65	266	264	2	264	34	34	34	34	34	264						
感染性廃棄物	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
混合物等	298	32	1	31	2	30	266	266	0	202	64	266	264	2	264	34	34	34	34	34	264						

表7-1 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量				
				再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			再生利用量 (G1)	(自己未処理の処理内訳)			再生利用量 (G1)	(自己最終処分量の処理内訳)			再生利用量 (H)	(処理先地域の内訳)			
					自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		その他量 (G5)	自己最終 処分量 (I)	委託中間 処理量 (I+K+J)		委託直接 最終処分量 (I+K+J)	その他量 (I+K+J)	県内	県外
業種	2,525	184	2,341	1,039	74	12	2	31	28	0	1,301	2	118	1,014	168	0	1,361	120	120	
建設業	546	0	545	11	5	5	0	0	0	0	534	2	516	16	0	532	0	0	0	
製造業	854	79	775	491	26	1	2	21	2	0	284	0	118	132	34	0	309	120	120	
食料品	33	1	31	18	1	0	0	1	0	0	14	0	13	1	0	15	0	0	0	
飲料・飼料	4	0	4	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	
繊維	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
木材	83	52	31	18	1	0	0	0	0	13	0	7	6	0	13	0	0	0	0	
家具	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
パルプ・紙	452	0	452	419	12	0	1	12	0	0	33	0	32	1	0	46	0	0	0	
印刷	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	
化学	11	0	11	7	3	0	2	0	0	0	4	0	4	0	0	7	0	2	2	
石油・石炭	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	
プラスチック	6	1	5	1	1	1	0	0	0	0	4	0	3	1	0	4	0	0	0	
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石	37	0	37	15	7	0	7	1	0	22	0	21	0	29	0	0	0	0	0	
鉄鋼	10	1	9	0	0	0	0	0	0	9	0	5	4	0	9	0	0	0	0	
非鉄金属	145	2	143	0	0	0	0	0	0	143	0	118	8	18	143	118	143	118	118	
金属	10	5	4	1	0	0	0	0	0	3	0	2	1	0	3	0	0	0	0	
はん用機器	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
生産用機器	7	4	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0	0	
業務用機器	10	3	7	3	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	5	0	0	0	0	
電子部品	28	4	24	4	1	1	0	1	0	20	0	20	0	0	21	0	0	0	0	
電気機器	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0	
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
輸送機器	8	4	4	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0	0	
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
電気・水道業	1,100	103	997	537	42	6	10	26	0	461	0	344	117	0	496	0	0	0	0	
電気業	567	103	464	10	0	0	0	0	0	454	0	338	117	0	454	0	0	0	0	
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上水道業	91	0	91	89	5	4	1	0	0	2	0	2	0	0	3	0	0	0	0	
下水道業	442	0	442	438	37	2	10	25	0	4	0	4	0	0	39	0	0	0	0	
その他の業種	25	2	23	0	0	0	0	0	0	23	0	22	1	0	23	0	0	0	0	

表7-1 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜令和3年度＞

業種	委託処理量 (単位：千t/年)													再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						(R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	(01) (02)	(J) (E5+G5)					
		(0)		自治体		県外		(L)	業者		自治体		県外					(M)	(M1)	(M2)		
		(0)	(0)	自治体	県外	業者	自治体		県外	(0)	(0)											
合計	1,241	196	62	134	144	51	1,045	1,035	10	857	188	980	939	41	953	357	120	236	0	1,137		
建設業	532	16	11	5	16	0	516	516	5	511	5	506	483	24	490	40	40			490		
製造業	189	36	29	7	36	0	153	151	2	82	72	117	107	10	108	167	120	7	40	0		
食品	15	1	0	1	1	0	14	13	0	8	6	12	10	1	10	3	3			12		
飲料・飼料	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0			1		
繊維	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		
木材	13	6	6	0	6	0	8	8	0	8	0	8	7	1	7	7	7			59		
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		
パルプ・紙	46	2	2	2	2	0	44	44	3	41	43	43	43	0	43	2	2			43		
印刷	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0			2		
化学	4	0	0	0	0	0	4	4	4	4	0	1	1	0	1	3	2			1		
石油・石炭	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0			0		
プラスチック	4	1	1	0	1	0	3	3	0	3	0	0	0	0	1	1	1			2		
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		
窯業・土石	29	1	1	1	1	1	28	28	3	25	3	27	26	0	26	1	1			27		
鉄鋼	9	4	1	4	4	0	5	5	1	4	4	4	4	0	4	4	4			5		
非鉄金属	25	18	18	0	18	0	8	8	7	0	3	1	1	3	1	138	118	20		2		
金属	3	1	0	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	0	1	1	1			6		
はん用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1		
生産用機器	3	0	0	0	0	0	3	3	2	1	1	1	1	0	1	1	1			5		
業務用機器	5	0	0	0	0	0	5	5	1	4	1	0	0	1	0	1	1			3		
電子部品	21	0	0	0	0	0	20	20	12	8	11	9	9	2	9	3	3			13		
電気機器	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0			1		
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		
輸送機器	3	0	0	0	0	0	3	3	3	1	1	1	1	0	1	0	0			5		
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0			0		
電気・水道業	496	142	20	122	91	51	354	346	8	246	108	343	340	3	346	146	146	146	0	449		
電気業	454	117	20	96	65	51	338	338	231	107	335	334	334	1	334	118	118	0	0	437		
ガス業																						
上水道業	3	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	2	1	6	1	1			6		
下水道業	39	25	25	25	25	0	13	5	8	12	1	6	4	2	6	27	27			6		
その他の業種	23	1	1	0	1	0	22	22	0	19	3	12	9	3	9	4	4			11		

表7-2 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜令和4年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量							
				自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		自己未処理量		自己最終処分量		自己未処理の処理内訳		自己最終処分量					
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(D)	(E)	(G)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)	
																			(D)
業種	2,528	184	2,345	1,043	74	12	2	31	28	0	1,302	2	118	1,014	168	0	1,361	120	120
建設業	546	0	545	11	5	5	0	0	0	0	534	2	516	16	0	532	0	0	0
製造業	854	79	775	491	26	1	2	21	2	0	284	0	118	132	34	0	309	120	120
食料品	33	1	31	18	1	0	0	1	0	0	14	0	13	1	0	15	0	0	0
飲料・飼料	4	0	4	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
繊維	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
木材	83	52	31	18	1	0	0	0	0	0	13	0	7	6	0	13	0	0	0
家具	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パルプ・紙	452	0	452	419	12	0	1	12	0	0	33	0	32	1	0	46	0	0	0
印刷	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0
化学	11	0	11	7	3	0	2	0	0	0	4	0	4	0	0	7	0	2	2
石油・石炭	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
プラスチック	6	1	5	1	1	1	0	0	0	0	4	0	3	1	0	4	0	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	37	0	37	15	7	0	7	1	0	0	22	0	21	0	0	29	0	0	0
鉄鋼	10	1	9	0	0	0	0	0	0	0	9	0	5	4	0	9	0	0	0
非鉄金属	145	2	143	0	0	0	0	0	0	0	143	0	118	8	18	143	118	118	118
金属	10	5	4	1	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1	0	3	0	0	0
はん用機器	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
生産用機器	7	4	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0
業務用機器	10	3	7	3	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	5	0	0	0
電子部品	28	4	24	4	1	1	1	1	0	0	20	0	20	0	0	21	0	0	0
電気機器	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	0
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送機器	8	4	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
電気・水道業	1,104	103	1,001	540	42	6	10	26	0	0	461	0	344	117	0	497	0	0	0
電気業	570	103	467	13	0	0	0	0	0	0	454	0	338	117	0	455	0	0	0
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上水道業	90	0	90	88	5	4	1	0	0	0	2	0	2	0	0	3	0	0	0
下水道業	444	0	444	440	37	2	10	25	0	0	4	0	4	0	0	39	0	0	0
その他の業種	25	2	23	0	0	0	0	0	0	0	23	0	22	1	0	23	0	0	0

表7-2 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜令和4年度＞

業種	委託処理量 (単位：千t/年)													再生利用量			最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量						委託中間処理量						(R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	(01) (02)	(J) (E5+G5)				
		(0)		(L)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(M)	(M1)					(M2)			
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体								県内	県外	
合計	1,241	196	62	134	144	51	1,045	1,035	10	857	188	980	939	41	953	357	120	236	0	1,137	
建設業	532	16	11	5	16	0	516	516	5	511	5	506	483	24	490	40	40	0	0	490	
製造業	189	36	29	7	36	0	153	151	2	82	72	117	107	10	108	167	120	47	0	187	
食品	15	1	0	1	1	0	14	13	0	8	6	12	10	1	10	3	3	3	0	12	
飲料・飼料	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	
繊維	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木材	13	6	6	0	6	0	8	8	0	8	0	8	7	1	7	7	7	7	0	59	
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
パルプ・紙	46	2	2	2	2	0	44	44	3	41	43	43	43	0	43	2	2	2	0	43	
印刷	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	2	
化学	4	0	0	0	0	0	4	4	4	4	0	1	1	0	1	3	2	1	0	1	
石油・石炭	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
プラスチック	4	1	1	0	1	0	3	3	0	3	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石	29	1	1	1	1	1	28	28	3	25	3	27	26	0	26	1	1	1	0	27	
鉄鋼	9	4	1	4	4	0	5	5	1	4	4	4	4	0	4	4	4	4	0	5	
非鉄金属	25	18	18	0	18	0	8	8	7	0	3	3	1	3	1	138	118	20	0	2	
金属	3	1	0	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	6	
はん用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
生産用機器	3	0	0	0	0	0	3	3	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	5	
業務用機器	5	0	0	0	0	0	5	5	1	4	1	0	0	1	0	1	1	1	0	3	
電子部品	21	0	0	0	0	0	20	20	12	8	11	9	9	2	9	3	3	3	0	13	
電気機器	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
輸送機器	3	0	0	0	0	0	3	3	3	0	3	1	1	1	1	0	0	0	0	5	
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気・水道業	497	142	20	122	91	51	355	346	9	246	108	344	340	3	346	146	146	146	0	449	
電気業	455	117	20	96	65	51	338	338	231	107	335	334	334	1	334	118	118	0	0	437	
ガス業																					
上水道業	3	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	2	1	6	1	1	1	0	6	
下水道業	39	25	25	25	25	9	14	5	9	13	1	6	4	2	6	27	27	27	0	6	
その他の業種	23	1	1	0	1	0	22	22	0	19	3	12	9	3	9	4	4	4	0	11	

表7-3 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜令和5年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有価物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量					
				再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外		
					自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他量 (E5)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)									委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合計	2,529	184	2,346	1,044	73	12	2	31	28	0	1,302	2	118	1,014	168	0	1,361	120	120		
建設業	546	0	545	11	5	5	0	0	0	0	534	2	516	16	0	0	532				
製造業	854	79	775	491	26	1	2	21	2	0	284	0	118	132	34	0	309	120	120		
食料品	33	1	31	18	1	0	0	1	0	0	14	0	13	1	0	0	15				
飲料・飼料	4	0	4	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1				
繊維	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1				
木材	83	52	31	18	1	0	0	0	0	13	0	0	7	6	0	0	13				
家具	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
パルプ・紙	452	0	452	419	12	0	1	12	1	33	0	0	32	1	0	0	46				
印刷	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2				
化学	11	0	11	7	3	0	2	0	0	4	0	0	4	0	0	0	7	2	2		
石油・石炭	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1				
プラスチック	6	1	5	1	1	1	0	0	0	4	0	0	3	1	0	0	4				
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
窯業・土石	37	0	37	15	7	0	7	1	0	22	0	0	21	0	0	0	29				
鉄鋼	10	1	9	0	0	0	0	0	0	9	0	0	5	4	0	0	9				
非鉄金属	145	2	143	0	0	0	0	0	0	143	0	0	8	18	0	0	143	118	118		
金属	10	5	4	1	0	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	0	3				
はん用機器	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1				
生産用機器	7	4	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3				
業務用機器	10	3	7	3	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	0	5				
電子部品	28	4	24	4	1	1	0	1	0	20	0	0	20	0	0	0	21				
電気機器	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	2				
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
輸送機器	8	4	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3				
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1				
電気・水道業	1,105	103	1,003	541	42	6	10	26	0	461	0	0	345	117	0	0	497				
電気業	572	103	470	15	0	0	0	0	0	455	0	0	338	117	0	0	455				
ガス業																					
上水道業	89	0	89	87	5	4	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	3				
下水道業	444	0	444	440	37	2	9	25	0	4	0	0	4	0	0	0	39				
その他の業種	24	2	23	0	0	0	0	0	0	22	0	0	21	1	0	0	22				

表7-3 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜令和5年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

業種	委託処理量											委託中間処理量				委託最終処理量				再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量 (S) (B+R)
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)				(処理主体の内訳)				(M)	委託中間処理後量 (委託処理後の処理内訳)			(R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)								
		(O)	自治体		県外	(L)	業者		県内		県外	(M1)	(M2)			(01)	(02)									
			144	51			1,045	1,034											10	857	188	939	41	953	120	
合計	1,240	196	62	134	144	51	1,045	1,034	10	857	188	980	939	41	953	357	120	236	0	1,137						
建設業	532	16	11	5	16	0	516	516	5	511	5	506	483	24	490	40	40	40	0	490						
製造業	189	36	29	7	36	0	153	151	2	82	72	117	107	10	108	167	120	47	0	187						
食料品	15	1	0	1	1	0	14	13	0	8	6	12	10	1	10	3	3	3	0	12						
飲料・飼料	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1						
繊維	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
木材	13	6	6	0	6	8	8	8	8	8	8	8	7	1	7	7	7	7	0	59						
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
パルプ・紙	46	2	2	2	2	44	44	44	3	41	43	43	43	0	43	2	2	2	0	43						
印刷	2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	2						
化学	4	0	0	0	0	4	4	4	4	4	0	1	1	0	1	3	2	1	0	1						
石油・石炭	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
プラスチック	4	1	1	0	1	3	3	3	0	3	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2						
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
窯業・土石	29	1	1	1	1	28	28	28	25	3	27	26	26	0	26	1	1	1	0	27						
鉄鋼	9	4	1	4	4	5	5	5	1	4	4	4	4	0	4	4	4	4	0	5						
非鉄金属	25	18	18	0	18	0	8	8	7	0	3	1	1	3	1	138	118	20	0	2						
金属	3	1	0	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	6						
はん用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1						
生産用機器	3	0	0	0	0	3	3	3	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	5						
業務用機器	5	0	0	0	0	5	5	5	1	4	1	0	0	1	0	1	1	1	0	3						
電子部品	21	0	0	0	0	20	20	20	12	8	11	9	9	2	9	3	3	3	0	13						
電気機器	2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1						
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
輸送機器	3	0	0	0	0	3	3	3	3	3	1	1	1	0	1	0	0	0	0	5						
その他	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
電気・水道業	497	142	20	122	91	51	354	346	9	246	108	344	340	3	346	146	146	146	0	449						
電気業	455	117	20	96	65	51	338	338	231	107	335	334	334	1	334	118	118	118	0	437						
ガス業																										
上水道業	3	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3	1	6	1	1	1	0	6						
下水道業	39	25	25	25	25	13	5	5	9	12	1	6	4	2	6	27	27	27	0	6						
その他の業種	22	1	1	0	1	0	22	22	0	18	3	12	9	3	9	4	4	4	0	11						

表8-1 発生量及び処理・処分量 (鉱業 種類別：変換) <令和元年度>

(その1)

(単位：千 t /年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)	
				自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳)		委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			県内	県外
						自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)							
合計	49	0	48	48	25	25	1	1	0	0	0	1						
燃え殻																		
汚泥	48		48	48	25	25								0				
有機性汚泥	0		0											0				
無機性汚泥	48		48	48	25	25								0				
廃油	0		0											0				
一般廃油	0		0											0				
廃溶剤																		
その他																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0											0				
廃プラスチック	0		0											0				
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不燃物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0											0				
ガラス陶磁器くず	0		0											0				
鉱さい																		
がれき類	0		0											0				
コンクリート片	0		0											0				
廃アスファルト																		
その他																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0		0											0				
感染性廃棄物																		
混合物等	0		0											0				



表8-2 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：無変換）＜令和元年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区分 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量		自己中間処理後の処理内訳		再生利用量 (G)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(処理未地域の内訳)		(I)		(E2+G2)	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)						その他量 (E5)	県内				県外
合計	49	0	48	48	25	25	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
燃え殻																		
汚泥	48		48	48	25	25												
有機性汚泥	0		0	0														
無機性汚泥	48		48	48	25	25												
廃油	0		0	0														
一般廃油	0		0	0														
廃溶剤																		
その他																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類	0		0	0														
廃プラスチック	0		0	0														
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不燃物																		
ゴムくず																		
金属くず	0	0	0	0														
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0														
鉱さい																		
がれき類	0		0	0														
コンクリート片	0		0	0														
廃スチール																		
その他																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物	0		0	0														
感染性廃棄物																		
混合物等	0		0	0														



# 参 考 资 料

< 调 查 票 等 一 式 >

## 調査票等目次

1. 調査依頼状（全業種共通）	141
2. 産業廃棄物等に関する調査票	
・形式1	142
・形式2（建設業）	144
3. 調査票の記入要領・記入例、産業廃棄物分類表	
・形式1	146
・形式2（建設業）	148
・形式6（水道業）	150
4. 産業廃棄物等の処理等に関する意識調査票（全業種共通）	152
5. その他	
・将来計画に関するアンケート票（電気業用）	154
・将来計画に関するアンケート票（上水道業用）	154
・将来計画に関するアンケート票（下水道業用）	155

調査対象事業者 様

秋田県生活環境部長  
(公 印 省 略)

秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ等調査について (依頼)

本県の廃棄物行政の推進について、日頃から格別の御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、県では、令和3年3月に策定した第4次秋田県循環型社会形成推進基本計画の目標達成に向けて、産業廃棄物の発生及び処理の現状を把握するとともに、発生抑制や適正処理の確保、リサイクルの向上といった産業廃棄物に関する施策を推進するため、今年度も産業廃棄物の実態を調査することとしております。

つきましては、御多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、貴事業所における産業廃棄物の発生状況等を別紙調査票に御記入の上、同封します返信用封筒により、令和3年9月24日(金)までにお送りくださるようお願いいたします。

なお、御回答いただいた内容は、本調査における統計処理での利用に限るものであり、会社名や個人を公表することは一切ありません。

また、本調査の内容は、「産業廃棄物管理票(マニフェスト)交付状況等報告書」や「産業廃棄物多量排出事業者の処理計画書・実施状況報告書」等と一部重複しますが、取りまとめの都合上必要な情報ですので、御容赦くださるようお願いいたします。

このほか、本調査は、株式会社秋田県分析化学センターに委託しており、記入方法等で御不明な点がありましたら、次の委託機関までお問い合わせください。

【委託機関】

株式会社秋田県分析化学センター

〒010-8728 秋田市八橋字下八橋 191-42

**TEL: 0120-264-930** (受付時間: 平日 10:00~16:00)

※ 調査票等は委託機関ホームページ内にある次の URL からダウンロードできます。

<https://www.akibun.com/follow%20up.htm>

【調査実施者】

秋田県生活環境部 環境整備課 廃棄物対策班

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

TEL: 018-860-1624

形式1  
秋田県  
産業廃棄物等に関する調査票(令和2年度実績)[その1]

調査票番号

右記の<記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい。

事業所名	(業種)	
	事業内容	(主要製品又は商標)
	所在地	
代表者(事業所長)氏名	記入者(部署、氏名)	
記入年月日	令和3年月日	電話番号
事業所の概要	従業員数	製造品出荷額等(製造業のみ記入)
	貴事業所の令和3年3月31日現在の従業員数(パート等の臨時雇員及び役員等を含む)を記入して下さい。	
	千 百 十 千 百 十 千 百 十 万 円 / 年	令和2年4月1日～令和3年3月31日までの1年間の額を記入して下さい。
人		1. 工場・作業所・鉱業所 2. 開発研究所 3. 事務所 4. その他( )

次へ

1. 発生した。  
2. 発生しなかった。

次へ

上記の「事業所の概要」を記入し、ご返送下さい。

令和2年度に貴事業所から発生した産業廃棄物等は令和元年度と比較して、どの様に変化しましたか。該当する番号に○を付けて下さい。

1. 大きく増加した。 2. やや増加した。 3. 変化していない。 4. やや減少した。 5. 大きく減少した。 6. その他・不明。

上記で1又は5と回答された方は、その理由をご記入下さい。 { }

令和2年度に発生した産業廃棄物等を事業所内で焼却していますか。該当する番号に○を付けて下さい。

1. 焼却している(熱利用していない) 2. 焼却している(熱利用している) 3. 焼却していない

貴事業所から発生した産業廃棄物等(汚泥)を事業所内で脱水していますか。該当する番号に○を付けて下さい。

1. 脱水している 2. 脱水していない

裏面の調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

<記入注意事項>

1. 全般的事項
  - 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物・特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物が対象となります。
  - 本調査の対象期間は令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)です。
  - 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答え下さい。そのため、貴事業所以外に貴社の本社、工場等があってもそれは調査の対象となりません。
  - 調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について、記入して下さい。
  - 産業廃棄物等が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票(その1)の「事業所の概要」欄をご回答の上、ご返送下さい。
  - 調査票の電子データは、株式会社秋田県分析化学センターのホームページからダウンロードできます。  
https://www.akibun.com/follow%20up.htm
2. 調査票(その1)
  - 従業員数は令和3年3月31日現在としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の従業員数を記入して下さい。
  - 製造品出荷額等とは、「製造品出荷額」、「加工費収入額」、「修理料収入額」、「製造工程から出たくず及び廃物」の出荷額と「その他の収入額」の合計で、消費税等の国内消費税を含んだ額です。ただし、調査票が送付された事業所の形骸が本社事務のみ、事務所、営業所、配送センター及び販売所等であって、実際に製造、加工及び修理等を行っていない場合は、「〇(ゼロ)」を記入して下さい。
  - 製造品出荷額等は、令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入して下さい。
3. 調査票(その2・裏面)
  - 自ら再生利用したもの、他者に売却したものの、無償で引き渡しているものも対象となります。
  - 一般廃棄物は記入不要です(例:使用済みのOA用紙、新聞紙、雑誌、飲料の空缶・空きびん・ペットボトル、厨芥など)。
  - 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい。
  - 同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。
  - 発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。
4. 電子データによるご返送
  - 電子データで回答された調査票は、下記のメールアドレスへご返送いただくことができます。  
E-mail: kikaku@akibun.com

裏面へ

# 産業廃棄物等に関する調査票(令和2年度実績)【その2】

**①事業所で発生した廃棄物の名称**  
 事業所で日常使用している名称で記入して下さい。(別紙「産業廃棄物等分類表」に示した具体例を参照)

**②廃棄物の分類番号**  
 別紙「産業廃棄物等分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。

**③年間の発生量(中間処理する前の量)**  
 行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

**④自社での中間処理方法**  
 自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

**⑤中間処理後の量**  
 中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

**⑥処理・処分方法**  
 発生(自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物)した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

**⑦処理・処分又は再生利用先の名称**  
 処理・処分(⑥に該当する)等を行った先の名称を記入して下さい。

**⑧処理・処分又は再生利用先の所在地**  
 処理・処分(⑦に該当する)等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

**⑨委託中間処理の方法**  
 ⑥の「処理・処分の方法」で「U」と回答された場合(中間処理を委託)は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

**⑩委託中間処理後の再生利用・処分方法**  
 委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んで下さい。

1. 再生利用・リサイクルしている。  
 2. 埋立処分している。

**⑪資源化の用途**  
 ⑥の「処理・処分の方法」で「V1」~「V12」に回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

区分	行番	①廃棄物の名称				②分類番号				③年間発生量				④中間処理後量			
		百	十	千	万	百	十	千	万	1次処理	2次処理	3次処理	単位	1次処理	2次処理	3次処理	単位
F2	記1												kg t				kg t
	記2												m <sup>3</sup> 24				m <sup>3</sup> 24
	記3												kg t				kg t
	記4												m <sup>3</sup> 24				m <sup>3</sup> 24
	記5												kg t				kg t
	記6												m <sup>3</sup> 24				m <sup>3</sup> 24
	記7												kg t				kg t
	記8												m <sup>3</sup> 24				m <sup>3</sup> 24
	記9												kg t				kg t
	記10												m <sup>3</sup> 24				m <sup>3</sup> 24
	記11												kg t				kg t
	記12												m <sup>3</sup> 24				m <sup>3</sup> 24
	記13												kg t				kg t
	記14												m <sup>3</sup> 24				m <sup>3</sup> 24
	記15												kg t				kg t

区分	行番	⑤処理・処分方法				⑥処理・処分又は再生利用先の名称				⑦処理・処分又は再生利用先の所在地				⑧方法番号			
		1次	2次	3次	処理	1次	2次	3次	処理	1次	2次	3次	処理	1次	2次	3次	処理
F2	記1																
	記2																
	記3																
	記4																
	記5																
	記6																
	記7																
	記8																
	記9																
	記10																
	記11																
	記12																
	記13																
	記14																
	記15																

区分	行番	⑨委託中間処理				⑩委託中間処理				⑪資源化用途			
		1次	2次	3次	処理	1次	2次	3次	処理	10	11	12	処理
F2	記1												
	記2												
	記3												
	記4												
	記5												
	記6												
	記7												
	記8												
	記9												
	記10												
	記11												
	記12												
	記13												
	記14												
	記15												

**④中間処理方法コード表**

A: 焼却 J: 溶融 R: ナトリウム  
 B: 脱水 K: 切削 S: 薬物毒  
 C: 天日乾燥 L: 焼成 T: 金属(鉄)回収  
 D: 機械乾燥 M: 堆肥(糞) V: 非鉄金属回収  
 E: 油水分離 N: 銀回収 W: 油化  
 F: 中和 O: カリウム型化 X: 処理調整・混合  
 G: 破砕 P: 乾燥燻 Y: 分別・選別  
 H: 分級 Q: 煮沸 Z: その他  
 I: 圧縮

〔具体的に〕

**⑥処理・処分方法コード表**

<自己処理>  
 V1: 自社で再利用した。  
 V2: 売却できなものを自社で再利用した。  
 W1: 売却(利益があった)した。  
 Z1: 自社で保管している。  
 Q1: 自社の処分場で埋立処分した。

<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>  
 U1: 処理業者に中間処理(資源化・リサイクル)を委託した。  
 X1: 廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。  
 S1: 民間の処理業者の処分場で直接埋立処理した。  
 S2: 秋田県環境保全センターで直接埋立処理した。  
 T1: 処理業者で直接海洋投入した。

**⑨委託中間処理方法コード表**

A: 焼却 J: 溶融 R: ナトリウム  
 B: 脱水 K: 切削 S: 薬物毒  
 C: 天日乾燥 L: 焼成 T: 金属(鉄)回収  
 D: 機械乾燥 M: 堆肥(糞) V: 非鉄金属回収  
 E: 油水分離 N: 銀回収 W: 油化  
 F: 中和 O: カリウム型化 X: 処理調整・混合  
 G: 破砕 P: 乾燥燻 Y: 分別・選別  
 H: 分級 Q: 煮沸 Z: その他  
 I: 圧縮

〔具体的に〕

**⑪資源化用途コード表**

10: 鉄屑原料  
 20: 非鉄金属等原料  
 30: 燃料  
 31: 木炭  
 41: 飼料  
 42: 肥料・堆肥  
 43: 土壌改良材  
 50: 土木・建設資材  
 51: 再生木材・合板  
 60: ハルブ・紙原料

70: ガラス原料  
 80: フラスコ原料  
 81: 再生タイヤ  
 90: セメント原料  
 91: 再生油・再生溶剤  
 92: 中和剤  
 93: 高炉還元剤  
 98: その他

〔10-98に該当するものがない場合、⑪の枠中に具体的な用途を直書きして下さい。〕

産業廃棄物等に関する調査票(令和2年度実績)【その1】

秋田県  
建設業

調査票番号

右記の<記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい。

事業所名					
所在地					
代表者(事業所長)氏名	記入者 (姓、氏名)				
記入年月日	令和3年	月	日	電話番号	-

次へ

県内元請工事の有無  
貴社が元請施工者として請負いた**令和2年度**に完成した県内の工事はありますか(出来高工事を含む)。該当する番号に○を付けて下さい。

1. 元請工事あり 2. 元請工事なし

次へ

元請完成工事高 (令和2年度、消費税を含む)										
貴社が元請施工者として請負いた令和2年度に完成した県内工事の年間元請完成工事高(出来高工事含む)を記入して下さい。										
千	百	十	千	百	十	万	千	百	十	万
億	億	億	億	億	億	億	億	億	億	億
万円/年										

※共同企業体（JV）による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入して下さい。

次へ

令和2年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。該当する番号に○を付けて下さい。  
※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。

1. 発生した。 2. 発生しなかった。

次へ

上記の「事業所の概要」を記入し、ご返送下さい。

次へ

裏面の調査票（その2）に貴社から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

<記入注意事項>

1. 全般的事項

○本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物・特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物が対象となります。

○本調査の対象期間は令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）です。

○調査票（その2）には、貴社が秋田県内で施工した全ての元請工事（出来高工事含む）から発生する産業廃棄物、副産物について記入して下さい。共同企業体（JV）による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物を一括記入して下さい。

○調査票の電子データは、株式会社秋田県分析化学センターのホームページからダウンロードできます。

<https://www.akibun.com/follow%20up.htm>

2. 調査票（その1）

○元請完成工事高は、令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入して下さい。

3. 調査票（その2・裏面）

○自ら再生利用したもの、他者に売却したものの、無償で引き渡しているものも対象となります。

○一般廃棄物は記入不要です（例：使用済みのOA用紙、新聞紙、新聞紙、雑誌、飲料の空缶・空びん・ペットボトル、厨芥など）。

○別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい。

○同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。

○発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。

4. 電子データによるご返送

○電子データで回答された調査票は、下記のメールアドレスへご返送いただくことができます。

E-mail : kikaku@akibun.com

裏面へ



# <調査票の記入要領・記入例>

## 調査対象期間

- この調査の対象期間は、令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）です。この期間中の廃棄物等の発生と処理・処分の状況を質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

## 調査対象とする事業所と廃棄物

- この調査では、**調査票が送付された事業所内で発生した廃棄物等だけが記入の対象**となります。
- 廃棄物の分類等については、裏面の「**産業廃棄物等分類表**」を参考にして下さい。

## 発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「**焼却**」、「**脱水**」等の処理を行う前の「**名称**」と「**数量**」をお答え下さい。
- 自社で焼却している場合**、発生した廃棄物と**焼却前のもの**です。（記入例Dを参考にして下さい）
- 焼却、焼くす、焼くす、焼くす**等、焼却している場合は「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①年間発生量」、「②分類番号」は、焼却前の量となります。なお、焼却後の量の量が「⑤中間処理後量」となります。
- 自社で脱水している場合**の発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。（記入例E・Fを参考にして下さい）
- 汚泥の発生量**は、脱水、乾留等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。  

$$\text{脱水前の重量} = (\text{脱水後の汚泥発生量}) \times (100\% - \text{脱水後の含水率}) \div (100\% - \text{脱水前の含水率})$$
- ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。  
 ○**焼却、焼くす**を公共水域（河川、公共下水道等）へ放流するために中和処理した場合、→ 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。  
 ○**含油廃水を油水分離した場合**、→ 油水分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に（それぞれ1行ずつ）発生量とします。

## 調査票（その2）の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考に（その2）を記入して下さい。

区分	F 2	F 2	F 2	F 2	F 2	①事業所の名称		②分類番号		③年間発生量		④方法番号		⑤中間処理後量		⑥処理・処分方法又は 再生利用先の所在地	⑦処理・処分方法 の区分	⑧減量化用途
						1	2	1	2	1	2	1	2	1	2			
記入例：A							鉄板	1	2	1	0							
記入例：B							機油	0	3	1	1	0	8	0				
記入例：C							プラスチック製品	0	6	1	0							
記入例：D							木くず	0	8	0	1	0						
記入例：E							排水処理汚泥	0	2	2	1	5	0					
記入例：F							特定有害汚泥	0	2	2	9	1	0					
							排水処理汚泥	0	2	2	1	1	0					

本紙の裏面の「産業廃棄物等分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず0をつけて下さい。

微量又は液体産業廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0」を記入し、単位はkgに0を付けて下さい。

⑨方法番号	1次処理	2次処理	3次処理	⑩再生利用・リサイクルしている	⑪減量化用途
				1	10
				2	30

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入して下さい。委託した産業廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入して下さい。

## 記入例：A

- 鉄板の加工の際に鉄板くずが年間6 t 発生した。
- これは、秋田市にある欄口口に売却した。
- 相手先では鉄鋼材料として利用している。

## 記入例：B

- 月平均で一斗缶5本ぐらいの機油が発生した。
- 重量換算すると年間に1,080kgである。
- これは、青森県弘前市の再生業者×××商店に処理を有料で依頼した。
- 相手先では、油水分離後、燃料として再利用している。（18kg×5本×12ヶ月）

## 記入例：C

- プラスチック製品くずが年間750kg発生した。
- これは、小坂町にある▼○欄口に処理を委託した。
- 相手先では、焼却処理し、埋立処分している。

## 記入例：D

- 木くずが年間10 t 発生した。
- 自社の焼却炉で全て焼却した。
- 焼却灰は、500kg程度で自社の処分場（横手市）で埋立処分した。

## 記入例：E

- 排水処理汚泥が発生した。
- 自社の施設で排水→乾燥を行い、脱水後の残さが10 t（含水率85%）であった。
- 脱水前の量は、計算していないので正確ではないが、脱水前の含水率が97%であるため計算すると、50 t 程度となる。
- 処理後の汚泥は、△△欄に運輸を委託し、岩手県八幡平市に処分場を保有する○○欄で直接埋立処分した。
- 計算式  $10 \times (100 - 85) \div (100 - 97) = 50 \text{ t}$

## 記入例：F

- 特定有害汚泥と排水処理汚泥が110 t 発生した。
- 特定有害汚泥は年間10 t 発生し、自社での中間処理は行なわず、能代市に処理施設を保有する△△産業に収集・運搬及び中間処理を委託した。
- 業者では、中和及び無害化処理した後、埋立処分している。
- また、排水処理汚泥は、濃縮後の100 t を自社の施設で脱水し、処理後の残さ25 t は羽後町に処分場を保有する南○○で埋立処分した。

## 記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

## ④中間処理方法コード表

- A: 焼却
- B: 焼くす
- C: 天日乾燥
- D: 機械乾燥
- E: 油水分離
- F: 脱水
- G: 圧搾
- H: 圧搾
- I: 圧搾
- J: 圧搾
- K: 圧搾
- L: 圧搾
- M: 圧搾
- N: 圧搾
- O: 圧搾
- P: 圧搾
- Q: 圧搾
- R: 圧搾
- S: 圧搾
- T: 圧搾
- U: 圧搾
- V: 圧搾
- W: 圧搾
- X: 圧搾
- Y: 圧搾
- Z: その他

## ⑨委託中間処理方法コード表

- A: 排水
- B: 天日乾燥
- C: 天日乾燥
- D: 機械乾燥
- E: 油水分離
- F: 脱水
- G: 圧搾
- H: 圧搾
- I: 圧搾
- J: 圧搾
- K: 圧搾
- L: 圧搾
- M: 圧搾
- N: 圧搾
- O: 圧搾
- P: 圧搾
- Q: 圧搾
- R: 圧搾
- S: 圧搾
- T: 圧搾
- U: 圧搾
- V: 圧搾
- W: 圧搾
- X: 圧搾
- Y: 圧搾
- Z: その他

## ⑩減量化用途コード表

- 10: 鉄鋼原料
- 20: 非鉄金属等原料
- 30: 木材
- 40: 肥料
- 50: 土壌改良材
- 60: 再生木材・合板
- 70: フラスコ原料
- 80: 再生スチール
- 90: セメント原料
- 91: 再生油・再生燃料
- 92: 中割
- 93: 高炉還元・コークス炉化学原料
- 98: その他

## ⑩処理後の処分方法

- 1 再生利用・リサイクルしている
- 2 埋立処分している

産業廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不定形の回収業者等、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下さい。

## ⑥処理・処分方法又は再生利用先の所在地

青森県 弘前市 小坂町 横手市 八幡平市 能代市 羽後町

## ⑦処理・処分方法の区分

W1 欄口口 U1 ××商店 U1 ▼○欄 G1 自社 S1 ○○欄 U1 △△産業 S1 南○○

## ⑧減量化用途

10 30

## ⑨方法番号

E A B D B

## ⑪中間処理後量

500 10 25



# <調査票の記入要領・記入例>

## 調査対象期間

●この調査の対象期間は、令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況は、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

## 調査対象とする事業所と廃棄物

- この期間では、**県内で施工した元請工事から発生した廃棄物等並びに記入の対象とします。**
- 廃棄物の分類等については、裏面の「産業廃棄物等分類表」を参考にして下さい。**

## 発生量について

●発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」を必ず答え下さい。

○**自社で焼却している場合、発生した廃棄物とは焼却前のもの**です。（記入例を参考にして下さい）  
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合は「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却やその前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

○**自社で脱水している場合、発生した廃棄物とは脱水前のもの**です。（記入例を参考にして下さい）  
汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。  
**<式>：（脱水前の汚泥発生量）×（脱水後の含水率）÷（100%-脱水後の含水率）**

- ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。
  - 焼灰、焼アアルカリを公共下水道（河川、公共下水道等）へ放流するために中和処理した場合。 → 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。
  - 含油廃水を油水分離した場合。 → 油水分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に（それぞれ1行ずつを）発生量とします。

## 調査票(その2)の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考に記入して下さい。

本紙の裏面の「産業廃棄物等分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず○をつけて下さい。

区分	E行 2番	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量				④方法番号				⑤中間処理後量	⑥処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑦処理後の処分方法	⑧産業化用途					
				百	十	千	万	十	千	万	十					千	万	十	千	万
記入例：A		鉄筋くず	1210				9													
記入例：B		木くず	0801				30													
記入例：C		廃プラスチック	0610				10													
記入例：D		廃プラスチック	0610				5													
記入例：E		ペントナイト汚泥	0222				600													
記入例：F		コンクリートのがれき	1510				10													
		コンクリートのがれき	1510				110													
		欄	8																	

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号	⑩処理後の処分方法	⑪産業化用途
秋田市	G	1・2	10
男鹿市	G	1・2	30
大仙市	I	1・2	30
能代市	I	1・2	30
福島県郡山市	I	1・2	30
仙北市	G	1・2	50
小坂町	G	1・2	50

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入して下さい。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入して下さい。

## 記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

## ④中間処理方法コード表

- A：焼却  
B：焼却・焼灰  
C：天日乾燥  
D：機械乾燥  
E：油水分離  
F：中和  
G：分別  
H：分別・埋却  
I：分別  
J：埋却  
K：埋却  
L：埋却  
M：埋却（ペントナイト廃材）  
N：埋却（焼灰）  
O：カマド焼却  
P：乾燥機  
Q：乾燥機  
R：乾燥機  
S：乾燥機  
T：乾燥機  
U：乾燥機  
V：乾燥機  
W：乾燥機  
X：乾燥機  
Y：乾燥機  
Z：その他

## ⑨委託中間処理方法コード表

- A：焼却  
B：焼却・焼灰  
C：天日乾燥  
D：機械乾燥  
E：油水分離  
F：中和  
G：分別  
H：分別・埋却  
I：分別  
J：埋却  
K：埋却  
L：埋却  
M：埋却（ペントナイト廃材）  
N：埋却（焼灰）  
O：カマド焼却  
P：乾燥機  
Q：乾燥機  
R：乾燥機  
S：乾燥機  
T：乾燥機  
U：乾燥機  
V：乾燥機  
W：乾燥機  
X：乾燥機  
Y：乾燥機  
Z：その他

## ⑪資源化用途コード表

- 1：0：鉄屑原料  
2：0：非鉄金属等原料  
3：0：燃料  
4：1：燃料  
5：0：燃料  
6：2：肥料・堆肥  
7：0：土壌改良材  
8：0：土木・建設資材  
9：0：再生木材・合板  
10：0：ガラス原料  
11：0：プラスチック原料  
12：0：プラスチック原料  
13：0：プラスチック原料  
14：0：プラスチック原料  
15：0：プラスチック原料  
16：0：プラスチック原料  
17：0：プラスチック原料  
18：0：プラスチック原料  
19：0：プラスチック原料  
20：0：プラスチック原料  
21：0：プラスチック原料  
22：0：プラスチック原料  
23：0：プラスチック原料  
24：0：プラスチック原料  
25：0：プラスチック原料  
26：0：プラスチック原料  
27：0：プラスチック原料  
28：0：プラスチック原料  
29：0：プラスチック原料  
30：0：プラスチック原料  
31：0：プラスチック原料  
32：0：プラスチック原料  
33：0：プラスチック原料  
34：0：プラスチック原料  
35：0：プラスチック原料  
36：0：プラスチック原料  
37：0：プラスチック原料  
38：0：プラスチック原料  
39：0：プラスチック原料  
40：0：プラスチック原料  
41：0：プラスチック原料  
42：0：プラスチック原料  
43：0：プラスチック原料  
44：0：プラスチック原料  
45：0：プラスチック原料  
46：0：プラスチック原料  
47：0：プラスチック原料  
48：0：プラスチック原料  
49：0：プラスチック原料  
50：0：プラスチック原料  
51：0：プラスチック原料  
52：0：プラスチック原料  
53：0：プラスチック原料  
54：0：プラスチック原料  
55：0：プラスチック原料  
56：0：プラスチック原料  
57：0：プラスチック原料  
58：0：プラスチック原料  
59：0：プラスチック原料  
60：0：プラスチック原料  
61：0：プラスチック原料  
62：0：プラスチック原料  
63：0：プラスチック原料  
64：0：プラスチック原料  
65：0：プラスチック原料  
66：0：プラスチック原料  
67：0：プラスチック原料  
68：0：プラスチック原料  
69：0：プラスチック原料  
70：0：プラスチック原料  
71：0：プラスチック原料  
72：0：プラスチック原料  
73：0：プラスチック原料  
74：0：プラスチック原料  
75：0：プラスチック原料  
76：0：プラスチック原料  
77：0：プラスチック原料  
78：0：プラスチック原料  
79：0：プラスチック原料  
80：0：プラスチック原料  
81：0：プラスチック原料  
82：0：プラスチック原料  
83：0：プラスチック原料  
84：0：プラスチック原料  
85：0：プラスチック原料  
86：0：プラスチック原料  
87：0：プラスチック原料  
88：0：プラスチック原料  
89：0：プラスチック原料  
90：0：プラスチック原料  
91：0：プラスチック原料  
92：0：プラスチック原料  
93：0：プラスチック原料  
94：0：プラスチック原料  
95：0：プラスチック原料  
96：0：プラスチック原料  
97：0：プラスチック原料  
98：0：プラスチック原料

⑩処理後の処分方法  
1 再生利用・リサイクルしている  
2 埋立処分している

記入例：A

- ・工事現場から鉄筋くずが年間9 t 発生したが、すべて、秋田市の焼却施設に売却した。
- ・相手先では、鉄鋼材料として再生利用している。

記入例：B

- ・工事現場から建設木くずが年間に2 t 車で30 t 分（すべて満杯）発生した。
- ・1台当たりの重量が1 t 程度であるため、重量に換算すると、30 t である。
- ・これは、男鹿市にある○○商店に料金を払って処理を委託した。
- ・相手先では、破砕チップ化し、燃料として再生利用している。

記入例：C

- ・工事現場から廃プラスチックが年間10 t 発生した。
- ・すべて自社の焼却炉で焼却した。その灰の量は年間で1 t 程度であり、大仙市にある秋田県環境保全センターで埋立処分した。

記入例：D

- ・工事現場から廃プラスチックが年間5 m<sup>3</sup>発生した。
- ・これは、能代市にある焼却施設に中間処理を委託した。
- ・委託先では圧縮して固形燃料を製造している。

記入例：F

- ・工事現場からコンクリートのがれき等が10 t ダンプで12台発生した。重量に換算すると120 t 程度である。
- ・このうち、10 t は、焼却施設に収集・運搬を委託し、仙北市に処分場を保有する焼却施設で埋立処分した。
- ・残りの10 t は、小坂町に破砕プラントを保有する△△焼却施設に中間処理を委託した。△△焼却施設は破砕後、骨材として再生利用している。

産業廃棄物等分類表(その1)

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

種 類	分類番号	具 体 例
汚泥(泥状のもの)	0211	排水処理汚泥、ヒルビット汚泥(し尿を含むものは除く)
無機性汚泥	0222	建設高含水率汚泥、ペンタオン汚泥、道路剛性汚泥<建設機土は除く>
一般廃棄物	0311	重機等の潤滑油、エンジンオイル、機油、グリソ、切削油、絶縁油
溶剤	0320	アルコール類、ワトン、洗浄油
樹脂	0330	アスファルト、タールピッチ類
油	0340	タンクストラップ、オイルストラップ、オイルトラップ汚泥、油性スカム
油付着物等	0350	油の滲みたワエス、油紙くず、廃吸油材、廃シール材、クレオソート廃油、アンダーコートかす、廃塗料(液状)、インクかす、廃ワニス
酸無機性の酸性廃液	0401	廃液で酸性を呈するもの
アルカリ性廃液	0411	廃液でアルカリ性を呈するもの
プラスチック	0610	【熱可塑性】ポリエチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂、ポリブチレン樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリフェニレン樹脂(ハークル樹脂)、ユリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニ樹脂、クレタ樹脂、ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、滌綵繊維、化繊ロープ、【合成繊維】化学繊維【その他】プラスチック製品くず、プラスチック容器、発泡プラスチック、ビニルシート、フィルム、プラスチックワイヤ、セルロイド、繊維強化プラスチック(FRP)、塗料かす、(固形)、接着剤かす、合成ゴムくず、塩ビ管
使用済みタイヤ	0620	使用済みタイヤ
石綿含有産業廃棄物(石綿含有飛散性)	0630	工作物の新製、改製又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿その重量の0.1%を超過して含有するもの。
紙	0701	建材の包装紙、建設現場から排出される紙くず
木	0801	伐木くず、おがくず、かんなくず、ハーク類、竹、ヘニヤ、ベニヤボード類、伐採木、伐採材、伐根材
繊維	0802	ハレット、ハレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材
ゴムくず(天然ゴム)	0900	羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセテート混紡繊維(天然繊維が主体のもの)
鉄くず	1100	天然ゴムくず
非鉄くず	1210	鉄くず、スチロール(主体が鉄製の場合)、アルミくず、タンクくず、空き缶(鉄製のもの)
銅くず	1220	銅線、銅くず、アルミくず
混合金属くず	1230	白社にて分別を行なかつたものや分別不可能なもの
ガラスくず及び破片	1310	自然電球、窓ガラス、びん類、ガラスウール
陶磁器くず	1320	かわら、土管、陶管、タイル
石膏ボード	1330	石膏ボードくず
石綿含有産業廃棄物(石綿含有飛散性)	1350	工作物の新製、改製又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿その重量の0.1%を超過して含有するもの
コンクリート破片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
アスファルト破片	1520	アスファルトコンクリートの破片
耐火物	1530	耐火物の新製、改製又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿その重量の0.1%を超過して含有するもの
安定型混合廃棄物	2100	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類のみを含有する混合廃棄物
管理型混合廃棄物	2200	上記の安定型混合廃棄物以外の廃棄物以外の廃棄物を含む混合廃棄物で分別ができない廃棄物
自動車	3000	廃自動車、廃二輪車
電気機械器具	3100	プリント配線板、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、パソコン、電話機、自動販売機など
電池	3500	鉛蓄電池(バッテリー)、乾電池(水銀を含むものを除く)
複合材料	3600	2つ以上の異なる素材が一体化して組み合わされて作られた製品
水銀使用製品	2500	水銀電池、空気圧縮機、照明機器(放電ランプ、HIDランプ、蛍光灯)など、水銀等の使用に関する表示がある製品
水銀含有ばいじん等	2600	水銀を1kgにつき15mgを超過するもの(ばいじん)、水銀を1kgにつき15mgを超過するもの(水銀、廃アルカリ)

産業廃棄物等分類表(その2)

2. 特別管理産業廃棄物

種 類	分類番号	具 体 例
引火性油	0318	揮発油類(軽油やすい焼油、ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)
食毒性アルカリ	0408	水素イオン濃度指数(pH)が2.0以下の廃液
食毒性アルカリ	0508	水素イオン濃度指数(pH)が12.5以上の廃液
特定有害廃棄物汚泥	0229	特定有害物質を含む汚泥
特定有害廃棄物廃油	0319	特定有害物質を含む廃油
特定有害廃棄物廃酸	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害廃棄物アルカリ	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
特定有害廃棄物廃石綿等	1538	吹き付け石棉(アスベスト)、石綿含有保温材
有害廃棄物	7419	廃PCB等、PCB汚染物、PCB処理物
水銀	7440	特定の施設において生じた水銀又は水銀化合物(水銀使用製品が産業廃棄物となったものに封入された水銀等を除く)、水銀を多く含む水銀化合物(水銀使用製品が産業廃棄物となったものから回収した水銀)

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

# < 調査票の記入要領・記入例 >

## 調査対象期間

- この調査の対象期間は、令和2年4月1日～令和3年3月31日です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

## 調査対象とする事業所と廃棄物

- この調査では、調査票が送付された事業所内で発生した廃棄物だけが記入の対象となります。
- 廃棄物の分類等については、裏面の「産業廃棄物等分類表」を参考にして下さい。

## 発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」、「乾燥」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答え下さい。

○**自社で焼却している場合**、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。  
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合は「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、**焼却前の名称**とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

○**自社で脱水・乾燥している場合**の発生した廃棄物とは**脱水前・乾燥前のもの**です。（記入例A・B・D・Eを参考にして下さい）

汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水後の汚泥量に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。

$$\text{<式>}： (\text{脱水前の汚泥発生量}) \times (100\% - \text{脱水後の含水率}) \div (100\% - \text{脱水前の含水率})$$

## 調査票(その2)の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考に調査票(その2)を記入して下さい。

本紙の裏面の「産業廃棄物等分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ずをつけて下さい。

微量又は液体廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」を記入し、単位はkgにOをつけて下さい。

区分	E 行	①産業廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量				単位	④方法番号 1次 2次 3次 処理 処理 処理	⑤中間処理後量	⑥処理・処分の方法	⑦処理・処分先又は 再生利用先の名称等	⑧処理・処分先又は 再生利用先の所在地	⑨方法番号 1次 2次 3次 処理 処理 処理	⑩処理後の処分の方法	⑪資源化用途	
				百	万	千	百										十
記入例：A	1	下水汚泥	0212	1	0	2	1	0	kg	0	3	3	大館市	L	1	2	90
記入例：B	2	下水汚泥	0212	6	7	2	1	kg	3	7	4	秋田県	E	1	2	30	
記入例：C	3	廃油	0311	1	0	0	0	kg	1	0	0	福島県	E	1	2	30	
記入例：D	4							kg	2	8	1	8	男鹿市	L	1	2	90
記入例：E	5	下水汚泥	0223	3	1	8	1	kg	4	0	5	秋田県	E	1	2	30	
記入例：E	6	下水汚泥	0223	3	1	8	1	kg	4	0	5	秋田県	E	1	2	30	
	7							kg									
	8							kg									

ここでは、中間処理・再生利用や最終処分した先の名称を記入して下さい。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入して下さい。

※下水汚泥は、汚泥濃縮設備の濃縮汚泥量が発生量として記入して下さい。

## 記入例：A

- ・下水汚泥が年間10,210t発生した。
- ・自社の施設で脱水を行い、脱水後の量が833tであった。
- ・処理後の汚泥は大館市のセメント工場でセメント原料としてリサイクルした。

## 記入例：B

- ・下水汚泥が年間6,721t発生した。
- ・自社の施設で脱水→機械乾燥を行い、処理後の量が374tであった。
- ・処理後の汚泥は、秋田市に処分場を有する株式会社〇〇で埋立処分した。

## 記入例：C

- ・廃油が100kg発生した。
- ・これは福島県の株式会社〇〇産業に処理を委託した。
- ・委託先では、油分離後に燃料として再利用している。

## 記入例：D

- ・下水汚泥が年間2,818t発生した。
- ・自社の施設で天日乾燥を行い、処理後の量が1,293tであった。
- ・処理後の汚泥は男鹿市のセメント工場でセメント原料としてリサイクルした。

## 記入例：E

- ・下水汚泥が年間3,181t発生した。
- ・自社の施設で脱水を行い、処理後の量が405tであった。
- ・処理後の汚泥は自社の処分場で埋立処分した。

## 記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法は、委託処理先等が異なる場合は、質問⑩の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認しううえで記入して下さい。

## ④中間処理方法コード表

- <自己処理>  
A：焼却  
B：脱水  
C：天日乾燥  
D：機械乾燥  
E：油水分離  
F：中和  
G：冷却  
H：分離  
I：圧縮  
J：浸漬  
K：切断  
L：焼成  
M：埋肥化  
N：回収  
O：リサイクル型化  
P：その他  
Z：その他

## ⑥処理・処分方法コード表

- <自己処理>  
V1：自社で再処理した。  
V2：再処理できないものを自社で再処理した。  
W1：売却（利益があった）した。  
Z1：自社で保管している。  
Q1：自社の処分場で埋立処分した。  
G1：委託した処理業者へ委託処理した。  
U1：処理業者が委託先へ委託処理した。  
X1：焼却灰（資源）集積、あるいは焼却灰業者、製造企業等で再処理した。  
S1：処理業者の処分場で埋立処分した。  
S2：秋田県環境衛生センターで埋立処分した。  
T1：処理業者で直接埋立処分した。  
R1：中野村、一部事務組合へ委託処理（ごみ収集委託）した。  
R2：中野村等が設置する埋立処分場へ搬入した。  
R3：中野村等が設置する焼却炉へ搬入した。  
R4：中野村等が設置するリサイクル施設へ搬入した。  
R5：中野村等が設置する焼却炉へ搬入した。  
R6：中野村等の設置するリサイクル施設へ搬入した。  
<その他>  
Z9：その他

## ⑨委託中間処理方法コード表

- A：焼却  
B：脱水  
C：天日乾燥  
D：機械乾燥  
E：油水分離  
F：中和  
G：冷却  
H：分離  
I：圧縮  
J：浸漬  
K：切断  
L：焼成（セメント原料）  
M：埋肥化（糞肥）  
N：回収  
O：リサイクル型化  
P：その他  
Z：その他

## ⑩資源化用途コード表

- 10：鉄屑原料  
20：非鉄金属原料  
30：木炭  
41：肥料  
42：肥料・堆肥  
50：土壌改良剤  
51：再生木材・合板  
60：パルプ・紙原料  
70：ガラス原料  
80：プラスチック原料  
81：再生タイヤ  
90：セメント原料  
91：再生油・再生樹脂  
92：集積場  
93：その他  
98：その他

## ⑩処理後の処分方法

- 1 再生利用・リサイクルしている  
2 埋立処分している

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下さい。

微量又は液体廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」を記入し、単位はkgにOをつけて下さい。

該当する単位に、必ずをつけて下さい。

本紙の裏面の「産業廃棄物等分類表」を参照して下さい。



調査票番号
-------

### 産業廃棄物等の処理等に関する意識調査票

「産業廃棄物等に関する調査票」と同様に記入し、併せてご返送ください。  
なお、「産業廃棄物等に関する調査票」の(その1)にて、「廃棄物等の発生がない」とご回答いただいた場合は、本調査票の回答は不要です。

#### 設問1 将来の発生抑制、再生利用促進、最終処分削減の見込みについて

貴事業所では、今後さらに廃棄物の発生量を抑制し、また、再生利用の促進や最終処分の削減を行うことは可能ですか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。

- ( ) 1. 可能である  
( ) 2. すでに十分取り組んでおり、これ以上は難しい  
上記で「1. 可能である」と回答した方にお伺いします。令和2年度を100として、令和3年度、令和4年度、令和5年度の将来見通し(方向性)をご記入ください。  
(例: 発生量や最終処分量を10%程度抑制できる場合→90と記入、再生利用量を5%程度増加できる場合→105と記入してください、令和2年度と変わらない場合は100と記入してください。)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発生量	100			
再生利用量	100			
最終処分量	100			

※再生利用量、最終処分量は、廃棄物処理業者に委託している場合も含めてご回答ください。

#### 設問2 処理困難廃棄物について

貴事業所が排出する産業廃棄物のうち、処理が困難な産業廃棄物がありますか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。

- ( ) 1. 処理が困難な産業廃棄物はない  
( ) 2. 処理が困難な産業廃棄物がある  
上記で「2」を選択した方にお伺いします。主な処理が困難な産業廃棄物の種類、性状及び原因(下記A～Eから選択)を記載してください。

廃棄物の種類・性状	処理困難な原因

#### 処理困難な原因 (複数選択可)

- A. 処理費用が高い  
B. 委託先の確保が困難である  
C. 再利用ができない  
D. 分別が困難である  
E. その他 (回答欄に具体的に記載)

#### 設問3 廃プラスチックについて

貴事業所では、産業廃棄物の廃プラスチック類の排出がありますか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。

- ( ) 1. 廃プラスチックの排出がある  
( ) 2. 廃プラスチックの排出はない  
上記で「1」を選択した方にお伺いします。平成29年度末に外国政府による使用済みプラスチック等の輸入禁止の措置が取られました。近年の廃プラスチック類の処理において、その影響はありませんか。  
貴事業所が排出する廃プラスチック類の処理状況について、該当する番号を選び○を付けてください。(複数回答可)
- ( ) A. 有価で売却できなくなり、廃棄物として処理する分が増加している  
( ) B. 処理委託先の確保が困難である  
( ) C. 処理コストが増加している  
( ) D. リサイクルされる割合が減少している  
( ) E. 大きな変化はない  
( ) F. その他 (具体的に: )

#### 設問4 不適正処理防止の取り組みについて

貴事業所では、委託した廃棄物が不適正処理されるのを防止するため、どのような取り組みを実施していますか。該当する全ての項目に○を付けてください。(複数回答可)

- ( ) 1. 産業廃棄物処理業の許可証を確認している  
( ) 2. 書面により委託契約をしている  
( ) 3. マニフェスト伝票を確認している  
( ) 4. 廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者に委託している  
( ) 5. 他企業と処理業者に関する情報交換をしている  
( ) 6. 処理料金が相場より安すぎる処理業者には委託しないようにしている  
( ) 7. 処理業者に施設の管理記録、経理状況、取引実績などの資料を提出させている  
( ) 8. 処理業者に中間処理後の廃棄物の行き先の資料を提出させている  
( ) 9. 処理業者の施設を現地確認している  
( ) 10. 特に何もしていない  
( ) 11. その他 (具体的に: )

#### 設問5 廃棄物処理業者の選定基準

産業廃棄物の処理を委託する場合、どのような基準で(もしくは何を重視して)業者を選定しますか。該当する項目を3つまで選び、○を付けてください。

- ( ) 1. 処理料金  
( ) 2. 受入条件 (廃棄物の種類、受入量、分別基準等)  
( ) 3. リサイクルへの取組状況  
( ) 4. 処理業者 (適正処理) の信頼性  
( ) 5. 系列企業、取引実績  
( ) 6. 廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者認定制度  
( ) 7. 電子マニフェストへの加入  
( ) 8. 業界団体への加盟状況  
( ) 9. 処理業者の施設を現地確認している  
( ) 10. その他 (具体的に: )

設問6 電子マネーの利用状況について

貴事業所では、「電子マネーシステム」を利用していますか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。また、「2」を選択した場合は導入時期を、「4」を選択した場合は利用しない理由をご回答ください。

- ( ) 1. システムを利用している
- ( ) 2. システムの利用を予定、又は検討している → 導入予定時期：令和 年 月 年頃
- ( ) 3. 補助等の支援があれば、システムを利用したい
- ( ) 4. システムは利用しない
- ( ) 5. システムを利用するか、利用しないかは、わからない
- ( ) 6. 電子マネーシステムを知らない
- 上記で「4. システムは利用しない」と回答した方にお伺いします。システムを利用しない理由について、該当する全ての項目に○を付けてください。(複数回答可)
- ( ) A. 排出量が少ない。又は取引先が少ない ( ) B. 取引先で導入されていない
- ( ) C. 独自システムで管理している ( ) D. コストの問題がある
- ( ) E. システムが難しくて分からない ( ) F. 現状として問題がない
- ( ) G. その他 (具体的に： )

設問7 環境認証について

貴事業所では、環境認証を取得していますか。該当する番号を選び、○を付けてください。

- ( ) 1. ISO14001 を取得している
- ( ) 2. エコアクション21 を取得している
- ( ) 3. その他の認証 ( ) を取得している
- ( ) 4. 取得していない

設問8 県への要望について

廃棄物の減量化・リサイクルや適正処理を進めるため、県ではどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。次のうち該当する項目を3つまで選び、○を付けてください。

- ( ) 1. 排出者責任の徹底を図るための、監視・指導体制の一層の強化
- ( ) 2. 不適正処理、不法投棄に対する、監視・指導体制の一層の強化
- ( ) 3. 処理業者に関する、評価や行政処分等の情報公開
- ( ) 4. 優良な廃棄物処理業者の育成・支援
- ( ) 5. 県や市が関与する、公共の処理施設の整備促進
- ( ) 6. 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくりや見える化
- ( ) 7. 環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援
- ( ) 8. 廃棄物の減量及びリサイクルの技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充
- ( ) 9. 排出事業者に対する適正処理・リサイクルに関する、講習会や研修会の拡充
- ( ) 10. 廃棄物についての県民の知識や理解を深めるための啓発・広報活動
- ( ) 11. その他 (具体的に： )

以上で、アンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。

### 秋田県産業廃棄物等に関する調査票（その3）

F33-電気業

調査票番号	
-------	--

#### 活動量指標値の現況と将来計画に関するアンケート票

貴施設の現況（令和2年）の発電力量の実績値と令和3年、4年、5年の計画値を記入して下さい。

	実績値	計画値		
		令和2年	令和3年	令和4年
発電力量	MMWh/年	MMWh/年	MMWh/年	MMWh/年

※計画値を他の年度で設定されている場合は、その年度と計画値をご記入下さい。

### 秋田県産業廃棄物等に関する調査票（その3）

F361-上水道業

調査票番号	
-------	--

#### 活動量指標値の現況と将来計画に関するアンケート票

貴施設の現況（令和2年）の給水人口、給水量の実績値と令和3年、4年、5年の計画値を記入して下さい。

	実績値	計画値		
		令和2年	令和3年	令和4年
給水人口	人	人	人	人
給水量	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年

※計画値を他の年度で設定されている場合は、その年度と計画値をご記入下さい。

## 秋田県産業廃棄物等に関する調査票（その3）

F363-下水道業

調査票番号

### 活動量指標値の現状と将来計画に関するアンケート票

貴施設の現状（令和2年）の処理対象人口、処理水量の実績値と令和3年、4年、5年の計画値を記入して下さい。

	実 績 値	計 画 値		
		令和3年	令和4年	令和5年
処理対象人口	人	人	人	人
処 理 水 量	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年	m <sup>3</sup> /年

※計画値を他の年度で設定されている場合は、その年度と計画値をご記入下さい。